

平成27年度 老人保健事業推進費等補助金

老人保健健康増進等事業

通所介護サービスにおけるアウトカム指標に関する

調査研究事業

報告書

岡山市

平成28年3月

目 次

1	目的	P 1
2	背景	P 1
	1) 岡山市の現状	
	2) 質の評価に対する課題	
	3) 岡山市の方向性	
	4) アウトカム評価の問題点	
	5) 規範的統合	
	6) 質の評価	
3	アウトカム指標の検討	P 7
4	分析方法	P 7
5	中間評価項目得点の傾向と日常生活機能評価の傾向を比較分析	P 8
	1) 日常生活機能評価得点の調査結果	
	2) 各調査回の日常生活機能評価得点の平均値の推移	
	3) 共通利用者の日常生活機能評価得点の平均値の推移	
	4) 日常生活機能評価得点差分析	
	5) 中間評価項目得点の傾向	
	6) まとめ	
6	日常生活機能評価得点とデイサービスの評価指標との関連性分析	P 20
	1) H27 デイサービス改善インセンティブ事業の結果	
	2) アウトカム指標としての検証	
7	医療介護連携としてのアウトカム指標の検討	P 24
	1) デイサービス DASC モデル事業	
	2) デイサービス DASC モデル事業の結果	
	3) デイサービス DASC モデル事業の好事例	
	4) デイサービス DASC モデル事業のまとめ	

8 アウトカム指標確立に向け他都市の事例収集・・・・・・・・・・・・・・・・ P 29

9 最後に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 30

【資料編】

資料1 第5回デイサービス改善インセンティブ事業説明会資料・・・・・・・・ P 33

資料2 日常生活機能評価研修資料・・・・・・・・・・・・・・・・ P 60

資料3 介護職員スキルアップ研修一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ P 94

資料4 第6回デイサービス改善インセンティブ事業説明会資料・・・・・・・・ P 96

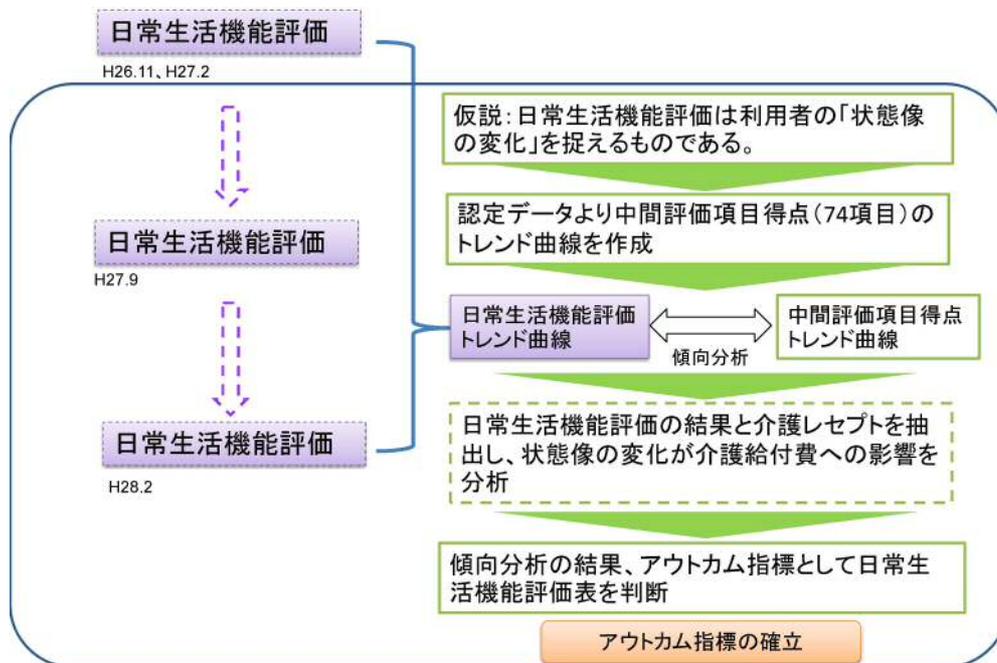
資料5 第1回介護サービス質の評価先行自治体検討協議会 資料・・・・・・・・ P 134

1 目的

本調査研究は、通所介護事業所を対象に利用者の状態像の維持・改善を評価するアウトカム指標の確立に向けた検証・研究を行うものである。

急性期や慢性期病院で標準化されている看護師の業務量の多寡を評価する医療看護必要度のうち、「日常生活機能評価票」等を定点調査・分析し、通所介護のアウトカム指標になりうるか検証する。本調査研究においては、質の評価を目的とした指標を検討し、中間評価項目得点との相関関係を調査、分析することで、現在確立されていないデイサービス事業所における介護サービスの質の評価指標・評価手法の検証及び確立を図る。

通所介護サービスにおけるアウトカム指標に関する調査研究事業



2 背景

1) 岡山市の現状

- 介護保険給付費は平成12年度から平成27年度の14年間でおよそ2.8倍に。
(H12: 193億円 → H26: 535億円)
- 通所介護に係る介護給付費は最も多く、全体の約19%を占めている。(第6期介護保険計画上の平成27年度の給付費見込み)
- 通所介護事業所数は政令市の中でトップクラス(表1 参照)
- 介護保険料についても、6,160円(第5期介護保険事業計画)で政令市の中でも4番目の高さとなっている。

表1 岡山市の医療・介護資源

岡山市の医療・介護資源

区分		岡山市	政令市との比較	
			平均値	岡山市順位
人口10万人あたり	① 病院数 (一般病床を有する)	7.0	5.9	5
	② 一般病床数(病院)	1013.5	704.9	4
	③ 一般診療所数	95.9	79.0	7
	④ 一般診療所数病床数	157.8	95.3	4
	⑤ 医師数	384.9	237.8	3
	⑥ 1日平均在院患者数 (病院の一般病床)	741.4	532.4	6
高齢者 (1万 人あたり 第1号被 保険者)	⑦ 通所介護事業所数	17.3	12.6	1
	⑧ 通所リハビリテーション事業所数	3.5	4.71	3
	⑨ 短期入所生活介護事業所数	3.7	2.6	3
	⑩ 小規模多機能型居宅介護事業所数	3.8	1.45	1
	⑪ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)事業 所数	6.6	3.7	1
	⑫ 介護保険施設数	3.9	3.35	4

出所:①~④厚生労働省H25医療施設調査⑤厚生労働省H24医師・歯科・薬剤師調査
⑥厚生労働省H25病院報告
⑦~⑫岡山市第3回保健福祉政策審議会資料(H26.3時点データ)

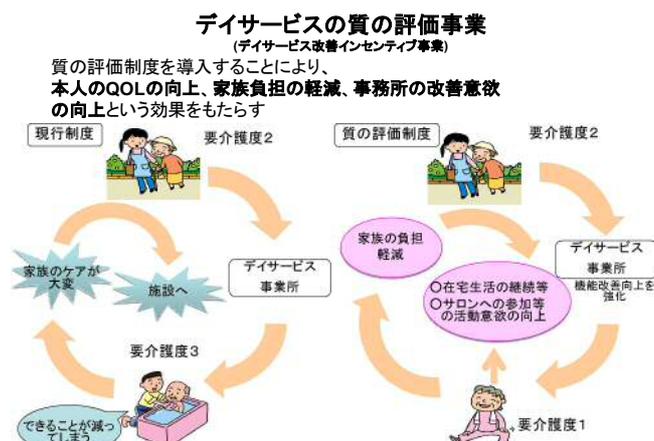
こうしたデイサービスの現状の中、デイサービス事業所で質の高いサービスの提供をすれば、利用者の状態像の悪化を防ぐことができるとともに、軽度であれば要介護状態から自立を促進することができる。つまり、デイサービス事業所で質の高いサービスを提供することが、

- ・利用者にとっては状態像が改善することで、QOLの向上に、
- ・家族にとっては利用者が元気になることで、介護負担の軽減に、
- ・事業所にとっては改善へのモチベーションの向上に

つながる。

さらに、こうした事業所が市内に増えていくことで、将来的な社会負担の抑制につながる。

こうした背景から、岡山市ではデイサービスの質を評価し、利用者の状態を積極的に改善させている事業所を増やしていくことにした。



2) 質の評価に対する課題

現行の介護保険制度では、以下の問題点があるため、事業所が利用者の状態像を改善させても評価されていないのが現状である。

- ①要介護度は、「利用者の状態像」を示すものではなく、「介助者における介護の手間」を示すものであること。
- ②そのため、要介護度が高くなるほど介護の手間がかかるので介護報酬が高くなるように設定されている。つまり、要介護度が改善しても事業所への報酬は下がる仕組みになっていること。
- ③要介護度認定更新は原則1年、最長で2年ごとなので、短期的な利用者の状態の変化は報酬に反映されないこと。

3) 岡山市の方向性

岡山市では、質の評価に対する課題に対し下記のような方向性のもと、質の高い事業所をを図るための評価手法の検討を進めた。

課題①：要介護度は、「利用者の状態」を示すものではなく、「介助者における介護の手間」を示すものであること。

→ 要介護度に代わる、真に「利用者の状態像」示す指標を確立できないか。

課題②：要介護度が高くなるほど介護の手間がかかるので介護報酬が高くなるように設定されている。つまり、要介護度が改善しても事業所への報酬は下がる仕組みになっていること。

→ 真に「利用者の状態像」示す指標を使い、アウトカム評価し、改善率が高い事業所にインセンティブを付与できないか。

課題③：要介護度認定更新は原則1年、最長で2年ごとなので、短期的な利用者の状態の変化は報酬に反映されないこと。

→ 要介護認定期間より短期間で評価できる指標にできないか。

4) アウトカム評価の問題点

アウトカムだけで事業所のサービスの質の評価をした場合、下記の問題点がある。

- ・事業所による利用者選別（いいとこ取り）が起こることが危惧される。
- ・デイサービスは交絡因子が多く、本当にデイサービスの影響だけで改善したのかが不明確。
- ・デイサービスのアウトカム指標はこれまで確立されていない。 等

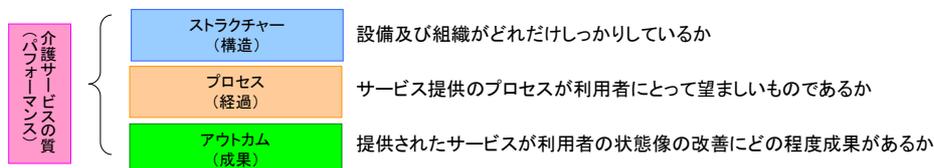
そのため、岡山市ではアウトカムだけに着目するのではなく、ストラクチャー、プロセス、も重視し、ストラクチャー、プロセス、アウトカムの3つの評価を三位一体で行うことで、質の高い事業所を評価することにした。

また、デイサービスには、預かり機能（レスパイト）に特化したサービス、機能訓練を中心とした自立支援の要素の強いサービス、専門性を持って認知症ケアに特化したサービス、ナーシング機能を持つサービス等の様々な事業所があり、その質を評価するには、複数の価値が存在し、その価値の中に各指標が存在するため、まずは岡山市とデイサービス事業所とで質の評価に取り組むことについて規範的統合を図ることから始めた。

平成25年度より 通所介護サービスの質の評価方法を検討

質を評価する項目(価値)・指標の考え方

通所介護サービスの質を評価する場合、そのアウトカムだけに着目するのではなく、ストラクチャーやプロセスを評価することが重要



質を評価する項目(価値)・指標の問題

デイサービスには様々な事業所があり、その質を評価するには、複数の項目(価値)が存在し、その項目(価値)の中に各指標が存在する。

- ・預かり機能(レスパイト)に特化したサービス
- ・機能訓練を中心とした自立支援の要素の強いサービス
- ・専門性を持って認知症ケアに特化したサービス
- ・ナーシング機能を持つサービス 等

まずは市内全通所介護事業所が質の評価に取り組むことが大事。

そして、質の高い取組みの情報公開等を実施することで、介護サービスのボトムアップを図り、利用者の状態像の維持・改善につなげ、将来的には利用者の「自立」を目指す。

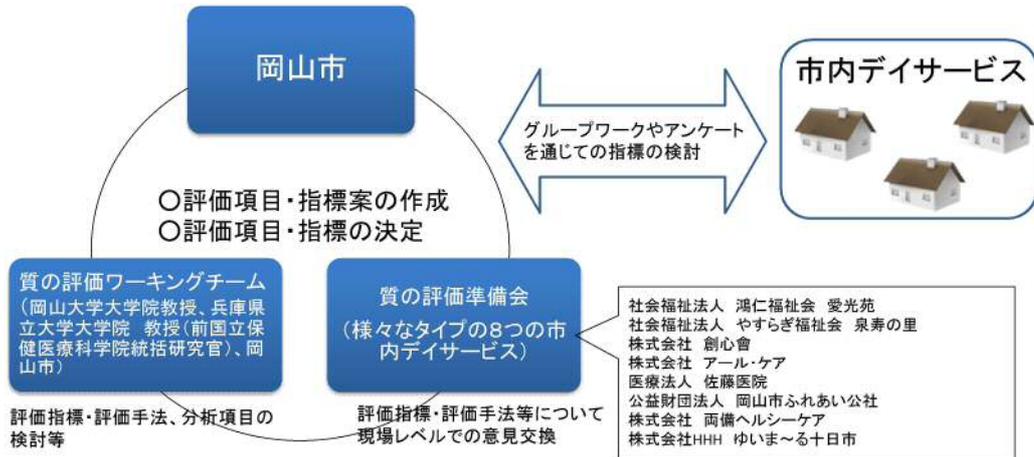
5) 規範的統合

岡山市では、様々なデイサービスの機能ごとに指標を作るのではなく、まずは市内全デイサービス事業所が質の評価に取り組むことが大事と考え、デイサービス事業所と岡山市とで共同してサービスの質を評価する指標づくりから始めた。

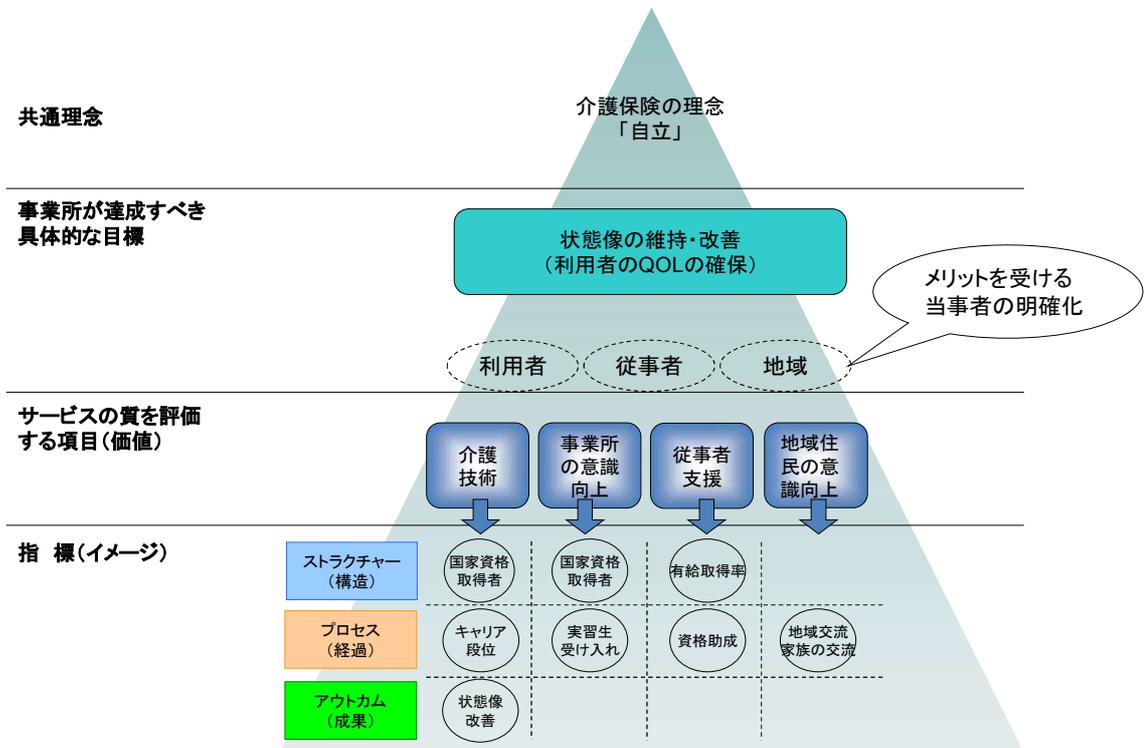
なお、岡山市と共同して質の評価指標を作る際には、共通理念として介護保険の理念である「自立」を頂点に、階層的に検討していき、事業所が達成すべき目標として「利用者の QOL の向上」やその目標を達成するための指標を、「介護技術」や「事業所の意識の向上」等の4つカテゴリにわけ、指標を出し合い議論を行った。

デイサービス事業所と意見交換やアンケート調査の結果、有効性、客観性、数値化可能性、事業所の負担等を総合的に考慮し、「デイサービスの評価指標」を決定した。

岡山市と市内全デイサービス事業所が共同で質を評価する項目(価値)・指標を選定 ＝規範的統合



岡山市の通所介護サービスの質の評価階層図



有効性、客観性、数値化可能性、事業所の負担等を総合的に考慮し、「通所介護サービスの評価項目・指標」を決定。

	評価項目	評価指標
1	専門的ケア習得に向けた研修参加への支援	外部研修への参加状況(延べ人数/職員数(常勤換算人数))
2	専門的ケア習得に向けた研修参加への支援	岡山市主催の研修会の参加回数
3	専門的な認知症ケアの提供	認知症高齢者の受け入れ人数(実人数/利用定員)
4	機能訓練指導員の体制	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数(常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))
5	介護職員の体制	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数(常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))

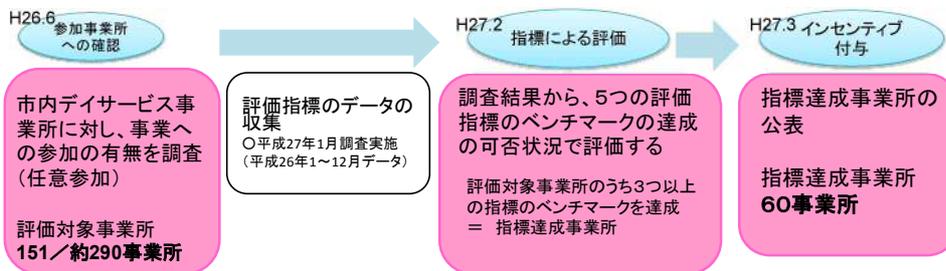
6) 質の評価

平成26年度はまずはそのデイサービスの評価指標の達成状況に応じて評価し、5つの指標のうち3つを達成した事業所を市のホームページで公表した。(デイサービス改善インセンティブ事業)

一方で、デイサービス事業所向けに説明会や市主催の研修会を通して、市の考えを丁寧に伝えてきたおかげで、最初は質の評価に理解が得られなかった事業所の理解も深まり、デイサービス改善インセンティブ事業の理解及びアウトカム評価を導入する気運が醸成された。

平成26年度より デイサービス改善インセンティブ事業スタート

岡山市と事業所が共同して選定した評価指標を使用し、通所介護サービスの質を評価し、指標を達成した事業所をインセンティブとして情報公開する。



	評価指標	ベンチマーク
1	外部研修への参加状況(延べ人数/職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上
2	岡山市主催の研修会の参加回数	3回とも1人以上参加
3	認知症高齢者の受け入れ人数(実人数/利用定員)	評価対象事業所の平均値以上
4	機能訓練指導員の常勤換算人数(常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数(常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上

3 アウトカム指標の検討

デイサービスのアウトカム指標の検討に当たり、要介護度に代わる、真に「利用者の状態像」の変化を示すものとして、「非該当人数」や74の調査項目からなる要介護認定申請（変更）時に実施する「中間評価項目得点」等が候補して上がった。

しかし、要介護認定期間より短時間で評価できる指標を使い、改善率が高い事業所にインセンティブを付与できないかと検討した時に、中間評価項目得点はその算出のための調査項目が多いため調査実施に際して事業所の負担が大きいということで見送ることにした。また非該当人数についても、非該当になる人数が少ない現状を踏まえ、見送ることにした。

質の評価ワーキングチームから、急性期病院や慢性期病院で使われている看護必要度のうち、ADLを図る標準化された尺度である13項目からなる「日常生活機能評価票」を使ってはどうかという意見があり、平成26年度から日常生活機能評価票がアウトカム指標となりえるかどうか、モデル的に調査研究として実施した。

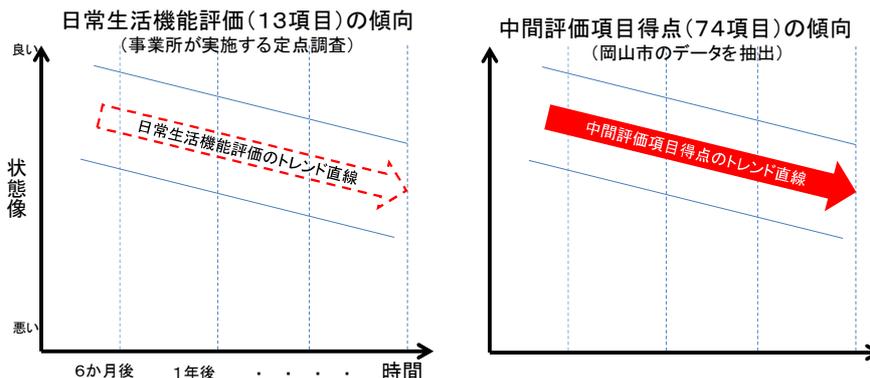
また、平成27年度は、岡山市が通所介護の質の向上のために実施しているデイサービス改善インセンティブ事業参加事業所において、日常生活機能評価調査を実施させている。

(H27 デイサービス改善インセンティブ事業については別紙1 参照)

4 分析方法

急性期や慢性期病院で標準化されている「日常生活機能評価票」等を活用し、定点調査・分析し、通所介護のアウトカム指標になりうるか検証する。方法としては、

- ①中間評価項目得点の傾向と日常生活機能評価の傾向を比較分析することで、日常生活機能評価は利用者の「状態像の変化」を捉えるものであるという仮説を検証する。
- ②日常生活機能評価得点とデイサービスの評価指標との関連性について分析することで、日常生活機能評価得点がデイサービス事業所の質を評価するアウトカム指標となりうるかどうか検証する
- ③日常生活機能評価票とは別に、認知症アセスメントツールDASCを活用し、医療介護連携の視点に立ち、受診勧奨につなげた件数がアウトカム指標になりうるかも検証する。



5 中間評価項目得点の傾向と日常生活機能評価の傾向を比較分析

1) 日常生活機能評価得点の調査結果

平成26年度から日常生活機能評価票がアウトカム指標となりえるかどうかモデル的に調査研究として実施した際に得られたデータ（H26.11月データ、H27.2月データ）及び平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業に参加している事業所を対象に実施した日常生活機能評価調査で得られたデータ（H27.9月データ、H28.2月データ）を使い、各回のデータを分析する。

なお、当該調査についてはデイサービス職員が行ったが、事前に調査方法の研修会を開催し、事業所によって判断のバラつきが起これないように調査の質の均一化を図った。

また、調査はデイサービス事業所で行い、利用者への聞き取りあるいは、調査実施者が利用者の状況から判断し記載している。調査の対象となる利用者は、調査月の1日を基準日として岡山市の被保険者かつ調査期間内にデイサービス利用し、調査に対する承諾書がある者とした。

（日常生活機能評価研修及び調査票等については、別紙2参照）

調査票Ⅱ【日常生活機能評価表】

※評価項目毎にその日の一番悪い状態の評価を選んで**選択肢に丸印を付けてください。**

※合計点数には、**選択肢の配点に従って、選んだ選択肢の点数の総合計を記入してください。**

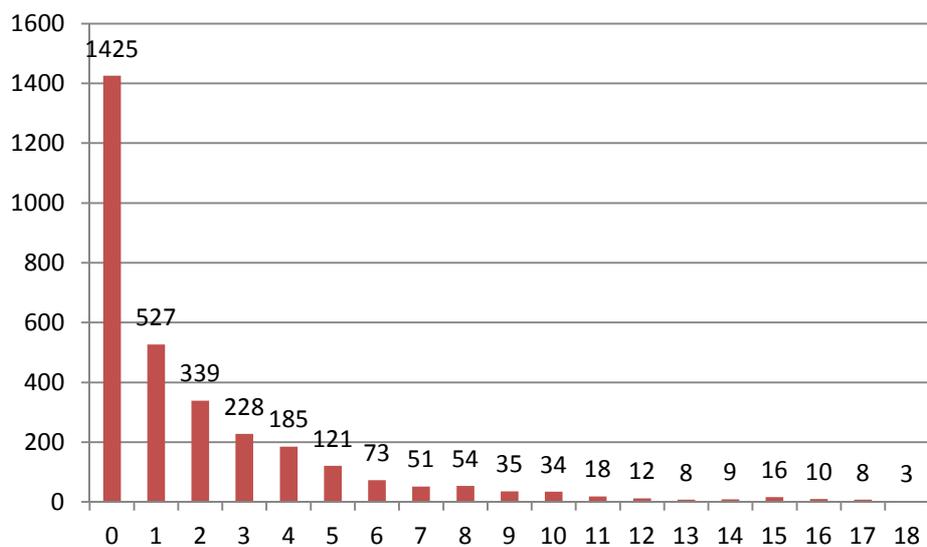
No	評価項目	選択肢(配点)		
		0点	1点	2点
1	安静の判断	なし	あり	
2	どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
3	寝返り	できる	つかまる物が必要	できない
4	起き上がり	できる	できない	
5	座位保持	できる	支えが必要	できない
6	移乗	介助なし	一部介助	全介助
7	移動方法	介助なし	介助が必要	
8	口腔清潔	介助なし	介助が必要	
9	食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
10	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
11	他者への意思の伝達	できる	できない時がある	できない
12	介助の指示が通じる	はい	いいえ	
13	自傷行動	なし	あり	
合計点数				点

① 1回目調査 (H26.11月データ)

- ・調査時期 平成26年11月第2週目
- ・協力事業所数 91事業所

日常生活機能 評価得点	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
	1.99	3.02	0	18	3156

得点	個数	割合	割合
0	1425	45.2%	45.2%
1	527	16.7%	
2	339	10.7%	
3	228	7.2%	
4	185	5.9%	
5	121	3.8%	51.1%
6	73	2.3%	
7	51	1.6%	
8	54	1.7%	
9	35	1.1%	
10	34	1.1%	
11	18	0.6%	
12	12	0.4%	
13	8	0.3%	
14	9	0.3%	3.7%
15	16	0.5%	
16	10	0.3%	
17	8	0.3%	
18	3	0.1%	
合計	3156		

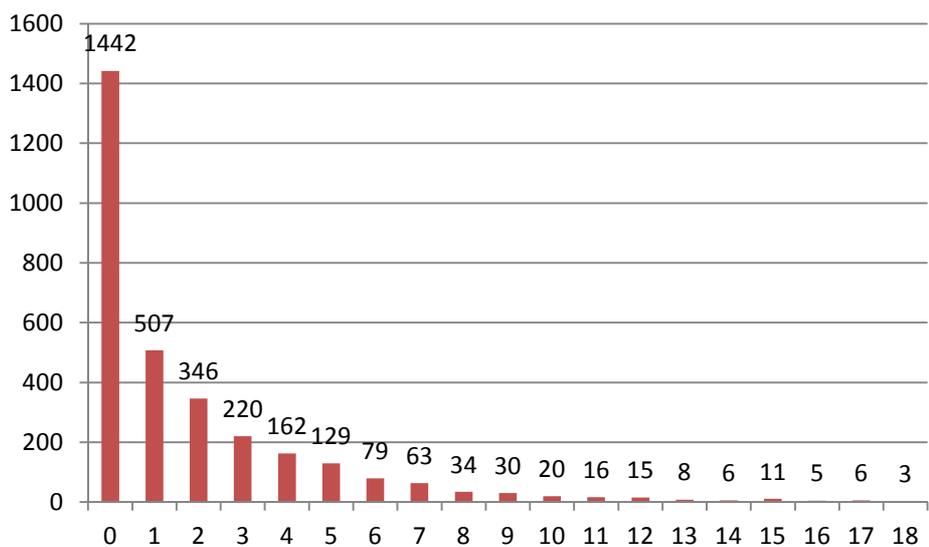


② 2回目調査 (H27.2月データ)

- ・調査時期 平成27年2月第2週目
- ・協力事業所数 77事業所

日常生活機能 評価得点	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
	1.85	2.82	0	18	3102

得点	個数	割合	割合
0	1442	46.5%	46.5%
1	507	16.3%	50.6%
2	346	11.2%	
3	220	7.1%	
4	162	5.2%	
5	129	4.2%	
6	79	2.5%	
7	63	2.0%	
8	34	1.1%	
9	30	1.0%	
10	20	0.6%	
11	16	0.5%	
12	15	0.5%	
13	8	0.3%	
14	6	0.2%	
15	11	0.4%	
16	5	0.2%	
17	6	0.2%	
18	3	0.1%	
合計	3102		

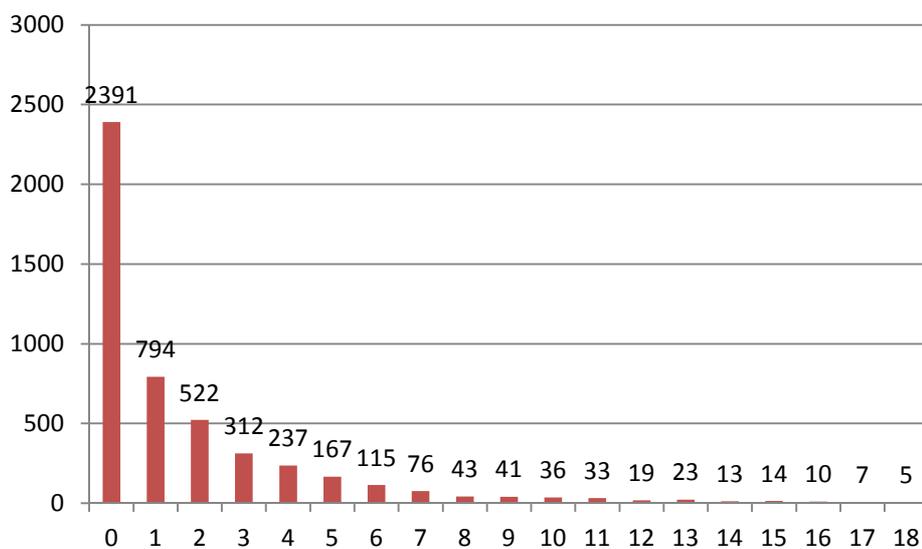


③ 3回目調査 (H27.9月データ)

- ・調査時期 平成27年9月第2週目
- ・協力事業所数 136事業所

日常生活機能 評価得点	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
	1.75	2.83	0	18	4858

得点	個数	割合	割合
0	2391	49.2%	49.2%
1	794	16.3%	
2	522	10.7%	
3	312	6.4%	
4	237	4.9%	
5	167	3.4%	47.5%
6	115	2.4%	
7	76	1.6%	
8	43	0.9%	
9	41	0.8%	
10	36	0.7%	
11	33	0.7%	
12	19	0.4%	
13	23	0.5%	
14	13	0.3%	3.3%
15	14	0.3%	
16	10	0.2%	
17	7	0.1%	
18	5	0.1%	
合計	4858		

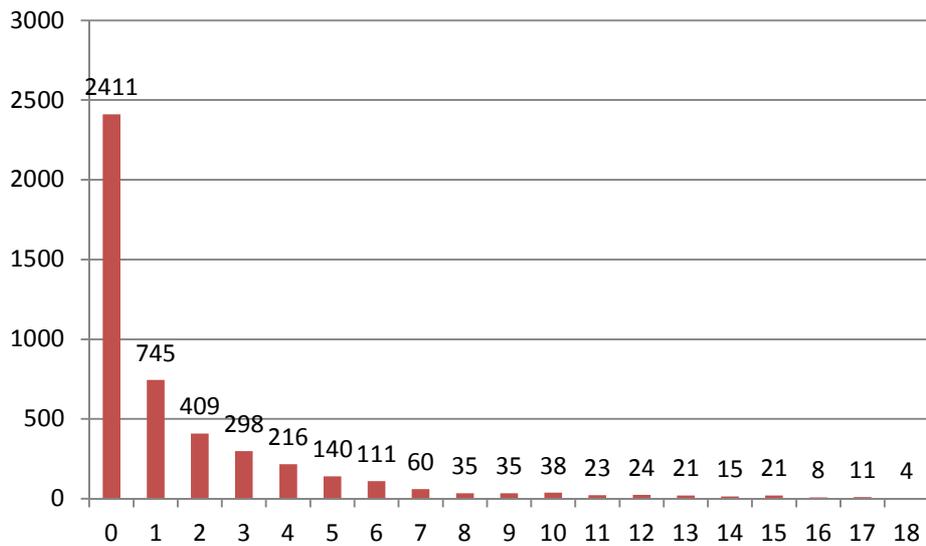


④ 4回目調査 (H28.2月データ)

- ・調査時期 平成28年2月第2週目
- ・協力事業所数 131事業所

日常生活機能 評価得点	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
	1.69	2.89	0	18	4625

得点	個数	割合	割合
0	2411	52.1%	52.1%
1	745	16.1%	44.3%
2	409	8.8%	
3	298	6.4%	
4	216	4.7%	
5	140	3.0%	
6	111	2.4%	
7	60	1.3%	
8	35	0.8%	3.6%
9	35	0.8%	
10	38	0.8%	
11	23	0.5%	
12	24	0.5%	
13	21	0.5%	
14	15	0.3%	
15	21	0.5%	
16	8	0.2%	
17	11	0.2%	
18	4	0.1%	
合計	4625		

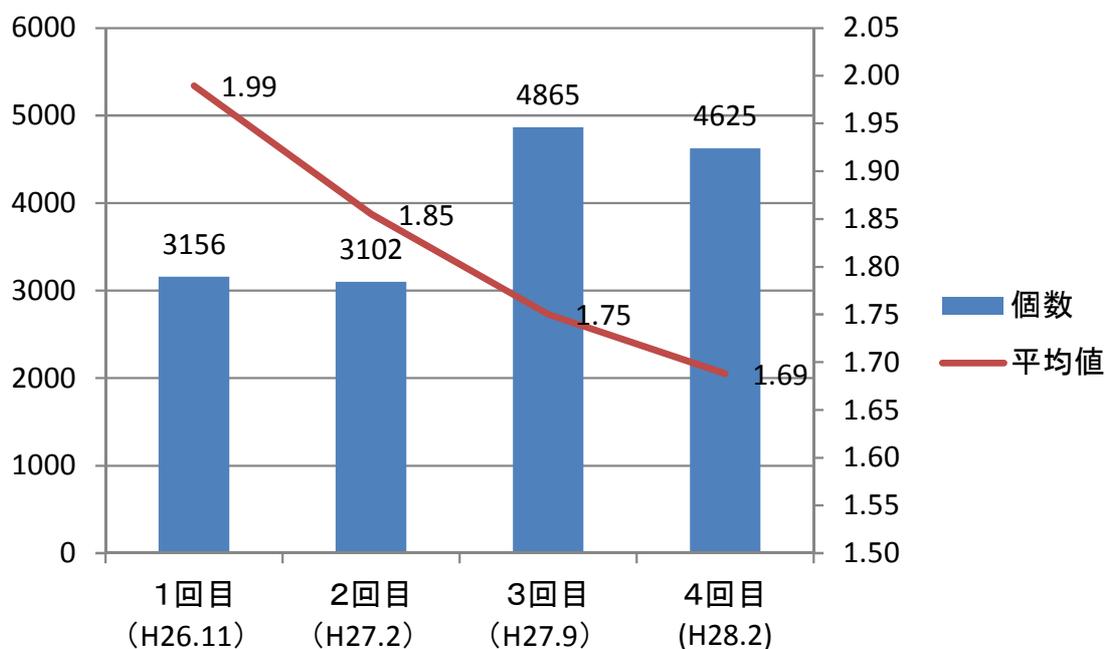


2) 各調査回の日常生活機能評価得点の平均値の推移

各回ともに、日常生活機能評価得点の傾向はほぼ同様で、0点から9点が約95%を占め、10点以上の重度者の利用者は約3.5%となっている。デイサービスには、状態像が比較的軽度な利用者が大半を占め、介助が必要な重度な利用者が少ないことが分かる。

次に、各回の日常生活機能評価得点の平均値推移を算出した。

	1回目 (H26.11)	2回目 (H27.2)	3回目 (H27.9)	4回目 (H28.2)
個数	3156	3102	4865	4625
平均値	1.99	1.85	1.75	1.69

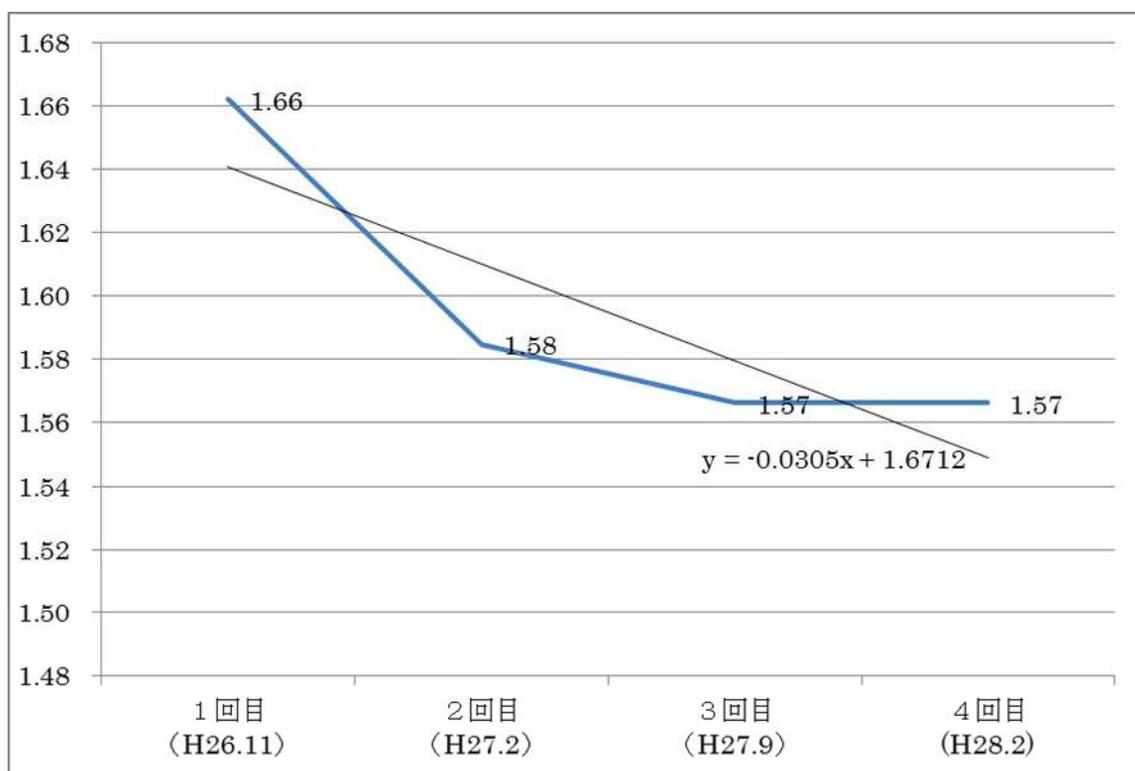


日常生活機能評価得点の平均値は回数を重ねるごとに下がっている。共通の調査対象者だけの平均値の推移でないので一概には言えないが、対象事業所が大きく異なる平成26年度実施した調査（1回目調査と2回目調査）と平成27年度実施した調査（3回目調査と4回目調査）、どちらも日常生活機能評価得点の平均値が初回より下がっていることから、日常生活機能評価の調査をさせているデイサービス改善インセンティブ事業の取組を進めることが、事業所スタッフの改善のモチベーションを高めるとともにスキルアップにつながり、結果、利用者の状態像の改善に寄与していると考えられる。

3) 共通利用者の日常生活機能評価得点の平均値の推移

全ての調査の対象となった共通利用者を抽出した結果、1,349名の該当があったため、1,349名の4回分調査（15か月間）の日常生活機能評価得点の平均値の推移を示した。これらのデータを集積することによって、今後は多項式近似などを用いた推計ができる可能性が示された。

全体 (n=1349)	1回目 (H26.11)	2回目 (H27.2)	3回目 (H27.9)	4回目 (H28.2)
日常生活機能評価得点平均値		1.66	1.58	1.57



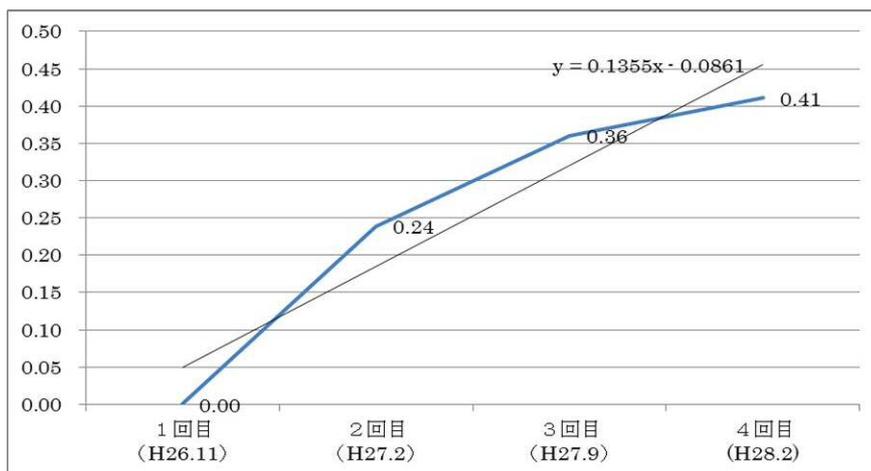
日常生活機能評価得点の平均値は、2回目では下がっているが、3回目以降はほぼ横ばいで推移している。

次に、第1回目の調査時の日常生活機能評価得点（初期値）ごとに、利用者を下記の3類型に分け、日常生活機能評価得点の平均値の推移を示した。

- ①軽度者・・・初期値が0点
- ②中度者・・・初期値が1点～9点
- ③重度者・・・初期値が10点以上

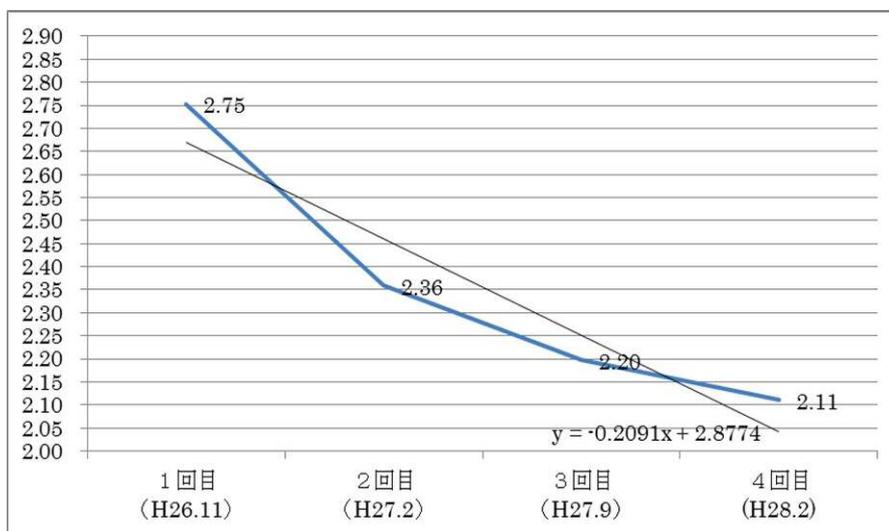
①軽度者の日常生活機能評価得点の平均値の推移

第1回調査「0点」者のみ (n=674)	1回目 (H26.11)	2回目 (H27.2)	3回目 (H27.9)	4回目 (H28.2)	
日常生活機能評価 得点平均値		0.00	0.24	0.36	0.41



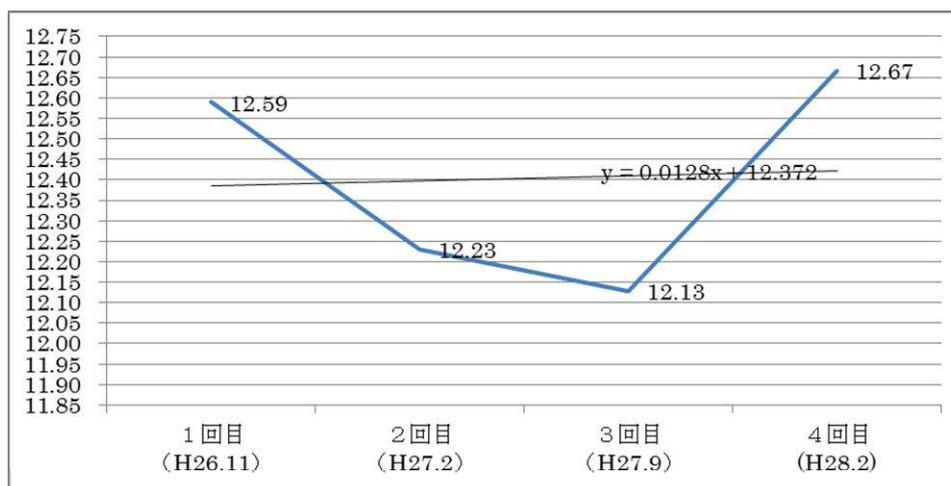
②中度者の日常生活機能評価得点の平均値の推移

第1回調査「0～9点」者のみ (n=636)	1回目 (H26.11)	2回目 (H27.2)	3回目 (H27.9)	4回目 (H28.2)	
日常生活機能評価 得点平均値		2.75	2.36	2.20	2.11



③重度者の日常生活機能評価得点の平均値の推移

第1回調査「10点以上」者のみ (n=39)	1回目 (H26.11)	2回目 (H27.2)	3回目 (H27.9)	4回目 (H28.2)
日常生活機能評価 得点平均値	12.59	12.23	12.13	12.67



①～③の日常生活機能評価得点の平均値の推移から、軽度者と重度者は日常生活機能評価得点の平均値が高くなる傾向が見られた。これは、時間の経過とともに利用者の状態像が次第に悪化していったのではないかと推測される。

また、一方で中度者は得点が下がっていく傾向が見られた。このことから中度者は、時間の経過による状態像の悪化より、デイサービス事業所の取組による状態像の改善の方が上回っており、事業所の取組次第で、利用者の状態像の改善に大きな影響を与えることができることが分かった。

4) 日常生活機能評価得点差分分析

共通利用者 1,349 名の各調査回の得点の差から状態像の変化について分析した。

得点の変化については各 2 回調査の日常生活機能得点の差を算出し、得点差が

2 点以上であれば、「改善」

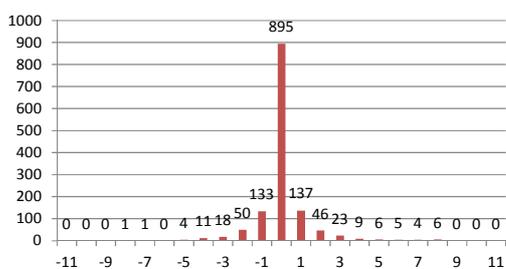
0 点、1 点、-1 点であれば、「維持」

-2 点以上であれば、「悪化」

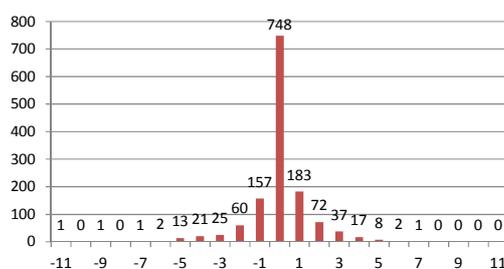
とした。

なお、2 点を基準にした根拠は、各 2 回の調査の日常生活機能評価得点の差の標準偏差が、1.35~1.49 だったため、「2 点」を基準とした。

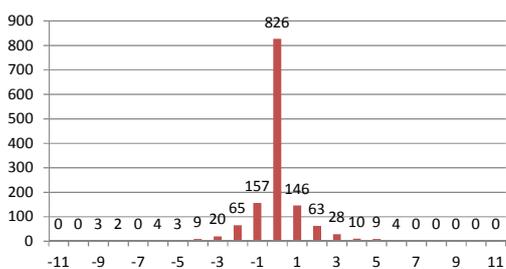
日常生活機能 評価得点の差 (1回目-2回 目)	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
	0.08	1.35	-8	8	1349

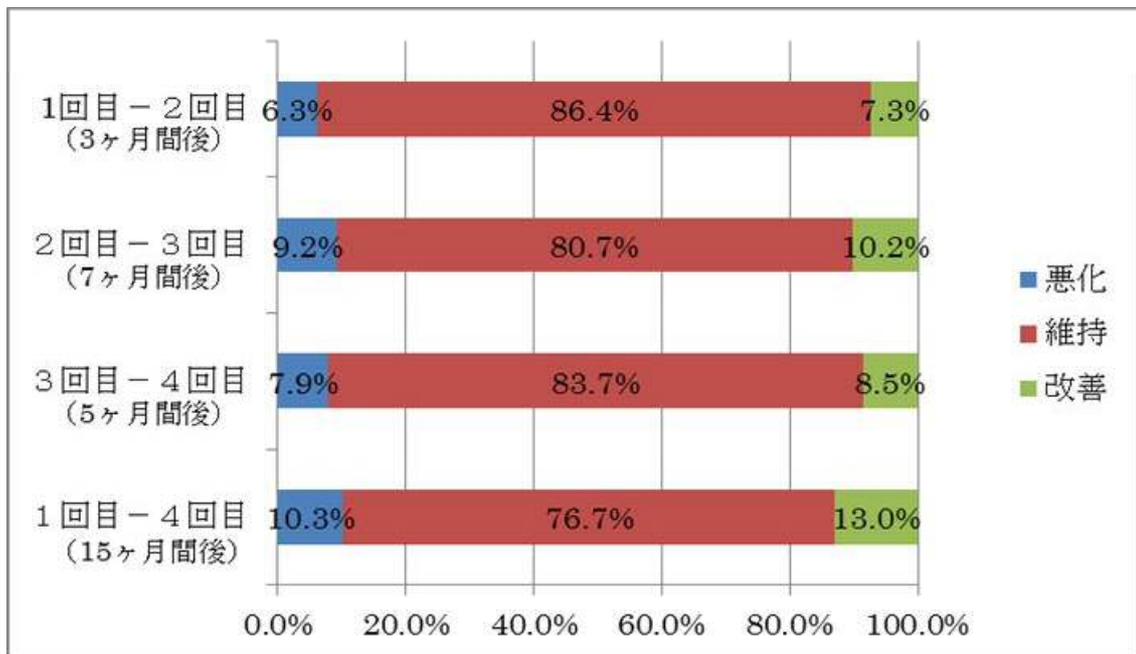


日常生活機能 評価得点の差 (2回目-3回 目)	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
	0.02	1.49	-11	7	1349



日常生活機能 評価得点の差 (3回目-4回 目)	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
	0.00	1.36	-9	6	1349





1回目－2回目比較では、「維持」が2回目－3回目比較、3回目－4回目比較より多く占めているが、これは調査のインターバルが3ヶ月間だったために、状態像の変化が少なかったと考えられる。また、2回目－3回目比較では、1回目－2回目比較、3回目－4回目比較より「悪化」、「改善」する割合が多くなっている。これは、調査のインターバルは7カ月だったため、より状態像の変化があったと考えられる。インターバルが15か月間となる1回目－4回目比較ではその傾向が顕著に表れている。このことから調査期間が長いほど、状態像の変化が多くなること、また日常生活機能評価得点が一定程度状態像の変化を示すものであることが明らかになった。

また、どの比較でも、「維持」が約8割を占めているが、「改善」、「悪化」の割合はどの比較でも「改善」が上回る結果になっている。

4) 中間評価項目得点の傾向

H27.2月に日常生活機能評価調査を実施した利用者について、要介護の新規認定まで遡り、各要介護認定時の中間評価項目得点のデータを抽出する予定だったが、データが膨大となり抽出及び精査に時間を要したため、今年度中の傾向分析は断念することにした。来年度には中間評価項目得点のデータをもとに傾向を分析し、多項式近似など任意に当てはまりのよさそうな曲線を示せる可能性が示唆された。

5) まとめ

日常生活機能評価のデータ、中間評価項目得点の平均値の推移を分析することで、日常生活機能評価は利用者の「状態像の変化」を捉えるものという仮説を検証する予定にしていたが、データ数及び高齢者の属性の多様性を担保出来なかったため、来年度も引き続き、検証作業を続けることで仮説を立証する予定である。

続いて日常生活機能評価得点とデイサービスの評価指標との関連性について分析することで、日常生活機能評価得点がデイサービス事業所の質を評価するアウトカム指標となりうるかどうかについて検討する。

6 日常生活機能評価得点とデイサービスの評価指標との関連性分析

1) H27 デイサービス改善インセンティブ事業の結果

平成27年度は、デイサービス改善インセンティブ事業に日常生活機能評価票を用いたアウトカム評価を導入した。市内約300事業所のうち、153事業所が参加し、5つのデイサービスの評価指標のうち、3つ以上の指標を達成した72事業所を指標達成事業所としてインセンティブ（表彰及び情報公開）を付与し、さらに指標達成事業所のうちアウトカム評価が上位事業所12事業所には奨励金を付与した。つまりストラクチャー、ストラクチャー評価をクリアし、かつアウトカム評価が好成績の事業所（＝アウトカム評価上位事業所）に対して成果報酬を支払うことを行った。

アウトカム評価上位事業所の選定方法は、平成27年9月と平成28年2月に実施した日常生活機能評価得点の差の事業所ごとの平均値（＝アウトカム評価基準値）を算出し、上位10事業所を選定した（10位が同値だったため、12事業所を選定した。）

（H27 デイサービス改善インセンティブ事業の結果については別添4参照）

【H27 デイサービス改善インセンティブ事業の結果及びインセンティブ】

○参加事業所（153事業所）

・・・ 情報公開（一覧）

○指標達成事業所（72事業所）

・・・ 情報公開（一覧）＋ 情報公開（個票） ＋ **表彰**

○指標達成事業所かつアウトカム評価上位事業所（12事業所）

・・・ 情報公開（一覧）＋ 情報公開（個票） ＋ **表彰** ＋ **奨励金**

※情報公開（一覧）・・・市のHPで参加事業所名や連絡先等を一覧で公開します。

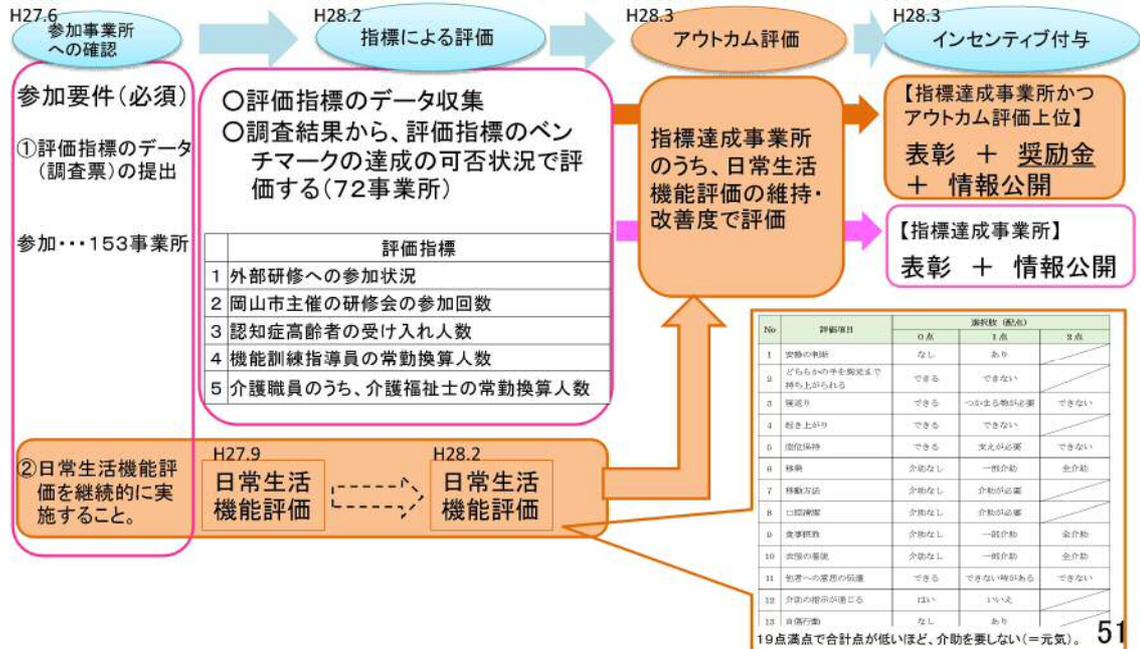
※情報公開（個票）・・・市のHPで事業所の理念や事業所のPR等を公開します。

※表彰・・・平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業にて指標達成したことを賞し、賞状を付与します。

※奨励金・・・アウトカム評価上位を賞し、奨励金として8万円を付与します。

H27総合特区デイサービス改善インセンティブ事業の概要

デイサービス改善インセンティブ事業にアウトカム評価を導入。評価指標の達成、かつアウトカム評価上位事業所に奨励金を付与



指標による評価

下記の5つの指標は岡山市と市内事業所が共同して選定した「デイサービスの質を評価する指標」です。デイサービス改善インセンティブ事業では5つの評価指標のうち、3つ以上の指標のベンチマークを達成した事業所指標達成参加事業所としています。

	評価指標	ベンチマーク	ベンチマーク達成事業所数
1	外部研修への参加状況 延べ人数/職員数(常勤換算人数)	評価対象事業所の平均値以上	53事業所 (50)
2	岡山市主催の研修会の参加回数	5回のうち3回以上参加 (3回のうち3回とも参加)	124事業所 (85)
3	認知症高齢者の受け入れ人数 実人数/利用定員 (H26はⅡa以上、H27はⅢa以上)	評価対象事業所の平均値以上	54事業所 (73)
4	機能訓練指導員の常勤換算人数 常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)	評価対象事業所の平均値以上	65事業所 (61)
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)	評価対象事業所の平均値以上	65事業所 (67)

* 下段、()内の数値はH26の値

指標達成事業所数

H27は、72事業所/153事業所参加

H26は、60事業所/160事業所参加

5つ達成... 4事業所
 4つ達成... 23事業所
 3つ達成... 45事業所

アウトカム評価上位事業所の選定方法

事業所による利用者の日常生活機能の維持・改善に資する取組を評価するものであり、1回目調査得点と2回目調査得点の差によって、利用者を「悪化群」、「維持群」、「改善群」に分け、それぞれ、「0点」、「1点」、「2点」とし、事業所ごとの平均値(※)を算出し、上位10位をアウトカム評価上位事業所として奨励金を付与する

※アウトカム評価基準値

= 1回目調査と2回目調査の得点の差の評点(0点、1点、2点)の事業所ごとの平均値

<基礎データ>

○1回目調査

- ・調査時期 H27.9
- ・回答事業所 136事業所
- ・延べ件数 4865件(重複除く)

○2回目調査

- ・調査時期 H28.2
- ・回答事業所 131事業所
- ・延べ件数 4616件(重複除く)

※1回目、2回目共通事業所 125事業所
(有効件数 3471件)

日常生活機能評 平均値	標準偏差	最小値	最大値	N	
(1回目-2回目)	-0.06	1.40	-16.00	6.00	3471
日常生活機能評価得点の差					
(1回目-2回目)	悪化(0点)	維持(1点)	改善(2点)	合計	
-16	1	0	0	1	
-15	0	0	0	0	
-14	0	0	0	0	
-13	1	0	0	1	
-12	0	0	0	0	
-11	0	0	0	0	
-10	1	0	0	1	
-9	6	0	0	6	
-8	4	0	0	4	
-7	0	0	0	0	
-6	9	0	0	9	
-5	11	0	0	11	
-4	35	0	0	35	
-3	76	0	0	76	
-2	171	0	0	171	
-1	0	422	0	422	
0	0	2035	0	2035	
1	0	432	0	432	
2	0	0	162	162	
3	0	0	59	59	
4	0	0	25	25	
5	0	0	14	14	
6	0	0	7	7	
合計	315	2889	267	3471	

アウトカム評価上位事業所は下記の通りである。12事業所には8万円の奨励金を付与した。

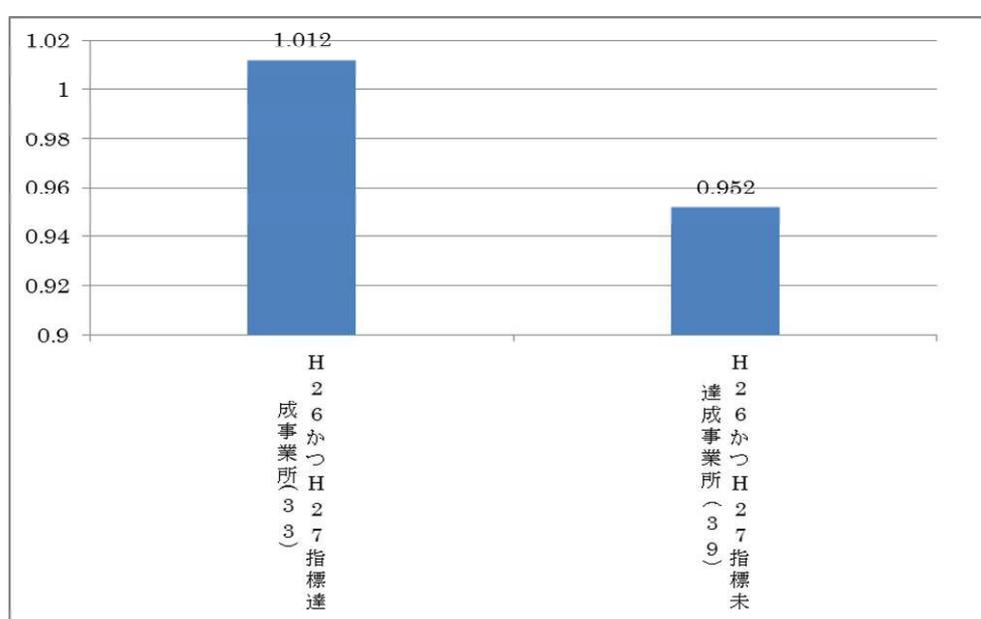
順位	事業所名	定員	アウトカム 評価基準値
1	さっちゃん家デイサービスセンター	10	1.333
2	津高寮デイサービスセンター	25	1.292
3	松風会デイサービスセンターカドタ	25	1.250
4	デイサービスプチアイル益野	13	1.200
5	デイサービスケアビレッジたけべ	18	1.184
6	デイサービスセンターアルフィック東川原	55	1.176
7	会陽の里デイサービスセンター	18	1.125
8	デイサービスあゆむ	15	1.118
9	デイサービスココファン高屋	20	1.111
10	デイサービスかりん	10	1.083
10	デイサービス 笠井の里	18	1.083
10	デイホーム縁	9	1.083

*10位が同値のため、計12者

2) アウトカム指標としての検証

続いて、アウトカム評価基準値を使い、日常生活機能評価得点がデイサービス事業所の質を評価するアウトカム指標となりうるかどうか検証する

H27.9、H28.2の2回ともに日常生活機能評価を調査した事業所は125事業所あり、そのうち、平成26年度、平成27年度の2か年とも指標達成事業所となった事業所は33カ所ある。また一方で、2か年とも指標を達成していない事業所は39カ所であった。この2つの事業所のアウトカム評価基準値を比較した。



H26年度の指標達成事業所かつH27年度の指標達成事業所と2か年とも指標を達成していない事業所のアウトカム評価基準値を比べた結果、前者が1.012、後者が0.952という結果になった。これによりデイサービス改善インセンティブ事業の指標達成事業所の取組は、利用者の状態像の維持・改善に寄与していること、また日常生活機能評価得点がデイサービス事業所の質を評価するアウトカム指標として有効だと考えられる。

また一方で、5つのデイサービスの評価指標の1つである「市主催の研修会」を平成26年度から新たに開催しデイサービスのボトムアップを図っている。平成26年度は3回、平成27年度は5回開催し、認知症や機能訓練などの視点から今後のデイサービスに求められる機能について専門職による講演を行った。こうした研修への参加が利用者の状態像の維持・改善にも寄与していると考えられる。

(介護職員スキルアップ研修については、別添3参照)

7 医療介護連携としてのアウトカム指標の検討

1) デイサービス DASC モデル事業

日常生活機能評価得点の変化分析から日常生活機能評価は利用者の「状態像の変化」を捉えるものであるという仮説を検証すると同時に、医療介護連携の視点から認知症アセスメントツールDASCを活用し、受診勧奨につなげた件数がアウトカム指標になり得るか検証した。

具体的には手上げで募集したデイサービス事業所（23事業所）と、当該事業の趣旨に賛同してもらえた8人に在宅医と協力し、要介護認定者の多くが活用しているデイサービスの場において、DASC調査を実施することで、MCIレベルの認知症がどの程度存在しているのかを把握するとともに MCI レベルの方を在宅医への受診につなげることが認知症の早期発見・早期治療にどの程度影響があるのかを調査した。

<結果>

- DASC調査時期 1回目 平成27年10月
2回目 平成28年1月
- DASC調査件数 延614件
- DASC調査実施者 デイサービス事業所スタッフ
- 参加デイサービス事業所数 23事業所
- 参加在宅医数 8診療所

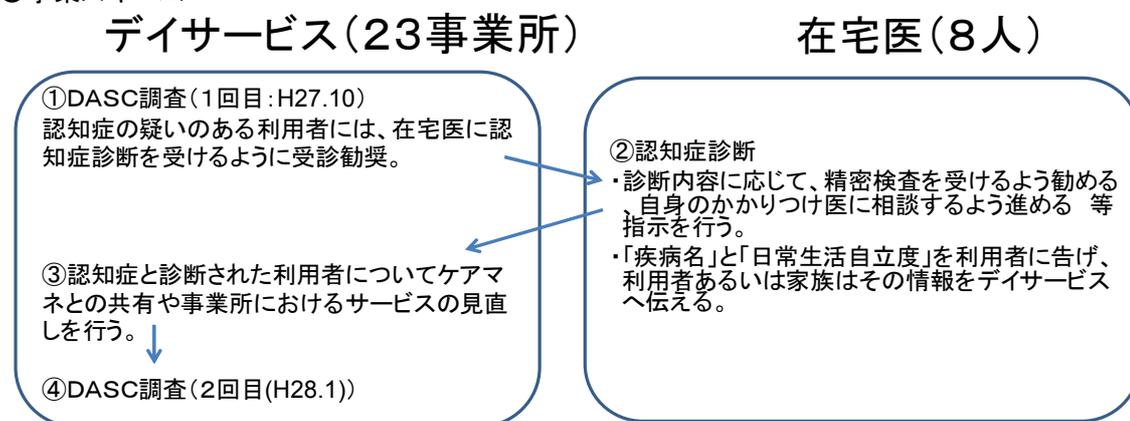
デイサービスDASCモデル事業スキーム

～認知症総合アセスメント(DASC)を活用した指標調査研究事業(平成27年度)～

○目的

- ①要介護認定者の多くが活用しているデイサービスの場において、DASC調査を実施することで、MCIレベルの認知症がどの程度存在しているのかを把握する。
- ②MCIレベルの方を在宅医への受診につなげることが認知症の早期発見・早期治療にどの程度影響があるのかを調査する。

○事業スキーム



調査票① デイサービスDASCモデル事業（デイサービス用）

事業所番号	
事業所名	
介護保険被保険者番号	

地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメントシート(DASC-21)

Dementia Assessment Sheet in Community-based Care System - 21 items(DASC-21)

記入日 H 年 月 日

ご本人の氏名:	生年月日:	年	月	日 (歳)	男・女	独居・同居
本人以外の情報提供者の氏名:	(本人との続柄:)			記入者氏名:	(所属・職種:)	

		1点	2点	3点	4点	評価項目	備考欄
(i)	もの忘れが多いと感じますか	a.感じない	b.少し感じる	c.感じる	d.とても感じる	導入の質問 (採点せず)	
(ii)	1年前と比べてもの忘れが増えたと感じますか	a.感じない	b.少し感じる	c.感じる	d.とても感じる		
1	財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがあります	a.まったくできない	b.ときどきある	c.頻繁にある	d.いつもそうだ	記憶	近時記憶
2	5分前に聞いた話を思い出せません	a.まったくできない	b.ときどきある	c.頻繁にある	d.いつもそうだ		遠隔記憶
3	自分の生年月日がわからなくなることがあります	a.まったくできない	b.ときどきある	c.頻繁にある	d.いつもそうだ	見当識	時間
4	今日が何月何日かわからなくなることがあります	a.まったくできない	b.ときどきある	c.頻繁にある	d.いつもそうだ		場所
5	自分のいる場所がどこかわからなくなることがあります	a.まったくできない	b.ときどきある	c.頻繁にある	d.いつもそうだ		道順
6	道に迷って家に帰ってこれなくなることがあります	a.まったくできない	b.ときどきある	c.頻繁にある	d.いつもそうだ	問題解決 判断力	問題解決
7	電気やガスや水道が止まってしまったときに、自分で適切に対処できますか	a.問題なくできる	b.だいたいできる	c.あまりできない	d.まったくできない		社会的 判断力
8	一日の計画を自分で立てることができますか	a.問題なくできる	b.だいたいできる	c.あまりできない	d.まったくできない		買い物
9	季節や状況にあった服を自分で選ぶことができますか	a.問題なくできる	b.だいたいできる	c.あまりできない	d.まったくできない	家庭外の IADL	交通機関
10	一人で買い物はできますか	a.問題なくできる	b.だいたいできる	c.あまりできない	d.まったくできない		金銭管理
11	バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか	a.問題なくできる	b.だいたいできる	c.あまりできない	d.まったくできない	家庭内の IADL	電話
12	貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか	a.問題なくできる	b.だいたいできる	c.あまりできない	d.まったくできない		食事の準備
13	電話をかけることができますか	a.問題なくできる	b.だいたいできる	c.あまりできない	d.まったくできない	身体的 ADL ①	服薬管理
14	自分で食事の準備はできますか	a.問題なくできる	b.だいたいできる	c.あまりできない	d.まったくできない		入浴
15	自分で、薬を決まった時間に決まった分量飲むことはできますか	a.問題なくできる	b.だいたいできる	c.あまりできない	d.まったくできない	身体的 ADL ②	着替え
16	入浴は一人でできますか	a.問題なくできる	b.見守りや声がけを要する	c.一部介助を要する	d.全介助を要する		排泄
17	着替えは一人でできますか	a.問題なくできる	b.見守りや声がけを要する	c.一部介助を要する	d.全介助を要する	身体的 ADL ②	整容
18	トイレは一人でできますか	a.問題なくできる	b.見守りや声がけを要する	c.一部介助を要する	d.全介助を要する		食事の準備
19	身だしなみを整えることは一人でできますか	a.問題なくできる	b.見守りや声がけを要する	c.一部介助を要する	d.全介助を要する	移動	
20	食事は一人でできますか	a.問題なくできる	b.見守りや声がけを要する	c.一部介助を要する	d.全介助を要する		
21	家の中での移動は一人でできますか	a.問題なくできる	b.見守りや声がけを要する	c.一部介助を要する	d.全介助を要する		

調査票② デイサービスDASCモデル事業（在宅医用）

【受診診療所名】

【受診日】

平成27年 月 日

1 認知症診断の結果の疾病名について

(該当する疾病名に○をつけてください)

- | | | |
|------------------------|--------------|--------------------|
| 1. 正常または健常 | 5. 血管性認知症 | 9. アルコール関連障害による認知症 |
| 2. 軽度認知障害(MCI) | 6. レビー小体型認知症 | 10. その他の認知症 |
| 3. アルツハイマー型認知症 | 7. 前頭側頭葉変性症 | 11. 非認知症疾患 |
| 4. 脳血管障害を伴うアルツハイマー型認知症 | 8. 正常圧水頭症 | |

2 認知症高齢者の日常生活自立度

(該当するレベルに○をつけてください)

I II a II b III a III b IV M

3 診断内容に応じて指示したこと (該当する口に✓をしてください)

- 精密検査を受けるよう、別の病院を紹介した (病院名: _____)
- 利用者自身のかかりつけ医と相談するよう勧めた
- 認知症の予備軍であったので、生活習慣を見直すよう勧めた
- その他 下記に記載してください。

4 その他(デイサービス等に伝えたいことがあれば記載ください。)

2) デイサービス DASC モデル事業の結果 (表2 参照)

- 協力デイサービス事業所に在籍する利用者1, 130人中、358人が認知症診断を受けている(約30%)ので、差し引き、772人が今回のDASCモデル事業の対象者となった。
- 723人中、DASC調査実施者が334人。(およそ約430人は在宅医から遠い等の理由から調査から外されている)
- 1回目のDASC調査を行った334人(=認知症の診断を受けていない利用者)のうち、133人(約40%)が軽度の認知症の疑いがあるとの調査結果が出た。
- 軽度の認知症の疑いがあると調査結果が出た133人に受診勧奨をした結果、33人(約25%)が在宅医やかかりつけ医で診断を行った。
- 受診勧奨したが、受診を拒否したケースが多く、67件(約50%)がかかりつけ医や協力在宅医でも診断を拒否している。そのうち、拒否理由としては、本人や家族の拒否、協力在宅医が遠い等の利用が挙げられる。
- 1回目調査で31点以上(133人)かつ2回目調査で点数が維持改善した人数は60人であり、維持改善率は約40%(60人/133人)

表2

事業所名	H27.7.1時点で事業所に在籍している全利用者	左記のうち、認知症の診断を受けている利用者数	1回目調査 【H27.10月】		受診勧奨結果						2回目調査 【H28.1月】 (1回目、2回目に両方とも回答があった人)	
			DASC調査票件数	うち、31点以上人数	在宅医へ受診した人数	かかりつけ医へ受診した人数	受診拒否した人数	うち、本人理由	うち、家族理由	うちその他理由	DASC調査票件数	1回目調査で31点以上で、維持改善した人数
A	45名	9名	15	10	0	0	5	4	0	1	11	6
B	43名	16名	15	8	4	0	2	1	1	0	10	2
C	49名	24名	8	0	0	-	-	-	-	-	7	-
D	33名	20名	3	0	0	-	-	-	-	-	3	-
E	70名	19名	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
F	70名	21名	9	0	0	-	-	-	-	-	8	-
G	75名	37名	30	18	0	6	11	7	0	4	27	13
H	99名	58名	7	0	0	-	-	-	-	-	7	-
I	32名	18名	12	4	1	0	3	1	2	0	10	1
J	26名	3名	12	7	0	4	0	0	0	0	9	1
K	73名	9名	31	6	0	1	2	0	0	2	31	3
L	65名	24名	25	5	0	0	5	5	0	0	20	-
M	53名	12名	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
N	53名	5名	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O	42名	15名	7	0	0	0	0	0	0	0	6	-
P	21名	8名	21	15	0	14	2	2	0	0	16	6
Q	41名	5名	31	25	0	0	24	0	0	24	30	15
R	9名	8名	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S	85名	9名	42	13	0	0	13	4	0	9	33	5
T	25名	4名	24	15	0	0	0	0	0	0	14	5
U	14名	5名	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0
V	24名	20名	13	4	0	0	0	0	0	0	12	3
W	83名	9名	26	0	-	-	-	-	-	-	26	-
23事業所	1,130	358	334	133	5	28	67	24	3	40	280	60
					33							

3) デイサービス DASC モデル事業の好事例

- ・ DASC の結果 3 1 点以上だったので、在宅医に受診を勧めた結果、アルツハイマー型認知症と診断された。
- ・ 家族は、もともと認知症ではないかと思っていたため、認知症だとはっきりわかり診断してよかったと言っていた。家族から本人にもその診断結果を伝えている。
- ・ 認知症と診断されて以降、家族は本人に自分でできることはするように仕向けている。本人もそれは自覚しており自分でできることはするようになった。
- ・ デイサービスでの対応も変わり、例えば、山なりにいくというイベントの際に、今までは「いきませんか？」と言っていたところを「途中でやめてもいいので、行きましょう」とかいった具合に声掛けをより強めにいうようにした。本人も自覚しているので参加するようになっている。

4) デイサービス DASC モデル事業のまとめ

今年度はモデル的に実施したため、データ数は少なかったが、デイサービス事業所で認知症の診断を受けていない利用者を DASC 調査した結果、約 40% が MCI レベルの認知症の疑いがあったことから、デイサービス事業所で MCI レベルの認知症のスクリーニングを行うことの有効性についてはあった。

MCI レベルの方を在宅医への受診につなげることが認知症の早期発見・早期治療へのどの程度寄与できるかについては、今回はデータ件数が少ないことから、引き続き当該事業を実施し検証していくことにする。

また、DASC 調査で受診勧奨したとしても、約 50% の人が受診を拒否していることから、受診勧奨の回数をアウトカム指標として検討することは適切ではないと考えるが、デイサービス事業所で認知症のスクリーニングを実施することに有意性はあるため、デイサービス改善インセンティブ事業のストラクチャー・プロセス指標である 5 つのデイサービスの評価指標に加える方向で検討する。

来年度は引き続き、手上げでモデル的に実施し、協力在宅医以外でも受診勧奨ができるように、診療所向けにも周知の連絡をすることを検討する

8 アウトカム指標確立に向け他都市の事例収集

アウトカム指標確立に向けて、上記のような取組をする一方で、自治体レベルでも独自の質の評価を実施している自治体が全国にいくつかあり、その手法や成果等を収集・共有するために、「介護サービス質の評価先行自治体検討協議会」を平成27年11月に発足した。（第1回協議会資料は資料5参照）

今後、当協議会では全国で運用が可能な質の評価の手法を研究し、平成28年10月に開催する第3回協議会で厚生労働省へ具体的な制度設計を提案していく予定である。こうした取組を他の自治体にも広めていくことで、質の評価手法やアウトカム指標の確立を加速させていく。

「介護サービス質の評価先行自治体検討協議会」の発足

○目的

状態像が維持・改善した場合に介護サービス事業者へインセンティブ付与を実施している自治体の取組を共有するとともに、平成30年度の報酬改定に向け、持続可能な介護保険制度への政策提言（インセンティブ加算の創設）を行う。

○協議会の構成員(6自治体)

川崎市、品川区、名古屋市、福井県、滋賀県、岡山市 の課長クラス

○協議内容及び時期

- ・ 第1回協議会(各々の取組の報告)
日時:平成27年11月13日(金)14:00~16:00
場所:岡山市(岡山市役所内第3会議室)
- ・ 第2回協議会(政策提言の骨子案協議)
日時:平成28年8月6日
場所:東京(品川)付近の会議室
- ・ 第3回協議会(政策提言の確定)
日時:平成28年10月21日(金)
場所:岡山市(岡山市で開催される全国介護サミット関連)
- ・ 厚生労働省へ政策提言 (H28年度内)

9 最後に

要介護認定申請（変更）時に実施する中間評価項目得点、要介護認定時に急性期や慢性期病院で標準化されている日常生活機能評価得点、認知症アセスメントツールである DASC を活用し、下記の3つのアプローチからデイサービスのアウトカム指標の検証をしてきた。

- ①中間評価項目得点の傾向と日常生活機能評価の傾向を比較分析
- ②日常生活機能評価得点とデイサービスの評価指標との関連性分析
- ③認知症アセスメントツールDASCを活用したアウトカム指標の分析

①について、4回の日常生活機能評価調査により日常生活機能評価得点の平均点の傾向を示すことができた。これらのデータを集積することによって、今後は多項式近似などを用いた推計ができる可能性が示された。

また、今回の調査結果では、軽度者と重度者は日常生活機能評価得点の平均値が高くなる傾向が見られた。これは、時間の経過とともに利用者の状態像が次第に悪化していったのではないかと推測されるが、一方で中度者は得点が下がっていく傾向が見られた。このことから中度者は、時間の経過による状態像の悪化より、デイサービス事業所の取組による状態像の改善の方が上回っており、事業所の取組次第で利用者の状態像の改善に大きな影響を与えることができることが分かった。

なお、日常生活機能評価のデータ、中間評価項目得点の平均値の推移を分析することで、日常生活機能評価は利用者の「状態像の変化」を捉えるものという仮説を検証する予定にしていたが、データ数及び高齢者の属性の多様性を担保出来なかったため、来年度も引き続き、検証作業を続けることで仮説を立証する予定である。

②について、日常生活機能評価得点とデイサービス改善インセンティブ事業の5つのデイサービス評価指標との関連性を分析することにより、日常生活機能評価得点を「事業所の質を評価するアウトカム指標」として確立できないかを検証した結果、指標達成事業所と指標未達成事業所では日常生活機能評価得点から算出するアウトカム評価基準値が、前者のほうが高い結果になった。これによりデイサービス改善インセンティブ事業の指標達成事業所の取組は、利用者の状態像の維持・改善に寄与していること、また日常生活機能評価得点は事業所の質を評価するアウトカム指標として有効だと考えられる。

③について、DASC 調査で受診勧奨したとしても、約50%の人が受診を拒否していることから、受診勧奨の回数をアウトカム指標として検討することは適切ではないと考えるが、デイサービス事業所で認知症のスクリーニングを実施することに有意性はあるため、デイサービス改善インセンティブ事業のストラクチャー・プロセス指標である5つのデイサービスの評価指標に加える方向で検討する。

①、②、③の検証を通して、今回の調査研究ではまずは、日常生活機能評価得点はストラクチャー・プロセスが一定水準に至っている事業所の質を評価するアウトカム指標としての有効性は検証できた。

今後は、ストラクチャー・プロセス指標に、医療介護連携や非該当人数、重度者の受け入れに関する項目を加え、さらに事業所の質を高めるとともに、日常生活機能評価を引き続き実施し、日常生活機能評価は利用者の「状態像の変化」を捉えるものであるという仮説を検証していくことにする。

また、来年度は日常生活機能評価を実施しているデイサービス事業所の利用者の日常生活機能評価得点の傾向と医療・介護レセプトデータとの相関関係を分析することを考えている。

具体的には日常生活機能評価得点のアウトカム評価基準値の上位群と下位群の医療費、介護給付費の推移を分析し、利用者の自立支援に資する取組を行い、かつ社会保障費の抑制につながる取組のモデル事業所を掘り起こし、そのモデル事業所での取り組みを他の事業所にも広げることで、事業所の質のボトムアップ、利用者の QOL の向上、社会保障費の抑制につなげていく考えである。

資料編

資料1

第5回デイサービス改善イ ンセンティブ事業説明会 資料

平成27年6月25日
岡山市

第5回総合特区 デイサービス改善インセンティブ事業説明会 次第

於：岡山市地域ケア総合推進センター

多目的ホール

【スケジュール】

18:30～19:15 デイサービス改善インセンティブ事業説明

19:15～19:30 指標達成事業所の取組紹介、質疑応答

19:30 閉会

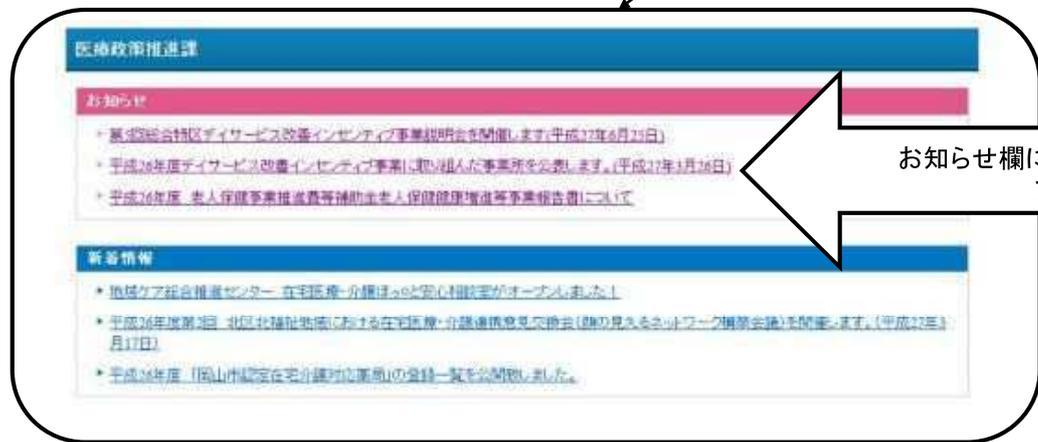
【配布資料】

- ・① 本紙
- ・② デイサービス改善インセンティブ事業について
- ・③-1 総合特区デイサービス改善インセンティブ事業の調査票の提出について(依頼)
- ・③-2 通所介護サービスの質の評価に関する調査票
- ・③-3 通所介護サービスの質の評価に関するアンケート
- ・③-4 従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表 様式
- ・③-5 通所介護サービスの質の評価に関する調査票の記載の留意点
- ・③-6 多職種連携会議説明資料
- ・④ デイサービス改善インセンティブ事業 日常生活機能評価研修について
- ・返信用封筒

①岡山市役所HP トップページを下にスクロール



②上記「在宅医療の推進」をクリック



デイサービス改善インセンティブ事業 事業について

デイサービス改善インセンティブ事業の理念

トリプルエー
AAA (アクティブ・エイジレス・アドバンスト)シティ岡山

～岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区～

○岡山市は平成25年2月に総合特区として国の指定

○コンセプトは、『高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の構築』

○在宅に特化した規制緩和等を求める11項目を提案

要望一覧

●通所サービスに対する自立支援に資する質の評価の導入

●最先端介護機器貸与モデル事業

●介護予防ポイント事業の創設

●医療法人による配食サービスの実施事業

●訪問看護・介護事業者に対する駐車許可簡素化事業

○家族介護者支援(レスパイトケア)推進事業

○多機能型訪問サービスの創設

○お泊りデイサービス業者への規制強化

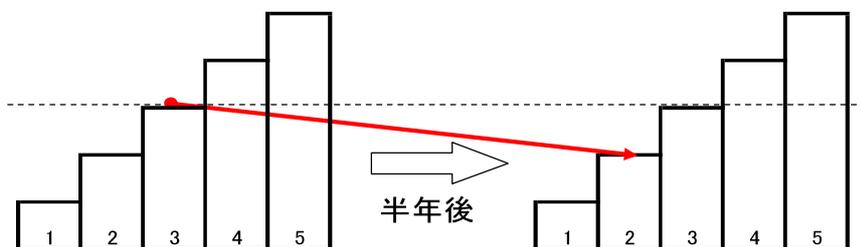
○デイサービス送迎車を活用した外出支援事業

○在宅医療支援事業

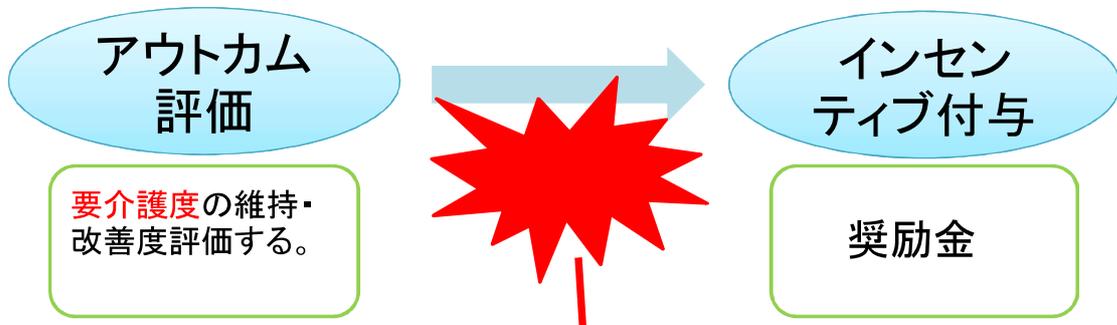
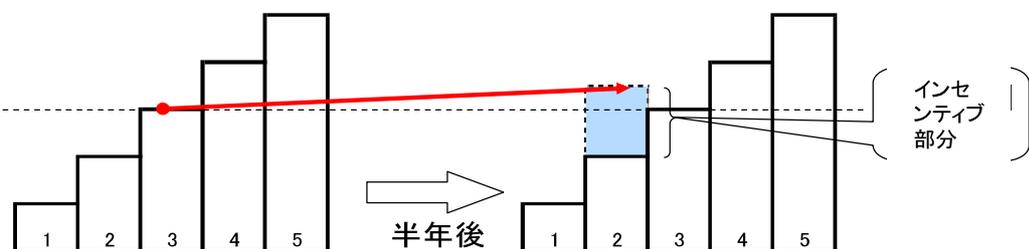
○ICTを活用した居宅療養管理指導事業

要介護度の改善に強いインセンティブを与える仕組みの創設(=インセンティブ制度)

従来の介護保険制度 → 要介護度を改善させると、報酬が減る仕組み



インセンティブ制度 → 要介護度を改善させるほど、報酬が増える仕組み

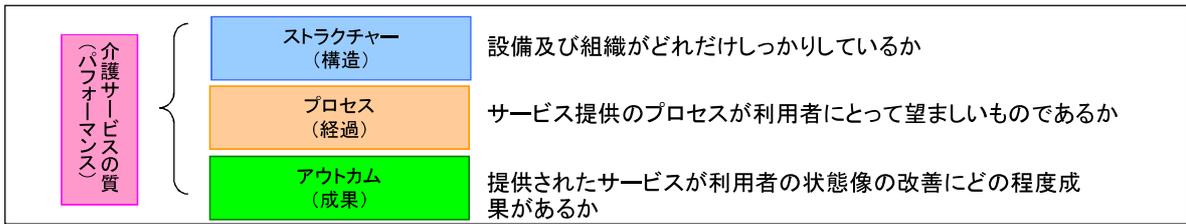


- <厚労省・有識者の意見>
- ・介護報酬は介護保険制度の根幹に関わるものであり、慎重な議論のもと全国一律で決定されるべきもので、特区といえども、介護報酬の特例として実施することは困難
 - ・通所介護サービスのアウトカム指標これまで確立されておらず、慎重な議論が必要
 - ・要介護度を指標すると、事業所による利用者選別が起きる(いいとこ取り)
 - ・通所介護サービスの質を評価する場合、アウトカムだけに着目するのではなく、プロセス、ストラクチャーも評価することが重要

厚生労働省の補助金を活用し、通所介護サービスの質を評価する指標の調査研究を実施。

通所介護サービスの質を評価する

通所介護サービスの質を評価する場合、そのアウトカムだけに着目するのではなく、ストラクチャーやプロセスを評価することが重要と考える。



質を評価する項目(価値)・指標の問題

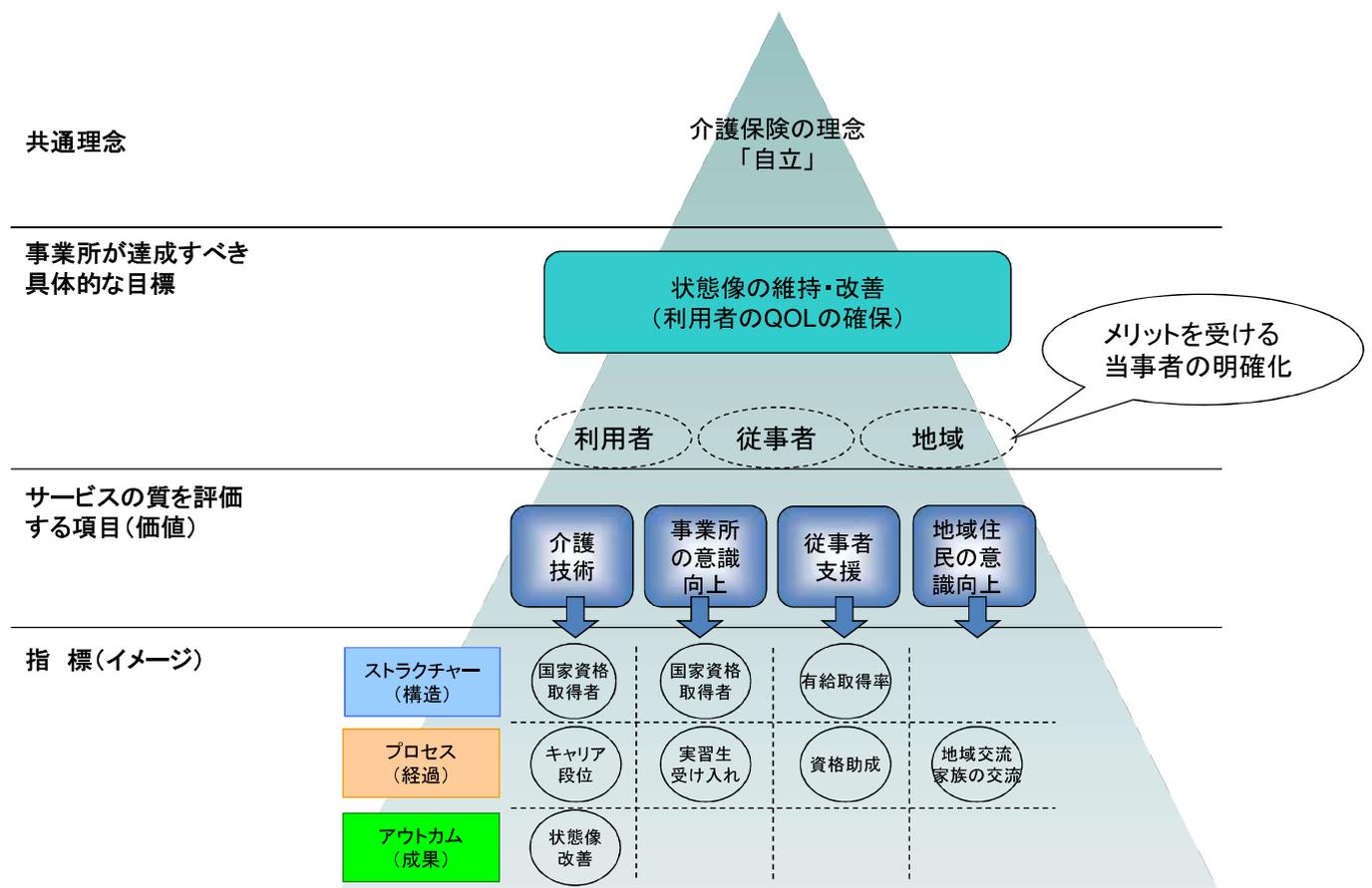
デイサービスには様々な事業所があり、その質を評価するには、複数の項目(価値)が存在し、その項目(価値)の中に各指標が存在する。

- ・預かり機能(レスパイト)に特化したサービス
- ・機能訓練を中心とした自立支援の要素の強いサービス
- ・専門性を持って認知症ケアに特化したサービス
- ・ナーシング機能を持つサービス 等



まずは市内全通所介護事業所が質の評価に取り組むことが大事。
そして、質の高い取組みの情報公開等を実施することで、介護サービスのボトムアップを図り、利用者の状態像の維持・改善につなげ、将来的には利用者の「自立」を目指す。

岡山市の通所介護サービスの質の評価階層図



デイサービス改善インセンティブ事業

- 通所介護サービスの質を評価し、積極的に利用者の状態像の維持・改善を図る事業所へインセンティブを付与
- 評価に使う「ものさし」は岡山市と市内デイサービスで共同して選定
- 取組み結果は情報公開を行い、質の高い取組みの普及を図る

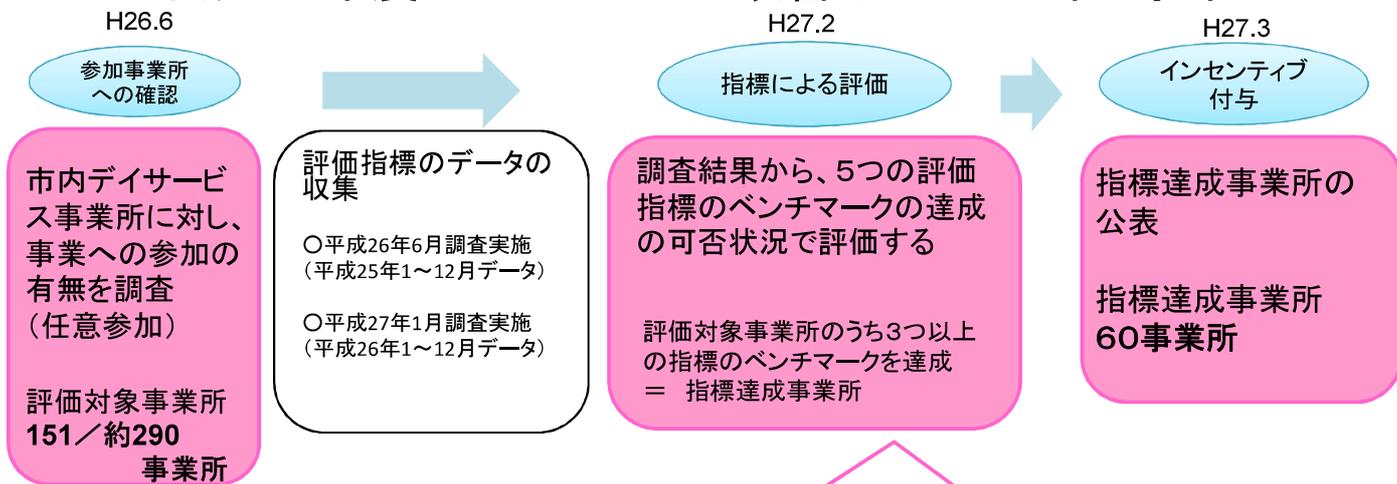


全国的にも注目されています。

これまで確立されていないデイサービスの評価指標を岡山市が全国に先駆けて確立し、介護報酬の議論につなげる。

デイサービス改善インセンティブ事業 スキーム

平成26年度 デイサービス改善インセンティブ事業



	評価指標	ベンチマーク
1	外部研修への参加状況 (延べ人数/職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上
2	岡山市主催の研修会の参加回数	3回とも1人以上参加
3	認知症高齢者の受け入れ人数 (実人数/利用定員)	評価対象事業所の平均値以上
4	機能訓練指導員の常勤換算人数 (常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 (常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上

平成26年度 インセンティブ付与(指標達成事業所の公表)

市のHP等で市民などに情報公開を行う。イメージは下記のとおり

岡山市では、介護サービスの質を評価し、利用者の状態の維持・改善に積極的に努めている事業所へインセンティブを付与する事業を進めております。

平成26年度は、まずは、市内デイサービス事業所と共同して作成した評価指標に基づき、介護サービスの質を評価する取組みを実施いたしました。

平成26年度デイサービス改善インセンティブ事業 事業スキーム及び評価指標はこちら
→リンク(スライド2)

今年度、当該事業に参加し評価指標の状況報告を行った151事業所(=評価対象事業所)の一覧は下記のとおりです。

平成26年度デイサービス改善インセンティブ事業 評価対象事業所一覧はこちら
→参考①へリンク(PDF)

また、評価対象事業所のうち、一定の評価基準を達成した60事業所(=指標達成事業所)の一覧及び各事業所の取組内容(個票)は下記の通りです。

※指標達成事業所…5つの評価指標のうち、3つ以上の評価指標のベンチマークを達成した事業所

平成26年度デイサービス改善インセンティブ事業 指標達成事業所一覧はこちら
→参考②へリンク(PDF)

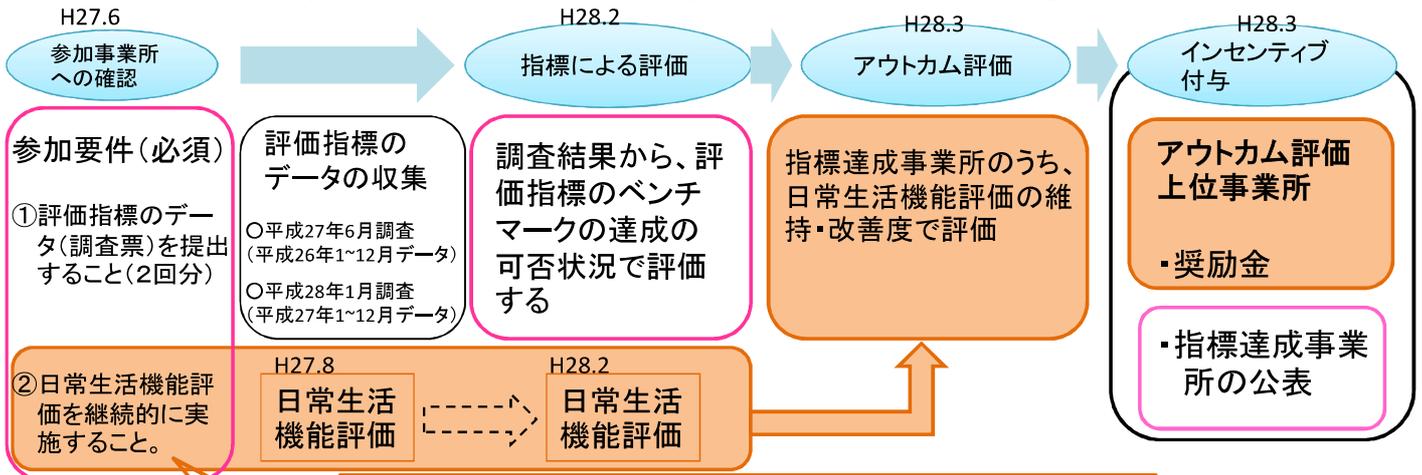
平成26年度デイサービス改善インセンティブ事業 指標達成事業所の個票はこちら
→参考③へリンク(PDF)

平成26年度デイサービス改善インセンティブ事業 指標達成事業所の特色

参考③

整理番号	
事業所名	
理念	
事業所HP	
介護サービス情報 公表システムURL	
事業所のPR	<p><記載内容>300文字程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自サービス ・職員の体制やスキルについての取組 ・認知症高齢者に向けた取組 ・利用者の状態像維持・改善に向けた取組 等
指標の達成状況	外部研修への参加状況
	岡山市主催の研修会の参加回数
	認知症高齢者の受け入れ人数

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業スキーム



○必須項目

平成27年7月17日
日常生活機能評価実施研修

1回目調査(H27.8第2週目)
事業所による利用者への調査

2回目調査(H28.2第2週目)
事業所による利用者への調査

※調査者は日常生活機能評価実施研修を受ける必要があります。

No	評価項目	選択肢(配点)		
		0点	1点	2点
1	安静の判断	なし	あり	
2	どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
3	寝返り	できる	つかまる物が必要	できない
4	起き上がり	できる	できない	
5	座位保持	できる	支えが必要	できない
6	移乗	介助なし	一部介助	全介助
7	移動方法	介助なし	介助が必要	
8	口腔清潔	介助なし	介助が必要	
9	食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
10	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
11	他者への意思の伝達	できる	できない時がある	できない
12	介助の指示が通じる	はい	いいえ	
13	自衛行動	なし	あり	

19点満点で合計点が低いほど、介助を要しない(=元気)。

調査票は下段参照

調査票Ⅰ【基本情報】

調査日	平成 27年 月 日	調査実施回数 (どちらかに○)	1. 第1回実施	2. 第2回実施
利用者の基本情報				
生年月日	大正, 昭和, 年 月 日	年齢	歳	性別 (どちらかに○)
要介護認定状況 (該当するところに○)	1. 要支援1	2. 要支援2	3. 要介護1	4. 要介護2
	5. 要介護3	6. 要介護4	7. 要介護5	

利用者個人因子 【該当する選択肢に○をつけてください。】				
問1. 家族構成について	1. 一人暮らし	2. 高齢者世帯	3. それ以外	
問2. 直近の健康状況について	1. とても健康	2. まあまあ健康	3. あまり健康でない	4. 健康でない
問3. お酒の飲酒状況について	1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	3. ほとんど飲まない (以前飲んでたがやめた)	4. もともと飲まない (わからない/不明)
問4. タバコの頻度について	1. ほぼ毎日吸う	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない (わからない/不明)
問5. この1年間で転んだことがありますか			1. はい 2. いいえ
問6. 明るく、楽しい気分が過ごした	1. いつもそうだった	3. そういう時は少なかった	5. 不明	2. そういう時が多かった 4. 全くなかった
問7. 落ち着いたりリラックスした気分が過ごした	1. いつもそうだった	3. そういう時は少なかった	5. 不明	2. そういう時が多かった 4. 全くなかった
問8. 意欲的で活動的に過ごした	1. いつもそうだった	3. そういう時は少なかった	5. 不明	2. そういう時が多かった 4. 全くなかった
問9. くつろぎと休め、気持ちよく過ごした	1. いつもそうだった	3. そういう時は少なかった	5. 不明	2. そういう時が多かった 4. 全くなかった
問10. 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	1. いつもそうだった	3. そういう時は少なかった	5. 不明	2. そういう時が多かった 4. 全くなかった
問11. 特定疾病について (該当する特定疾病に○をつけてください) 第1回調査の参加者は追加の疾病に○をつけてください。	1. がん【がん未病】	6. 初老期における認知症	10. 早老症	14. 閉塞性動脈硬化症
	2. 関節リウマチ	7. 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病【パーキンソン病関連疾患】	11. 多系統萎縮症	15. 慢性閉塞性肺疾患
	3. 筋萎縮性側索硬化症	8. 脊髄小脳変性症	12. 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症	16. 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症
	4. 後縦帯骨化症	9. 脊髄血管狭窄症	13. 脳血管疾患	
	5. 骨折を伴う骨粗鬆症			
問12. 疾病状況について (主な疾病3つまで○をつけてください) 第1回調査の参加者は追加の疾病に○をつけてください。	1. 高血圧	4. 糖尿病	7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	10. 外傷(転倒・骨折等)
	2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	5. 高脂血症(脂質異常)	8. 腎臓・前立腺の病気	11. 血液・免疫の病気
	3. 心臓病	6. 呼吸器の病気(肺炎や気管炎等)	9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	12. うつ病
				13. 認知症(アルツハイマー病等)
				14. パーキンソン病
				15. 目の病気
				16. 耳の病気

調査票Ⅱ【日常生活機能評価表】

整理番号: _____

調査担当者: _____

調査日: 平成27年 月 日

※評価項目毎にその日の一番悪い状態の評価を選んで選択肢に丸印を付けてください。

※合計点数には、選択肢の配点に従って、選んだ選択肢の点数の総和を記入してください。

デイサービス調査表

No	評価項目	選択肢(配点)		
		0点	1点	2点
1	安静の判断	なし	あり	
2	どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
3	寝返り	できる	つかまる物が必要	できない
4	起き上がり	できる	できない	
5	座位保持	できる	支えが必要	できない
6	移乗	介助なし	一部介助	全介助
7	移動方法	介助なし	介助が必要	
8	口腔清潔	介助なし	介助が必要	
9	食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
10	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
11	他者への意思の伝達	できる	できない時がある	できない
12	介助の指示が通じる	はい	いいえ	
13	自衛行動	なし	あり	
合計点数				点

H27年度 評価指標

	評価指標	考え方
1	外部研修への参加状況 (延べ人数/職員数(常勤換算人数))	外部研修の参加人数 ・キャリア段位講習 ・認知症総合アセスメント(DASC)研修 ・認知症介護指導者養成研修、認知症介護実践リーダー研修、 認知症介護実践者研修
2	岡山市主催の研修会の参加回数	岡山市が主催した介護職員スキルアップ研修に参加した回数
3	認知症高齢者の受け入れ人数 (実人数/利用定員)	「日常生活自立度Ⅲ以上の利用者」の人数
4	機能訓練指導員の常勤換算人数 (常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	機能訓練指導員の常勤換算人数 (勤務形態一覧表から算出)
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 (常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 (勤務形態一覧表から算出)

H27年度 評価指標検討項目 (H28年度の評価指標としてアンケート形式で現状把握)

	項目	考え方
1	医療機関との連携状況	デイサービスと医療機関がどの程度連携しているのか、どのような連携を行っているのかを把握するもの。
2	地域連携拠点として多職種連携会議への参加状況	デイサービスが岡山市が開催している在宅医療・介護連携意見交換会(別添③-6参照)にどの程度参加しているのか把握するもの。 ※今年度より、多職種連携会議が開催される場合には案内を市内全事業所FAXします。

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業 スケジュール

日付	指標による評価	アウトカム評価
平成27年6月25日(木)	第5回デイサービス改善インセンティブ事業説明会(市)	
平成27年7月17日(金)		日常生活機能評価実施研修 (別紙④参照) ※平成26年10月9日に岡山市が主催した日常生活機能評価研修 に受講した職員は今回改めて受講する必要はありません。
平成27年7月24日(金)	調査票×切(事業所→市)	
平成27年8月2週目		全利用者へ日常生活機能評価 調査実施(事業所)
平成27年8月21日(金)	介護職員スキルアップ研修会 テーマ:認知症(DASC研修) ※次回以降の研修については、詳細が決まり次第ご案内 します。	
平成28年1月	調査票(市→事業所)	
平成28年2月上旬	調査票×(事業所→市)	
平成28年2月2週目		全利用者へ日常生活機能評価 調査実施(事業所)
平成28年3月	第6回デイサービス改善インセンティブ事業説明会(市)	

※上記スケジュールについては変更する場合がございます。

平成27年6月25日

市内通所介護事業所 各位

岡山市医療政策推進課

総合特区デイサービス改善インセンティブ事業に係る調査票の提出について(依頼)

平素より岡山市の総合特区事業にご協力頂き、誠にありがとうございます。

デイサービス改善インセンティブの参加の要件である評価指標のデータについて、下記のとおり数値の調査を行います。今回の数値と平成28年1月に実施予定の調査の回答と併せて評価し、指標達成事業所を決定する予定です。

また、ご不明な点等ございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

ご多忙の時期とは思いますが、ご協力をお願いいたします。

○提出物

- ・③－２ 通所介護サービスの質の評価に関する調査票
- ・③－３ 通所介護サービス質の評価に関するアンケート
- ・平成26年12月分の「従業員の勤務の体制及び勤務形態」(③－４ 参照)

※独自様式で作成されている場合は、別紙③－５(調査票記載の留意点)を参考に職員体制や機能訓練指導員の体制区分等の勤務時間(第 5 週を除く)がわかるように加筆願います。

○回答方法: 紙1部(同封の返信用封筒にて郵送)

○提出期限: 平成27年7月24日(金)

※「従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表」については、「常勤換算人数」を算出・確認するために必要ですので、必ずご提出をお願いいたします。

※平成26年度デイサービス改善インセンティブ事業に参加された事業所についても、再度、記入及び添付資料の提出をお願いします。

【提出先・問い合わせ先】

岡山市 医療政策推進課

医療福祉戦略室 橋本 守安

TEL 086-803-1638

FAX 086-803-1776

Mail iryou-s@city.okayama.jp

通所介護サービスの質の評価に関する調査票 ③-2

今回の調査はデイサービス改善インセンティブ事業における指標達成事業所を選定するための評価指標の数値を把握するものです。

■記入にあたってのご注意

- ・（ ）の箇所には、具体的に言葉や数字をご記入下さい。
- ・特に指定の無い限り、選択肢の番号1つを選んで○印をお付け下さい。
- ・数字を記入する欄が0（ゼロ）の場合、空欄のままではなく、必ず「0」とご記入下さい。空欄のままの場合はエラー値として処理し評価の対象から除外します。
- ・記載された内容については確認をする場合もありますので、必ずコピーを取っておいてください。
- ・記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒を使い、平成27年7月24日（金）までにご返送下さい。

(I) 基本情報 (事業所データ)			
① 事業所名及び担当名		② 事業所番号	
③ 所在地		④ 施設定員数 (H26.12.1時点)	人
⑤ 担当者連絡先		⑥ 担当者メールアドレス	
⑦ 平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業への参加	1 参加	2 不参加	
⑧ (⑦で不参加の方のみ) 当該事業へ不参加の理由(任意記載)			

※⑦で「不参加」に回答された方は、以下のII「基本情報(職員体制)(平成26年12月分)」以降の内容は記載する必要はありません。

以下、H26年度デイサービス改善インセンティブ事業に参加された事業所についても、再度、記入及び添付資料の提出をお願いします。

(II) 基本情報(職員体制) (平成26年12月分)

平成26年12月分の従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表(別紙③-4)から転記等をしてください。
 また、別紙③-4の提出をお願いします。各事業所で独自様式で作成されている場合は、各独自様式の提出でかまいませんが、別紙③-5を参考に職員体制や機能訓練指導員の体制区分等の勤務時間(第5週を除く)がわかるように加筆願います。

	1ヶ月の合計勤務時間(第5週を除く)①	1ヶ月のうち、常勤の職員が勤務すべき時間数②	常勤換算(①/②)
生活相談員	()時間		()人
看護職員	()時間		()人
介護職員	()時間		()人
機能訓練指導員	()時間		()人
歯科衛生士	()時間		()人
管理栄養士	()時間		()人
事務員	()時間		()人
その他の職員	()時間		()人
総常勤換算人数			()人

※常勤換算人数とは、当該事業所の職員の1ヶ月の合計勤務時間を当該事業所において1ヶ月のうち常勤の職員が勤務すべき時間数で除することにより、当該事業所の職員の人数を常勤の職員の数に換算した人数をいう。

※常勤換算人数については、小数第2位を切り捨ての上、小数第1位までの記載をお願いします。

※管理者が専従の場合は「その他の職員」として計上してください

(Ⅲ) 評価指標の実施状況 (平成26年1月～12月)

1 評価指標(評価対象)

(1) キャリア段位制度

平成26年12月1日に在籍する職員のうち、キャリア段位(アセッサー)講習に参加したことのある人数、キャリア段位(アセッサー)講習に合格している人数、内部評価実施人数(キャリア段位における段位認定申請者数)を記載してください。

●①キャリア段位(アセッサー)講習への参加人数	()人
●②キャリア段位(アセッサー)講習の合格者数	()人
●③内部評価実施人数(キャリア段位における段位認定申請者数)	()人

(2) 認知症総合アセスメント(DASC)の研修

平成26年12月1日に在籍する職員のうち、認知症総合アセスメント(DASC)の研修に参加したことのある人数について記載してください。市が実施したスキルアップ研修についても対象になります。

●①認知症総合アセスメント(DASC)の研修への参加人数	()人
------------------------------	------

(3) 認知症介護実践者研修等

平成26年12月1日に在籍する職員のうち、認知症介護実践者研修等へ参加したことのある人数について記載してください。

●①認知症介護指導者養成研修への参加人数(フォローアップ研修を含む)	()人
●②認知症介護実践リーダー研修への参加人数	()人
●③認知症介護実践者研修への参加人数	()人

(4) 機能訓練指導員の体制

(Ⅱ)基本情報(職員体制)同様、平成26年12月の勤務形態一覧表に基づき、常勤換算人数等を記載してください。なお、常勤換算人数については、小数第2位を切り捨ての上、小数第1位までの記載をお願いします。

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表(別紙③-4)から転記等をしてください。

●機能訓練指導員の常勤換算人数(※1)			
	1月の合計勤務時間 (第5週を除く)①	1ヶ月のうち、常勤の 職員が勤務すべき時間数②	常勤換算(※2) (①/②)
理学療法士	()時間	()時間	()人
作業療法士	()時間		()人
言語聴覚士	()時間		()人
看護師及び准看護師	()時間		()人
柔道整復師	()時間		()人
あん摩マッサージ指 圧師	()時間		()人
総常勤換算人数			()人

※1 評価指標である当該項目は、機能訓練指導員の常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)で評価する。

※2 常勤換算人数とは、当該事業所の職員の1ヶ月の合計勤務時間を当該事業所において1ヶ月のうち常勤の職員が勤務すべき時間数で除することにより、当該事業所の職員の人数を常勤の職員の人数に換算した人数をいう。

(5) 介護職員の体制

(Ⅱ)基本情報(職員体制)同様、平成26年12月の勤務形態一覧表に基づき、常勤換算人数等を記載してください。なお、常勤換算人数については、小数第2位を切り捨ての上、小数第1位までの記載をお願いします。

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表(別紙③-4)から転記等をしてください。

●介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数(※1)			
	1月の合計勤務時間 (第5週を除く)①	1ヶ月のうち、常勤の 職員が勤務すべき時間数②	常勤換算(※2) (①/②)
介護福祉士	()時間	()時間	()人

※1 評価指標である当該項目は介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)で評価する

※2 常勤換算人数とは、当該事業所の職員の1ヶ月の合計勤務時間を当該事業所において1ヶ月のうち常勤の職員が勤務すべき時間数で除することにより、当該事業所の職員の人数を常勤の職員の人数に換算した人数をいう。

通所介護サービスの質の評価に関するアンケート

岡山市第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で、地域包括ケアシステム構築にあたり、安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくりに向けて在宅医療・介護の連携体制づくりの推進を明記しています。

ついては、今後の評価指標を検討するため、まずは現状を把握させていただくためにアンケート調査を実施するものです。

1. 医療機関との連携

- ① デイサービス事業所にとって、利用者の情報を医療機関と連携することは必要だと思いますか。
1…はい 2…いいえ
- ② 主に、どのような場合に、医療機関との連携を取られますか。
1…入院 2…退院 3…容態が急変 4…その他デイ利用中に気になった場合等
- ③ 利用者の情報について医療機関との連携を取るの頻度を教えてください。
1…ほぼ毎日 2…週に1回程度 3…月に1回程度
- ④ 医療機関と連絡を取る場合の主な相手は誰ですか。
1…医師 2…看護師 3…理学・作業療法士など 4…その他()
- ⑤ 医療機関と連携をとる場合、ケアマネージャーを介して連絡を取っていますか。
1…はい 2…いいえ
- ⑥ デイサービス利用者が、入退院する頻度を教えてください。
1…5人以上/月 2…1～5人程度/月 3…ほぼ無い
- ⑦ 退院時などに医療機関から提供してほしい情報は、どのようなものですか。
1…病気療養の注意 2…薬の効果・注意 3…その他()
- ⑧ 協力医療機関は定めていますか。
1…はい 2…いいえ
- ⑨ 何か意見があれば、自由に記述してください。

2. 地域連携拠点として多職種連携会議への参加状況

- ① 多職種連携会議(在宅医療・介護連携意見交換会)へ参加したことはありますか。
※多職種連携会議(在宅医療・介護連携意見交換会)については、別紙③－6の資料をご参照ください
1…はい (H24～H26年までの間 約延べ _____ 人程度)
2…いいえ
- ② 多職種連携会議に参加するなどして、ネットワークを作ることは重要だと思いますか。
1…はい 2…いいえ
- ③ 今後、多職種連携会議の案内があれば、参加してみたいですか。
1…はい 2…いいえ
- ④ 何か意見があれば、自由に記述してください。

※ 今年度より、多職種連携会議の案内を市内全事業所へFAX致しますので、必要に応じてご活用ください。

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表 様式(平成 年 月分) サービス種類 (通所介護・介護予防通所介護)

No. _____

③-4

変更月の勤務シフトの予定を記載します。

1 単位目 定員: 20 名 サービス提供日: 月・火・水・木・金・土・日 サービス提供時間(A) 9:00 ~ 16:30 (7 時間 30 分)

個別機能訓練加算(Ⅰ): あり・なし 個別機能訓練加算(Ⅱ): あり・なし 運動器機能向上加算: あり・なし 職業所名 (おかやまミコロ・ハコロ通所介護事業所)

栄養改善加算: あり・なし 口腔機能向上加算: あり・なし サービス提供体制強化加算: () (Ⅰ) (Ⅱ) (Ⅲ) ・なし

Table with columns: 職種, 資格, 氏名, 勤務形態, 第1週, 第2週, 第3週, 第4週, 第5週, 1月の合計勤務時間, 業務の状況. Includes rows for management, care workers, and support staff.

Summary table for staff categories: 生活相談員, 看護職員, 介護職員, etc. with 1-month total working hours.

注1 基準上必要な職種(管理者、生活相談員、看護職員、介護職員、機能訓練指導員)の他、加算に係る職種(管理栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士)やその他の職種(調理員や送迎員等)の全てについて1ヶ月分の勤務状況を記入すること。

注2 資格を要する職種や加算対象となる職種については、資格証等を確認の上「資格」欄に資格を記入すること。(記載例)3科目主事、講習会修了者、養成校卒業業者、社会福祉士、看護師、准看護師、管理栄養士、介護福祉士

注3 従業者の職種ごとに下記の勤務形態の区分の順にまとめて記載してください。※「勤務形態」の区分 A: 常勤専従 B: 常勤で専従 C: 常勤以外で専従 D: 常勤以外で業務

注4 複数の職種を兼務する従業者の場合(例:生活相談員と介護職員、看護職員と機能訓練指導員)には、それぞれの職種として勤務する時間を区分し、記入してください。

注5 生活相談員、看護職員、介護職員等の欄が足りないときは、欄を増やして(余分な行を削除してその分の行を増やす、2ページにする等)記入し、配達の必要のない職種等については、削除するか斜線を引く等適宜修正してください。

注6 別紙(確保すべき勤務時間数算出表)を添付してください。(介護職員等)について、利用定員に並びにサービス提供時間帯を通じて配置している場合は、別紙の添付を省略できます。

備考 > 常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間(就業規則等で定められた1週あたりの勤務時間) 40 時間/週 調理は〇株式会社へ委託

※日々の勤務時間を符号化し、その番号を勤務形態一覽表に記入してください。 「勤務時間ごとの区分」: ① 8:30 ~ 17:30 (8 時間) ② 8:00 ~ 17:00 (8 時間) ③ 9:00 ~ 18:00 (8 時間) ④ 8:30 ~ 13:30, 15:30 ~ 17:30 (6 時間) ⑤ 13:30 ~ 15:30 (2 時間) ⑥ 8:00 ~ 10:00, 15:30 ~ 17:30 (4 時間)

通所介護サービスの質の評価に関する調査票の記載の留意点

③-5

- 常勤換算人数は5つの評価指標算出のため、必要となる基礎数値ですので、皆様下記補足を参考に記載をお願いします。
- 下段は、岡山市事業者指導課のHPに掲載している「従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表」の記載例をもとに、一部表及び記載例を修正し、当該調査票の常勤換算人数に記載方法を紹介しております。

(II) 基本情報(職員体制) (平成26年12月分)

	1月の合計勤務時間 (第5週を除く)	1ヶ月のうち、常勤 の職員が勤務すべき 時間数	常勤換算
生活相談員	(224)時間		(1.4)人
看護職員	()時間		()人
介護職員	()時間		()人
機能訓練指導員	()時間	(160)時間	()人
歯科衛生士	()時間		()人
管理栄養士	()時間		()人
事務員	()時間		()人
その他の職員	()時間		()人
総常勤換算人数			()人

(4) 機能訓練指導員の体制
(II) 基本情報(職員体制)同様、平成26年12月の勤務形態一覧表に基づき、常勤換算人数等を記載してください。なお、常勤換算人数については、小数第2位を切り捨ての上、小数第1位までの記載をお願いします。

●機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数(※1)

	1月の合計勤務時間 (第5週を除く)	1ヶ月のうち、常勤 の職員が勤務すべき 時間数	常勤換算(※2)
理学療法士	(160)時間		(1)人
作業療法士	()時間		()人
言語聴覚士	()時間	(160)時間	()人
看護師及び准看護師	()時間		()人
柔道整復師	()時間		()人
あん摩マッサージ指圧師	()時間		()人
総常勤換算人数			()人

各職種の常勤換算の合計値

(5) 介護職員の体制
(II) 基本情報(職員体制)同様、平成26年12月の勤務形態一覧表に基づき、常勤換算人数等を記載してください。なお、常勤換算人数については、小数第2位を切り捨ての上、小数第1位までの記載をお願いします。

●介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数(※1)

	1月の合計勤務時間 (第5週を除く)	1ヶ月のうち、常勤 の職員が勤務すべき 時間数	常勤換算(※2)
介護福祉士	()時間	(160)時間	()人

※1 評価指標である当該項目は介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)で評価する

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間×4

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表(平成24年7月分)

サービス種類 (通所介護・介護予防通所介護)

変更月の勤務シフトの予定を記載します。 事業所名 (おかやまこころハコ通所介護事業所)

1 単位 定員: 20名 サービス提供日: 月・火・水・木・金・土・日 サービス提供時間(A): 9:00 ~ 18:30 (7 時間 30分)

個別機能訓練加算(I): あり・なし 個別機能訓練加算(II): あり・なし 運動器機能向上加算: あり・なし
 栄養改善加算: あり・なし 口腔機能向上加算: あり・なし サービス提供体制強化加算: (I)・(II)・(III)・なし

職種	資格	勤務形態	氏名	1ヶ月の勤務時間(第5週を除く)																															1月の合計勤務時間	業務の状況
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
管理者	社会福祉士	B	〇	〇	〇	〇	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	176	訪問介護管理	
生活相談員	社会福祉士	A	〇	〇	〇	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	168	生活相談員		
生活相談員	3科目主事	B	業塚 太郎	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	80	介護職員		
看護職員	看護師	B	見塚 花子	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	132	機能訓練指導員		
看護職員	准看護師	D	岡山 桃子	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	78	機能訓練指導員		
機能訓練指導員(加算I)	理学療法士	A	〇	〇	〇	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	176	理学療法士			
機能訓練指導員(加算II)	看護師	B	見塚 花子	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	44	看護職員		
機能訓練指導員(加算II)	准看護師	D	岡山 桃子	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	26	看護職員		
介護職員	3科目主事	B	業塚 太郎	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	104	生活相談員		
介護職員	介護福祉士	A	〇	〇	〇	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	176	介護職員		
介護職員	介護福祉士	A	〇	〇	〇	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	168	介護職員		
介護職員	介護福祉士	A	〇	〇	〇	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	176	介護職員		
介護職員	介護福祉士	C	△	△	△	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	149.5	介護職員		
送迎員	C	〇	〇	〇	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	68	送迎員		
送迎員	C	〇	〇	〇	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	56	送迎員		
当日の利用(予定)者数	別紙(C)		12	17	16	15	19	20	14	12	17	16	15	19	20	14	12	17	16	15	19	20	14	12	17	16	15	19	20	14	12	17	16			
平均提供時間数	別紙(D)		6.7	7.2	7.3	7.1	7.1	7.2	7.3	6.7	7.2	7.3	7.1	7.1	7.2	7.3	6.7	7.2	7.3	7.1	7.1	7.2	7.3	6.7	7.2	7.3	7.1	7.1	7.2	7.3	6.7	7.2	7.3			
介護職員等の確保すべき勤務延長時間	別紙(F)		7.5	10.1	8.8	7.5	10.1	14.4	7.5	10.1	8.8	7.5	10.1	14.4	7.5	10.1	8.8	7.5	10.1	14.4	7.5	10.1	8.8	7.5	10.1	8.8	7.5	10.1	14.4	7.5	10.1	8.8	7.5			

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間(就業規則等で定められた1週あたりの勤務時間) 40 時間/週

※日々の勤務時間を符号化し、その番号を勤務形態一覧表に記入してください。

「勤務時間ごとの区分」:
 ① 8:30 ~ 17:30 (8 時間) ② 8:00 ~ 17:00 (8 時間) ③ 9:00 ~ 18:00 (8 時間)
 ④ 8:30 ~ 13:30、15:30 ~ 17:30 (6 時間) ⑤ 13:30 ~ 15:30 (2 時間) ⑥ 8:00 ~ 10:00、15:30 ~ 17:30 (4 時間)

常勤、非常勤を問わず休憩、残業時間を除く時間の総合計を算出

「1ヶ月の合計勤務時間」から第5週の時間はカウントしない

多職種参加による在宅医療・介護連携意見交換会について①

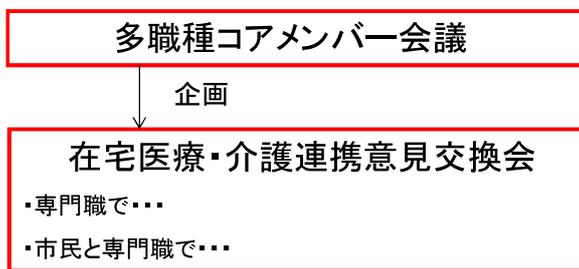
岡山市では、各福祉区において多職種参加による在宅医療・介護連携意見交換会を開催しています。

Q. どういう目的で開催していますか？

A. 医療・介護関係の多職種が集まり、現場レベルでの情報交換や顔の見える関係づくりを目的に開催しています。

在宅医療・介護連携意見交換会(顔の見えるネットワーク構築会議)の企画・運営は、各福祉区で立ち上げられた「多職種コアメンバー会議(地域ネットワークアクションプラン策定会議)」で行っています。

図にしてみると



意見交換会の様子



多職種参加による在宅医療・介護連携意見交換会について②

例えば、中央エリアでは...

日時：平成27年1月
 場所：岡山大学病院 マスカットキューブ
 テーマ：『在宅医療・介護における多職種の役割を考える』
 ～北区中央地域の特色ある事例を通して～

参加者数(職能別)

医師	1
歯科医師	1
薬剤師	21
看護師	10
保健師	6
管理栄養士	7
介護支援専門員	18
社会福祉士	3
医療ソーシャルワーカー	5
介護福祉士 等	6
事務 他	6
計	84



施設別参加数

診療所	5
病院	2
行政	4
歯科診療所	1
開業薬局	17
訪看護	3
居宅介護事業所	8
通所介護	1
包括	1
その他	1
計	43

参加者の感想...

- ・ 多職種の意見を聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・ 各職種の方との情報共有が大切であると思いました。
- ・ 各職種の方が、どんなことをしているのかよく分かった。
- ・ 顔の見える関係になって、日常業務においても相談がしやすくなった。

他のエリアでは、こんなことをしています！

御津医師会が中心となり、多機関が協力して実施します。

地域の養護老人ホームを会場に借りて、口腔ケア、多職種連携等について、ワールドカフェを実施しました。

在宅での看取りをテーマに生と死に対する考え方について、理解を深めています。

摂食・嚥下、薬の管理、胃ろう等について、ミニ講演+グループワークを実施しました。

市民と専門職との意見交換会を、小地域(富山中学校区)でモデル実施しました。

平成27年6月25日

市内通所介護事業所 各位

岡山市医療政策推進課

デイサービス改善インセンティブ事業
日常生活機能評価研修のご案内

平素より当市の総合特区事業にご協力していただき誠にありがとうございます。

今年度事業の参加要件となっている日常生活機能評価調査における研修を下記のとおり開催いたしますので、皆様ご出席をお願いいたします。

○日時 : 平成27年7月17日(金) 18:00~20:00(予定)
(受付17:30~)

○場所 : 岡山ふれあいセンター 1階大ホール
(岡山市中区桑野715-2)

○講師 : 兵庫県立大学 教授 筒井孝子氏
(前厚生労働省国立保健医療科学院 統括研究官)
研修内容:「日常生活機能評価調査方法について」

○出席申込み方法

申込みについては、別添の申込みフォームに必要事項を記入の上、7月10日(金)までに下記申込み先にファックスあるいは、メールにて提出をお願い致します。

【問い合わせ先・申込み先】

岡山市 医療政策推進課 医療福祉戦略室 守安・橋本

TEL 086-803-1638 FAX 086-803-1776

MAIL:iryous@city.okayama.jp

F A X : 0 8 6 - 8 0 3 - 1 7 7 6

岡山市 医療政策推進課 守安・橋本行き

メール : iryou-s@city.okayama.jp

デイサービス改善インセンティブ事業

日常生活機能評価研修のご案内

7月17日（金） 出席申込書

事業所名	
氏 名	(職名等) (名 前)
ご連絡先	[電話] [メール]

※ 事業所ごとに申込みをお願い致します。

※ 事業所ごと2名までの参加としますが、申し込みが多数来た場合、調整させていただく場合があります。

申込み締切 : 7月10日（金）

資料2

日常生活機能評価研修 資料

デイサービス改善インセンティブ事業研修会

次第

日時：平成27年8月21日（金）13:00～17:00

場所：メルパルク岡山

<第1部> 日常生活機能評価研修

13:00 ～ 13:10 開会あいさつ

13:10 ～ 14:20 講演

筒井孝子氏（兵庫県立大学大学院 教授）

14:20 ～ 14:30 調査票の説明

14:30 ～ 14:40 質疑応答



（休憩）

<第2部> 第1回介護職員スキルアップ研修

15:00 ～ 15:05 開会あいさつ

15:05 ～ 16:10 講演

栗田 主一氏（東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長）

16:10 ～ 16:45 デイサービスDASCモデル事業の説明

16:45 ～ 16:55 質疑応答

16:55 終了

【配布資料】

資料1 平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業 全体スキーム

資料2 筒井孝子先生講演資料

資料3 日常生活機能評価の実施についての依頼文

資料4 日常生活機能評価調査票

資料5 デイサービス調査表評価の手引き

資料6 栗田主一先生講演資料

資料7 デイサービス DASC モデル事業について

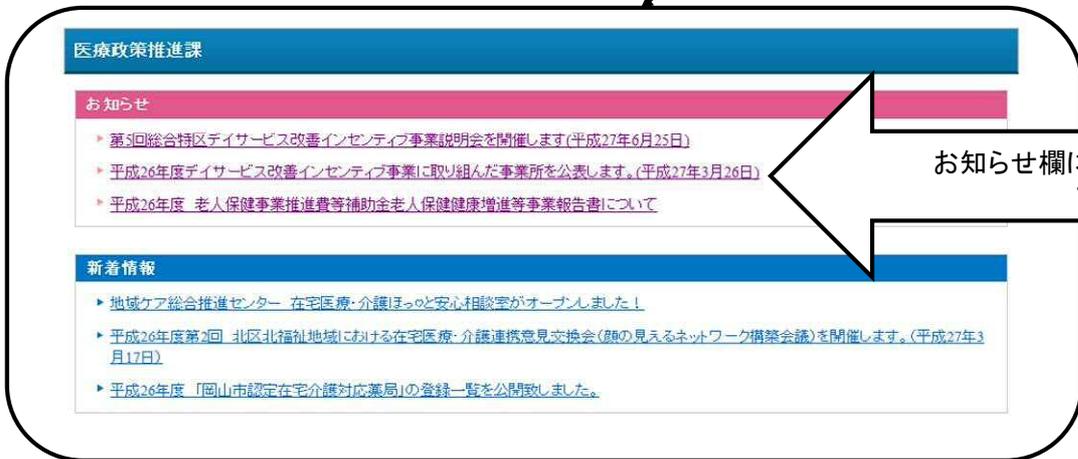
返信用封筒

※上記資料は医療政策推進課HPでも公表しています（裏面参照）

①岡山市役所HP トップページを下にスクロール



②上記「在宅医療の推進」をクリック



お知らせ欄に近日中にアップ予定

岡山市インセンティブ事業 日常生活機能評価研修会

兵庫県立大学大学院
筒井孝子

お話しする内容

- 0. 本事業で用いる評価の考え方と留意点
- 1. 社会保障をめぐる状況
- 2. 介護サービスにおける質の評価の考え方
- 3. 岡山市のインセンティブ事業について
- 4. 看護必要度(日常生活機能評価)と評価の考え方

参考資料: 日常生活機能評価の評価項目の定義

1

2

0.本事業で用いる 評価の考え方と留意点

看護必要度を評価の4つの留意点

- 1.看護必要度は、
看護サービスの提
供量を評価するも
のである。
- 2.看護必要度の
チェック項目は業務
量調査の結果から
選定されている。
- 3.看護必要度の
チェック項目には、
厳密な定義と判断
基準がある。
- 4.看護必要度の評
価には看護にかか
る記録が残されて
いることが必要

今回は、試行的な事業として実施されるため、ここまでは求められないが、データ分析上明らかな不備がある場合、事務局から照会をかけることがある。日々の実践上、記録による担保は重要。キャリア段位導入にもつながる。

3

4

Bの9項目を評価するための3つの基本ルール

●ルール1 自分でやっている 介助の有無

- 自分でやっている場合 ⇒できる
- 介助がある ⇒できない、一部介助など

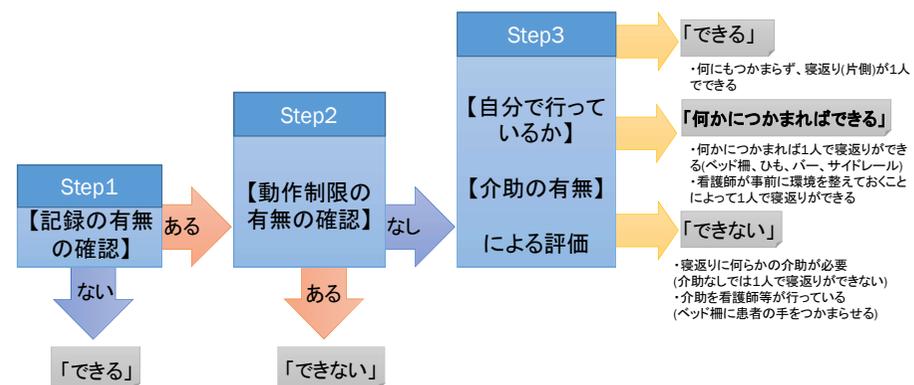
●ルール2 動作制限の有無

- 動作制限がある ⇒できない
- 自分でやっている ⇒できる

●ルール3 記録の有無

- 記録がない ⇒できる

B項目（寝返り）の評価の構造



5

6

看護必要度チェック項目の評価

ルール徹底の重要性

- ◆ 「手引き」を正確に読み理解する。
- ◆ 事実をありのままに見て判断する。
- ◆ 思い込みに注意する。
- ◆ 記録による客観性を確保する。

参考資料：日常生活機能評価の評価項目の定義

7

8

チェックに際しての基本的な考え方 B項目共通事項

1. 義手・義足・コルセット等の装具を使用している場合には、装具を装着した後の状態に基づいて評価を行う。
2. 調査対象期間内で、指示変更があった場合や、急変等で患者の状態が変化した場合には、自立度の低いほうにチェックする。
3. 状態項目では、医師の指示によって、その動作が制限されている場合には、「できない」または「全介助」とする。この場合、指示に係る記録があること。
4. 動作が制限されていない場合には、動作を促し、観察した結果を評価する。動作の確認をしなかった場合は、通常、介助が必要な状態であっても「できる」または「介助なし」とする。
5. ただし、動作が禁止されているにもかかわらず、患者が無断で当該動作を行ってしまった場合には「できる」とする。

9

床上安静の指示

- ベッドから離れることが許可されていないこと。
- 部分的にベッドから離れることが許可されている場合は含めない。
- 検査、治療等で出棟する場合があっても、「あり」とする
- 医師の指示書やクリニカルパス等に指示が記載されていること。

1. なし
2. あり



10

どちらかの手を胸元まで 持ち上げられる

- 左右を問わずいずれか一方の手を患者自身で胸元まで持っていくことができるかどうかを評価する。
- 「胸元」とは首の下くらいまで、「手」とは手関節から先。
- 座位、臥位等の体位は問わない。
- 関節拘縮により、もともと胸元に手がある場合や、不随意運動等により手が偶然胸元まで上がったことが観察された場合は、「できない」と判断する。
- 「できない」とは調査時間を通してできない場合を言う

1. できる
2. できない

状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック



11

寝返り

- 患者自身が1人で何かにつかまって寝返りができる場合は「何かにつかまればできる」。寝返りの際に看護師が患者の手をつかまらせる場合は「できない」と評価する。

1. できる
何にもつかまらず、寝返りが1人でできる
2. 何かにつかまればできる
ベッド柵、ひも、バー、サイドレール等につかまれば1人で寝返りができる
3. できない
介助なしでは寝返りができない

状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック



12

起き上がり

- 寝た状態から上半身を起こす動作をいう。
- 義肢やコルセットなどの装具を使用する場合は装具を装着してからの状態で判断する。

1. できる
1人で起き上がることができる。ベッド柵、ひも、サイドレール等につかまれば起き上がれる場合、電動ベッドを1人で操作して起き上がる場合も含む
2. できない
介助なしでは1人で起き上がることができない場合途中までできても、最後に介助が必要な場合も含む



13

座位保持

- 上半身を起こして座位の状態を保持すること。
- 支えとは椅子、車椅子、ベッド等の背もたれ、座位保持装置等をいう。
- **ベッド等の背もたれによる「支え」は、背上げ角度がおよそ60度以上を目安とする。**

1. できる
支え、つかまりなしで座位が保持できる
2. 支えがあればできる
支え・つかまりがあれば座位が保持できる
3. できない
支え、ベルト等で固定しても座位が保持できない

状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック



14

移 乗

- ベッドから車椅子、ストレッチャーなどに乗り移れるか否かを評価する。
- **立つ、数歩歩く等、患者自身の力が出せており、看護師等が介助を行っている場合は「見守り・一部介助」となる。**

1. できる
介助なしで移乗できる場合。這って動いても自分でできれば「できる」
2. 見守り・一部介助が必要
事故防止の為に見守る、手を添える、倒れないように体幹を支えること
3. できない
自分で移乗が全くできないため、抱える、運ぶ等の介助が行われた場合イーゼスライダー等の移乗用具を使用する場合

状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック



15

移動方法

- ある場所から別の場所へ移る場合の方法。
- 義肢やコルセットなどの装具を使用する場合は装具を装着してからの状態で判断する。

1. 介助を要しない移動
自力歩行、杖、歩行器、手すり、点滴スタンド、シルバー車、車椅子等につかまって歩行、車椅子で自力移動
2. 介助を要する移動(搬送含む)
車椅子(介助)、搬送車で介助の場合

状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック



16

口腔清潔

- 口腔内を清潔にするための一連の行為を評価。
- 歯ブラシやうがい用の水を用意する、歯磨き粉を歯ブラシにつける等の準備、歯磨き中の見守りや指示、磨き残しの確認を含む
- 舌への薬剤塗布、口腔内吸引のみの場合は含まない。

状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック

1. できる
口腔清潔に関する一連の行為全てが自分でできる場合
2. できない
口腔清潔に関する一連の行為のうち部分的、全面的に介助が行われた場合



17

食事摂取

- **朝食、昼食、夕食、補食等の食事単位で評価を行う。**
- 患者が食事を摂るための介助、患者に応じた食事環境を整える介助を評価する。
- 含まれないもの：厨房での調理、配膳、後片付け、食べこぼしの清掃等、車椅子に座る、エプロンをはける等の準備

1. 介助なし
自分で食事が摂取できる場合
「食止め」「絶食」の場合
2. 一部介助
食卓で皮をむく、ほぐす等の介助や食事中に摂取のために一部介助が行われた場合
見守りや指示が必要な場合
3. 全介助
自分で食べることができず、全面的に介助された場合
食事開始から終了まですべてに介助を要した場合

状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック



18

食事摂取

- 食事の種類を問わない。一般食、経口訓練食、水分補給食、経管栄養の全てを指し、摂取量は問わない。
- 経管栄養の場合も、介助の程度によって同様に判断する。
- 家族の食事介助は含まない。
- 看護師等の行う、食事の温め、果物の皮むき、卵の皮むき等は、「一部介助」とする。
- **セッティングしても患者が食事摂取を拒否した場合は「介助なし」とする。**



19

衣服の着脱

- 衣服の着脱を看護師等が介助したかどうかを見る。
- **衣服とは患者が日常生活上必要とし着用しているものをいう。**

1. 介助なし
介助なしで自分で衣服を着脱できる場合
自助具等を使って行った場合も含む
当日、当該行為が発生しなかった場合
2. 一部介助
衣服の着脱に何らかの介助が行われている場合
途中までは自分でいき、最後にズボン・パンツを上げる等介助が発生している場合
看護師等が手を出して介助しないが、転倒防止のため、見守りや指示が行われている場合
3. 全介助
衣服の着脱行為のすべてに介助を要した場合

状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック



20

他者への意思の伝達

- 患者が他者へ意思を伝達すること。
- 背景疾患や伝達できる内容は問わない。

状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック

1. できる
常時、誰とも確実に意思の伝達が図れる
筆談、ジェスチャー等で意思伝達が図れる
2. できる時とできない時がある
内容や状況等によって、できる時とできない時がある場合。
家族には通じるが看護師等には通じない等
3. できない
どのような手段を用いても意思伝達ができない
重度の認知症や意識障害によって意思伝達ができない
意思の伝達ができるか否かを判断できない場合



21

診療・療養上の指示が通じる

- 指示内容や背景疾患を問わず、診療・療養上の指示に対して、理解でき実行できるかどうかを評価。
- 精神科領域や意識障害等の有無は問わない。

1. はい
指示に対して、適切な行動が常にとれている場合
2. いいえ
指示通りでない行動が調査時間内に1回でも見られた場合



状態が変化した場合は自立度の低いほうをチェック

22

危険行動

過去1週間以内に現れた危険行動を記録で判断

- ① チューブ類・点滴ルート等の自己抜去、転倒・転落、自傷行為の発生。
 - ② そのまま放置すれば、危険行動に至ると判断する行動を看護師等が確認した場合。
- ・適時のアセスメントと適切な対応、日々の評価が行われており、そのうえで、なお発生が予測できなかった危険行動を評価。
対策をもたない状況下での発生は評価しない。
 ・他害や迷惑行為は含まない。

1. ない
過去1週間以内に危険行動がなかった場合
2. ある
過去1週間以内に危険行動があった場合

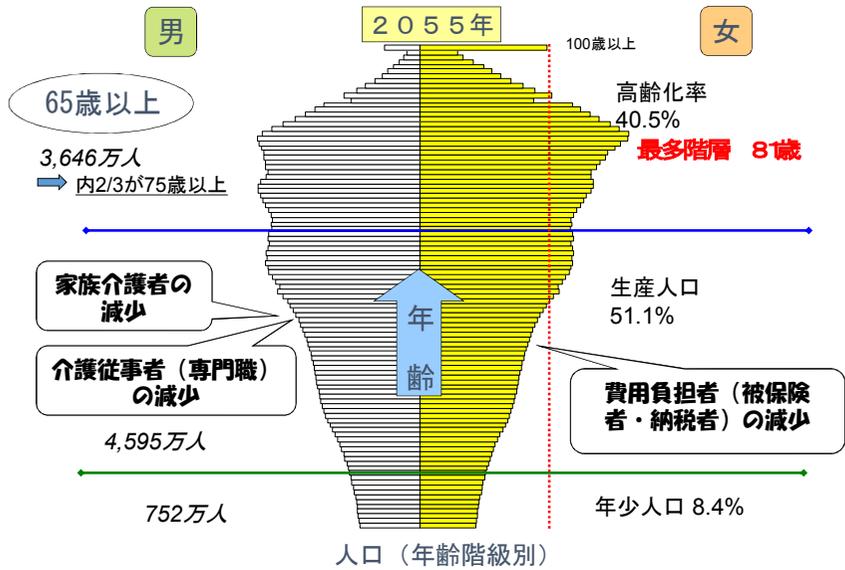


23

1. 社会保障をめぐる状況

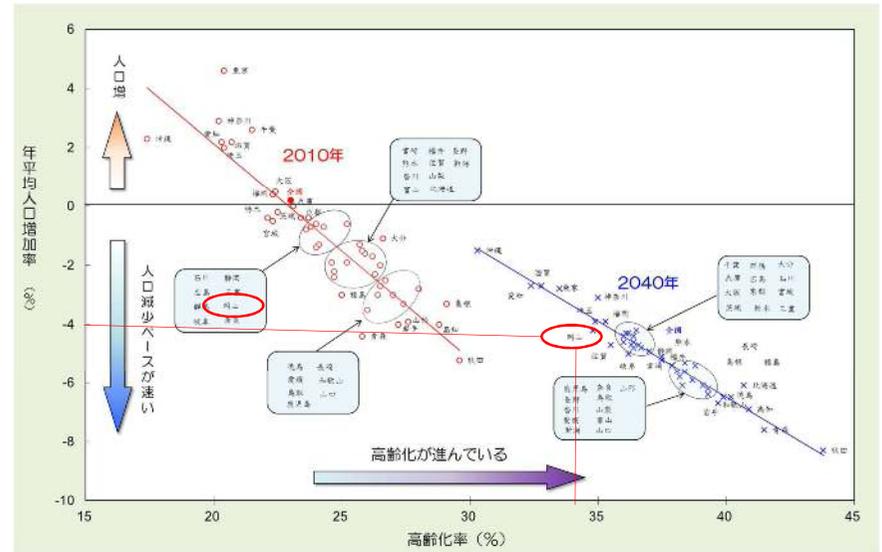
24

2055年の人口ピラミッド



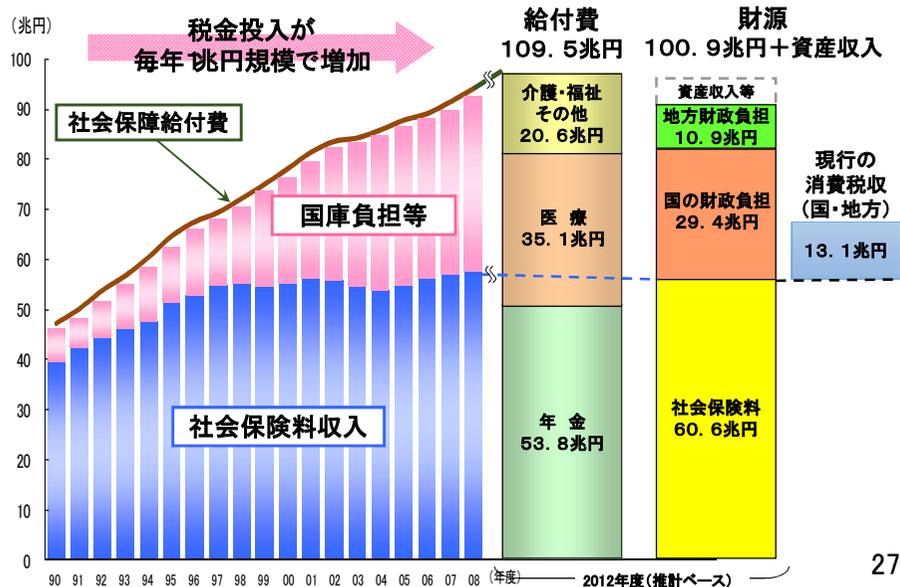
※ 年齢階級は、0歳～100歳以上の1歳きざみとなっている
 (出典: 総務省統計局『国勢調査報告』、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」)

都道府県別 高齢化率(2010年)×人口減少率(2010～40年)

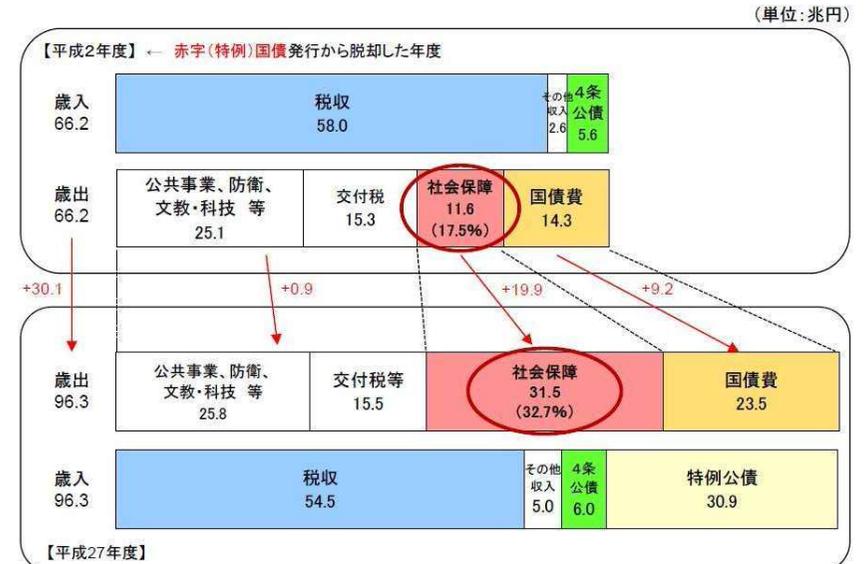


(原出典) 総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」
 (出典) 国立社会保障・人口問題研究所金子副所長のスライドを本人の承諾を得て借用。一部筆書き加工。

社会保障給付費と財政の関係

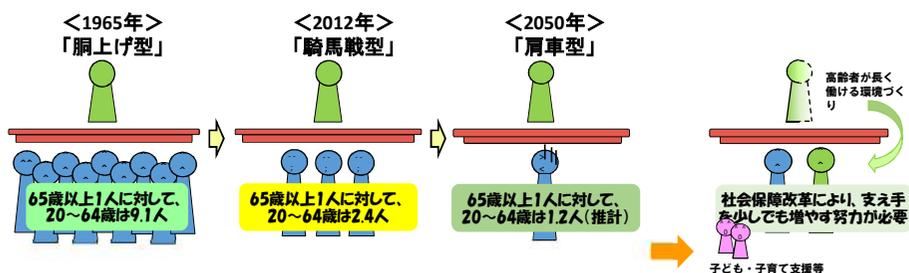


社会保障関係費の増加と税収の減少



「肩車型」社会へ

今後、急速に高齢化が進み、やがて、「1人の若者が1人の高齢者を支える」という厳しい社会が訪れます。



(出所)総務省「国勢調査」、社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」、(出生中位・死亡中位)、厚生労働省「人口動態統計」

29

我が国の財政健全化目標

2014～
2015年度

国の一般会計の基礎的財政収支について、少なくとも各年度4兆円程度改善(「中期財政計画」H25.8.8閣議了解)

2015年度
(平成27年度)

国・地方を合わせた基礎的財政収支の赤字対GDP比を2010年度(▲6.6%)に比べて半減(▲3.3%)

2020年度
(平成32年度)

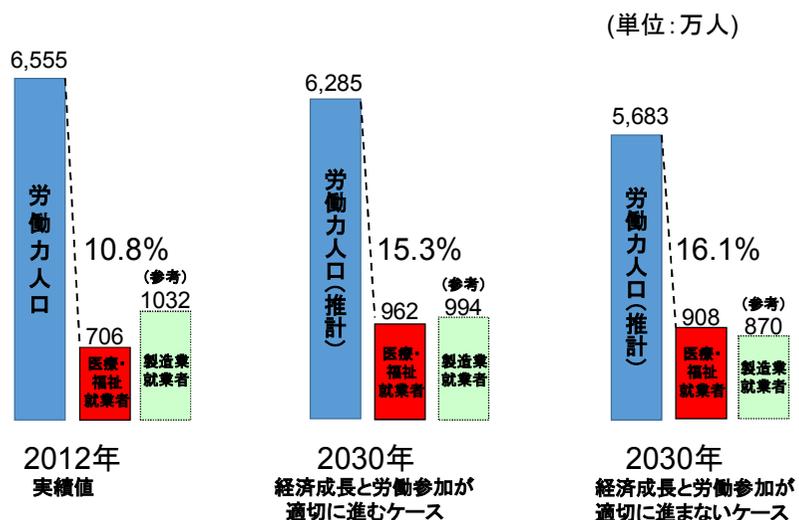
国・地方を合わせた基礎的財政収支を黒字化

以降～

債務残高対GDPの安定的な引下げ

30

図:労働力人口に占める医療・福祉就業者の割合



(出典)「雇用政策研究会報告書」。2012年実績値は総務省「労働力調査」、2030年は(独)労働政策研究・研修機構推計。

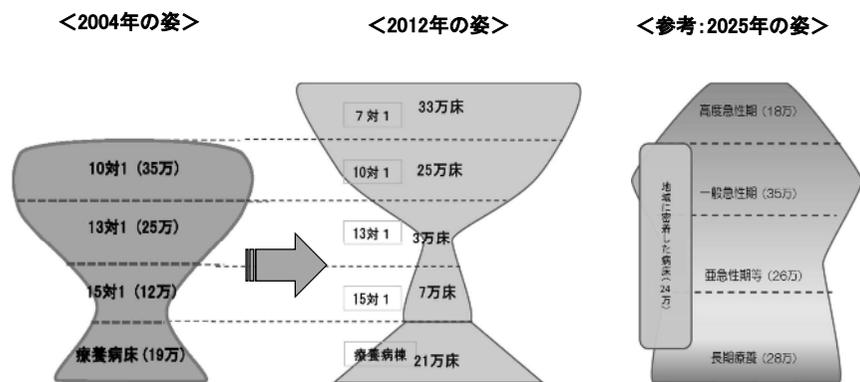
31

医療・介護政策の目標と方向性

- 医療・介護政策の目標(評価基準)は次の3つ。
 - ①質(quality)の向上、②アクセス(access)の確保、③できるだけ低廉なコスト(cost)。
- 医療・介護政策の方向性
 - (1)質(quality)
 - 医療の高度化に対応できる急性期医療の機能強化が求められる。
 - ⇒医療機能の分化と連携は必須の課題。
 - 「治す医療」だけでなく「生活を支える医療」の重要性が増す。
 - ⇒医療政策の「視界」が保健・介護・福祉・就労・住宅・まちづくりに拡大。
 - (2)アクセス(access)
 - フリーアクセスの意味の再考が必要。⇒大病院でも紹介状なしに自由に受診できるということではなく、プライマリケアと高次医療機能が結合・連携したシステムにアクセスできると捉え直す視点が必要。
 - 医療資源の分布・人口・地勢など地域特性を踏まえた政策展開が重要。
 - (3)コスト(cost)
 - 負担の先送りには傷を深める。安定財源として消費税率の上げは必要。
 - 医療機能の分化と連携の強化、チーム医療の推進などを通じ、医療提供体制の効率化を進めることは重要な政策課題。

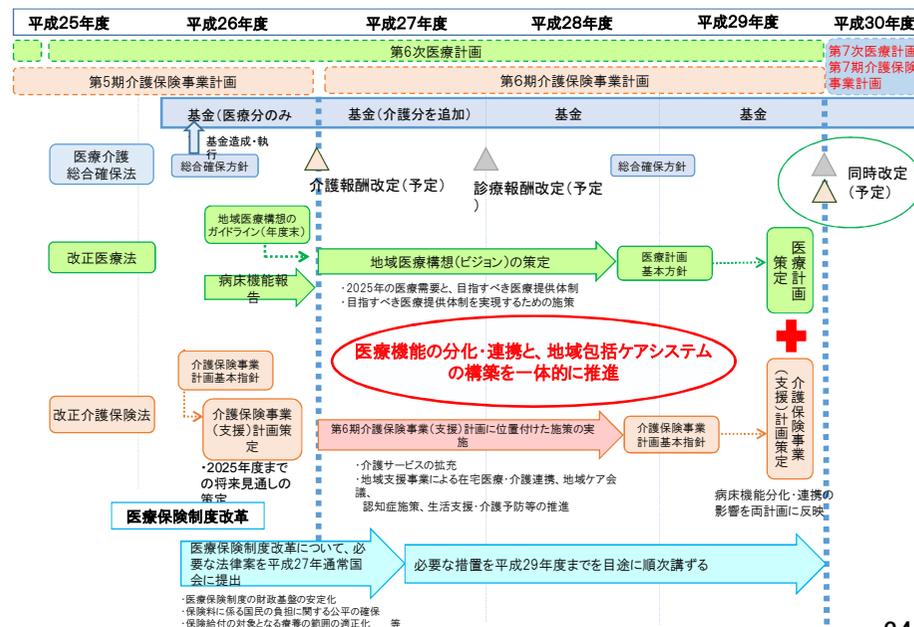
32

看護体制(入院基本料)別の病床数の推移[概念図]



(注) イメージを捉えるために簡略化している。また、「2025年の姿」は参考である。たとえば、2012年の7対1病床の機能と2025年の高度急性期が直接的な対応関係にあるわけではない。
 (出典)「財政制度等審議会建議書」(2013年11月29日)、「社会保障審議会 医療保険部会・医療部会資料」(2013年9月6日)等を基に筆者作成。

医療と介護の一体改革に係る今後のスケジュール



71

良質な介護サービスとは？



2. 介護サービスにおける質の評価の考え方

質が良いことは「誰が」「どのように」評価するのか

介護サービスにおける質の評価の難しさ

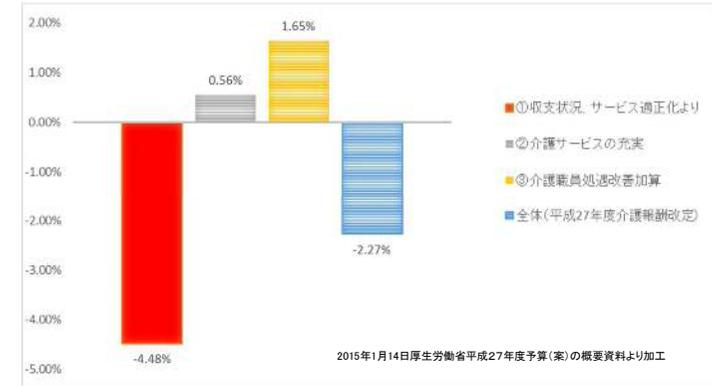
1. サービスは一過性であり、再現性がないため、質の評価の正しさが評価できない。
2. サービスを受ける人によって、同じサービスでも評価の度合いが異なる。
3. 同じ人が同じサービスを受けても、その人の置かれているTPOによって評価が異なる。
4. 付帯サービスによって、評価対象となっているサービス本体の評価が変わる。

37

平成27年度 介護報酬改定について

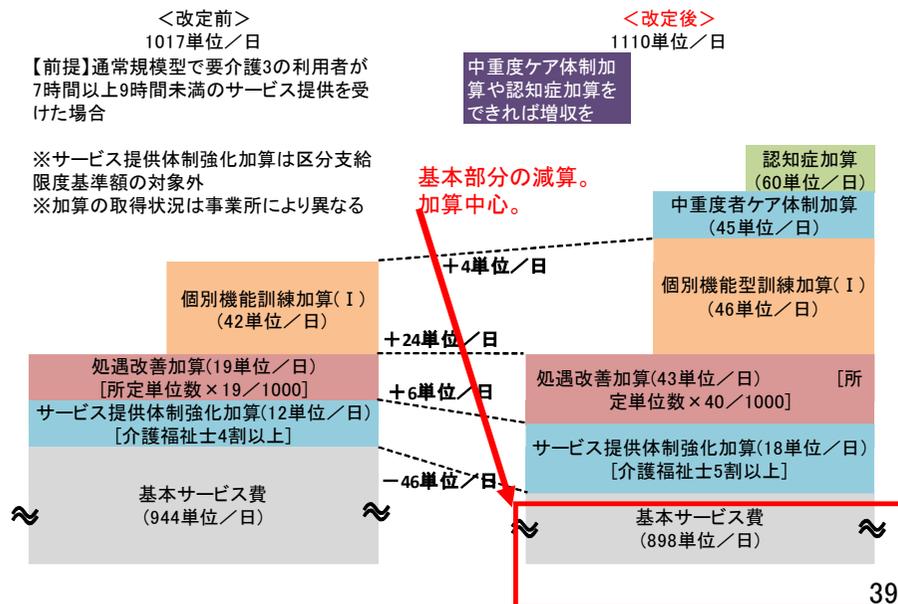
- 介護報酬改定率は、全体で▲2.27%
- ①介護事業者の経営状況、サービスの効果的かつ効率的、サービスの適正化により▲4.48%
 - ②中重度の要介護者や認知症高齢者などの介護サービスの充実で+0.56%
 - ③介護職員の処遇改善など、1人あたり月額1万2千円相当の処遇改善として+1.65%

介護報酬改定率の内訳

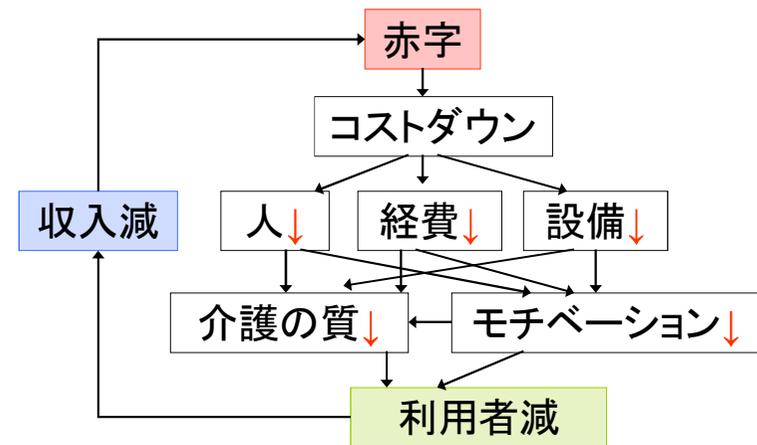


38

通所介護の報酬イメージ



悪魔のサイクル - 縮小のスパイラル



コストダウンは大切、目的の絞り込みがポイント
患者を減らせては元も子もない

40

40

介護は固定費産業 → 収入増がキー

$$\text{利益} = \text{収入} (\text{利用者数} \times \text{単価}) - \text{コスト} (\text{調達量} \times \text{単価})$$

ポイント

- (1) 損益分岐点利用者数の確保
- (2) 新利用者増 (差別化、地域連携、救急、病床管理)
- (3) 単価アップ (在所日数減、手技増・・・)
- (4) 調達量 (人・物) の限度設定、稼働率重視
- (5) 購入価 (ターゲット設定と1%、100円が勝負)
- (6) 企業のような短期的施策で効果のあるもの少なく、継続的努力で効果をあげることが重要

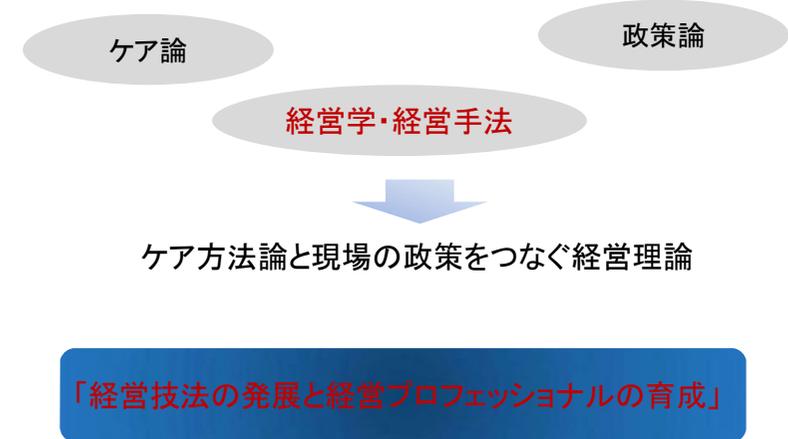
41

73

3. 岡山市のインセンティブ事業について

41

43



42

通所介護サービスの質を評価する

通所介護サービスの質を評価する場合、そのアウトカムだけに着目するのではなく、ストラクチャーやプロセスを評価することが重要と考える。

介護サービスの質 (アウトカムの質)	ストラクチャー (構造)	設備及び組織がどれだけしっかりしているか
	プロセス (経過)	サービス提供のプロセスが利用者にとって望ましいものであるか
	アウトカム (成果)	提供されたサービスが利用者の状態像の改善にどの程度成果があるか

質を評価する項目(価値)・指標の問題

デイサービスには様々な事業所があり、その質を評価するには、複数の項目(価値)が存在し、その項目(価値)の中に各指標が存在する。

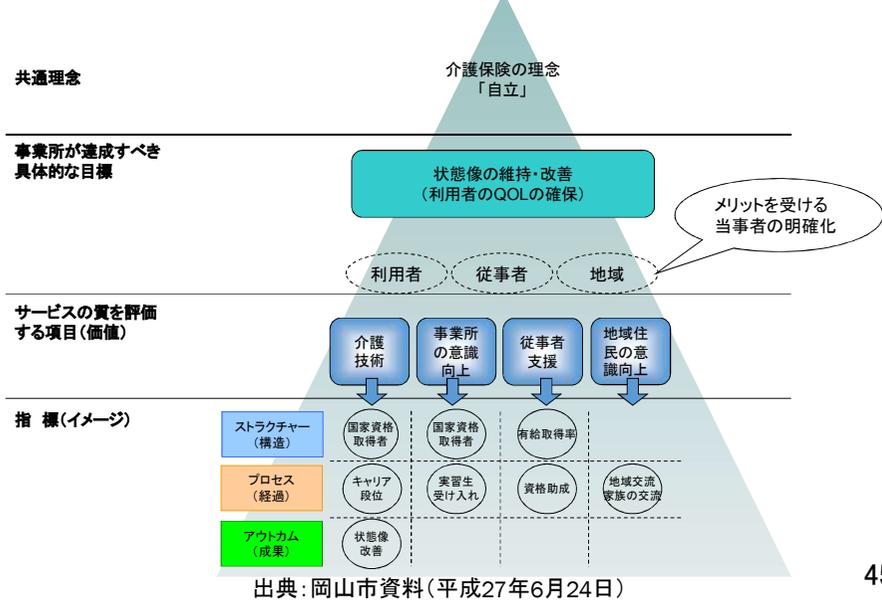
- ・預かり機能(レスパイト)に特化したサービス
- ・機能訓練を中心とした自立支援の要素の強いサービス
- ・専門性を持って認知症ケアに特化したサービス
- ・ナース機能を持つサービス 等

まずは市内全通所介護事業所が質の評価に取り組むことが大事。
そして、質の高い取組みの情報公開等を実施することで、介護サービスのボトムアップを図り、利用者の状態像の維持・改善につなげ、将来的には利用者の「自立」を目指す。

出典：岡山市資料(平成27年6月24日)

44

岡山市の通所介護サービスの質の評価階層図



45

デイサービス改善インセンティブ事業

- 通所介護サービスの質を評価し、積極的に利用者の状態像の維持・改善を図る事業所へインセンティブを付与
- 評価に使う「ものさし」は岡山市と市内デイサービスで共同して選定
- 取組み結果は情報公開を行い、質の高い取組みの普及を図る



全国的にも注目されています。

これまで確立されていないデイサービスの評価指標を岡山市が全国に先駆けて確立し、介護報酬の議論につなげる。

出典: 岡山市資料(平成27年6月24日)

46

質の評価に係わる研究事業で収集するデータ

- ・ストラクチャー
 - ・事業所の人員体制、キャリア段位取得者数
- ・プロセス
 - ・キャリア段位の介護技術評価データを収集

当面は、これらの項目を含む、岡山市で事業所のアンケートから設定した質の評価指標から質を評価。

- ・アウトカム
 - ・要介護認定項目・日常生活機能評価、疾病状況、受けている介護・医療サービス・入院/入所等転帰データを収集

アウトカムとしての質の評価の仕組みを収集データから分析。

47

アウトカム評価検討調査研究の候補一覧

○中間評価項目得点

- ・岡山市全体のデータから傾向分析。

○日常生活機能評価票+疾病状況

- ・今年度の調査で実施。

○WHO-5(主観的健康感)

- ・主観的な尺度のため、数値の解釈が難しい。

48

疾病状況について

1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症(脂質異常)
6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気
9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等) 11. がん(新生物)
12. 血液・免疫の病気 13. うつ病 14. 認知症(アルツハイマー病等) 15. パーキンソン病
16. 目の病気 17. 耳の病気 18. その他() 19. ない

通常、収集している利用者の記録から、転帰ができない項目については、調査実施日を設定し、集中的に調査を実施するのが効率的ではないか。

49

WHO-5について

WHO-5はWHOで開発された非常に簡便な方法で、精神的健康を図る尺度である。以下の5項目について、過去2週間の状況から本人に聞く。本人が回答不能の場合、家族や施設内での生活から判断を行うが、判断が難しい場合、⑤不明を選択する。

- 1. 明るく、楽しい気分で過ごした
- 2. 落ち着いたリラックスした気分で過ごした
- 3. 意欲的・活動的に過ごした
- 4. ぐっすり眠れ、気持ちよく目覚めた
- 5. 日常生活の中に興味のあることがたくさんあった

5つから選択。

- ①いつもそうだった
- ②そういう時が多かった
- ③そういう時は少なかった
- ④まったくなかった
- ⑤不明

50

75

介護キャリア段位制度について

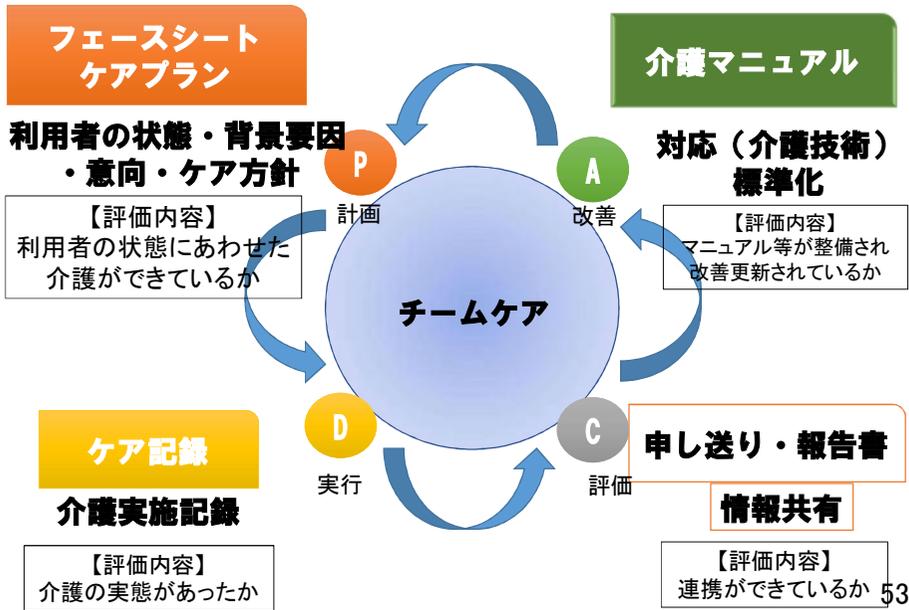
専門職の教育・研修の基本は、 現場の学習体系づくり

- 施設、事業所、病院、診療所等の現場における臨床サービスの質の責任体系
- 継続的なサービスの質向上のメカニズム
- 優れた臨床、知見を生み出す学習や研究のための環境づくりを促す仕組み

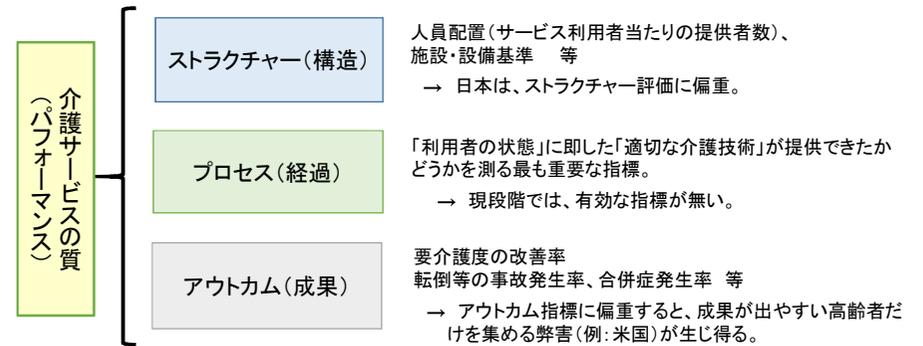
51

52

スキルミクスフロー



「介護サービスの質」と「介護キャリア段位制度」



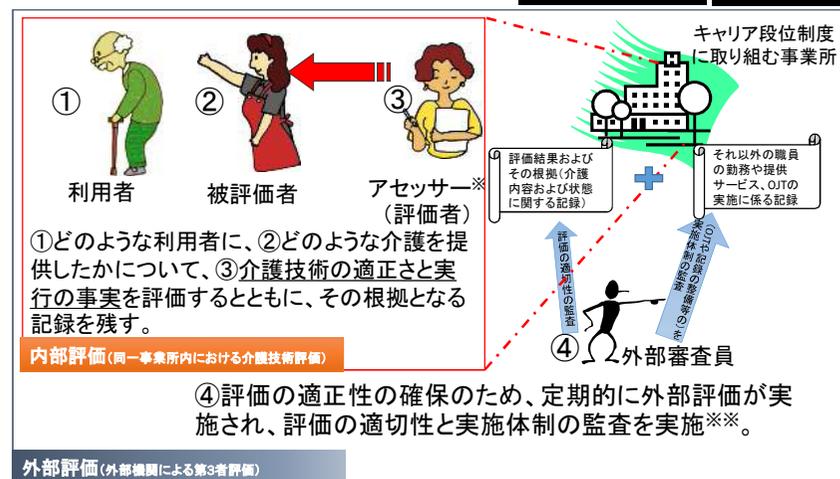
介護キャリア段位制度は、介護職員が「利用者の状態」に即した「適切な介護技術」を提供できているかどうかを評価する制度。さらに、評価者(アセッサー)による評価を、外部の第三者が客観的に再評価できる仕組みにしている。

⇒ 介護キャリア段位制度は、介護サービスのプロセス(経過)を評価できる指標であり、介護サービスの質の評価に資する制度。

介護キャリア段位制度による地域包括ケアシステムを支える人材の育成

地域包括ケアシステム構築に向けた施策の方向性	介護キャリア段位制度における対応
介護の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 「現認」を通じて、基本介護技術(入浴介助、食事介助、排泄介助、移乗・移動・体位変換)を厳密に評価。 基本介護技術は、原則、要介護4以上の高齢者へのケアを評価。
医療と介護の統合	<ul style="list-style-type: none"> 医療職と協働できているかどうかを評価。 例)・(血液の混入、悪臭、バイタル値の異常やショック状態が観察された場合等)医療職に連絡したか。 ・利用者の痛みやそのほかの不快感や身体症状の変化があった場合に備え、その際の対応について、あらかじめ医療機関または医療職と打ち合わせているか。 感染症対策・衛生管理、終末期ケアを評価。
介護予防の推進(自立支援の推進)	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援型のケアを実施しているかどうかを評価。 例)・ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。 ・自力での摂食を促し、必要時に介護を行ったか。 ・一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存能力を活かしながら起居の支援を行ったか。 ・利用者の心身機能・身体状況、利用者の「できる行為・活動」と「している行為・活動」、健康状態について、それぞれ把握できたか。
複数事業者が提供するケアのコーディネート機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステム(多職種連携)を評価。

キャリア段位制度における評価の構造



※ 実務経験など一定の要件を満たした介護職員が評価者(アセッサー)となり評価を実施。評価・認定の客観性を確保するため、評価者には講習の受講を義務付け。
 ※※内部評価結果が不適正と判断されれば、レベル認定は取り消しとなる。

介護キャリア段位の効果

～内部評価取り組み事例～

(アセッサー・被評価者レベル認定申請時アンケートより)

■ 介護キャリア段位制度の活用方法

- 新人教育ツールとして活用
レベル2①にて新人職員の基本介護技術の評価とOJTを通じた技術向上を目指す。
- ベテラン職員再教育ツールとして活用
ベテラン職員の我流となりつつある介護技術について再確認と気付きを促す。
- 次世代リーダーの養成として活用
レベル3、4への挑戦でマネジメント能力を養う。
- 現リーダー層のトレーニングとして活用
評価者(アセッサー)の役割を通じて評価者(アセッサー)本人の指導力を高める。

■ 被評価者の選定方法

- 一人じっくり養成型
被評価者候補が複数となったが、初めてなので、じっくり一人を評価することとした。
- 全体ホトムアップ型
ユニット全体の介護技術の状況を把握し、全体の介護技術ホトムアップを行うため、5人を被評価者として選定した。
- 新人OJT活用型
新人職員研修に活用できると判断、ヘルパー資格をとって間もない者3名を被評価者として選定した。
- 職員の向上心醸成型
職員の自主性を重視し、希望者を募り、選定した。

57

内部評価取り組みによる効果(アセッサー)

～内部評価取り組みによる効果～

(レベル認定申請時アセッサーアンケートより)

■ 職員の意識変化

- 評価をされる、評価することでお互い質に高い介護を目指すように意識が変わった。
- 内部評価、レベル認定を経て、本人の専門職としての自覚がでて、仕事に対する姿勢の変化が見られた。自信につながったように思う。
- ベテランの職員について、正しいと思い込んでいた取り組みが「できない」と評価され最初に抵抗があったようだが、結果的には意思確認や声掛けなど、プロとしての意識ができ、できるようになっていった。
- 評価を行い、技量のランク付けをすることは、他者との差別化につながるし、介護職の励みにもなる。

■ OJTの導入

- もともとOJTの仕組みがなく、「見て学べ」「聞いてならえ」といった感じで、人員不足もあり、採用⇒即戦力として教育ができぬまま実務に出ている現状であったが、制度を活用することで改善できた。
- 介護技術についてなぜその行為が必要なのかといった、その目的や根拠の理解を深めた上で実務を行うようになった。
- 被評価者が1人で不安に思っていたことについて、基準を確認し、OJTを通じて「これでよいのだ」と自信を持ってケアが出来るようになった。

58

77

4. 看護必要度(日常生活機能評価)と評価の考え方

59

看護必要度の基本的概念と 診療報酬における活用状況

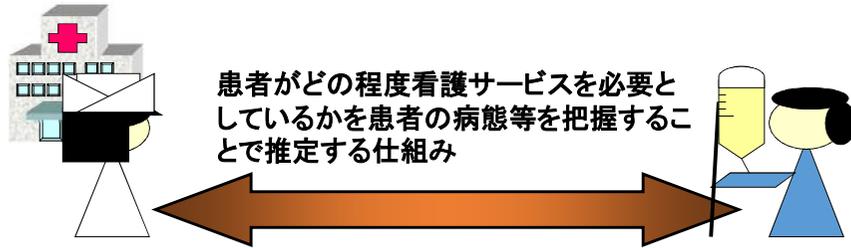
60

看護必要度の診療報酬への導入

- 2003年 特定集中治療室管理料の算定要件として「重症度に係る基準」に導入された
- 2004年 ハイケアユニット入院医療管理料の新設に「重症度・看護必要度に係る基準」が導入された
- 2006年 入院基本料の施設基準として「重症度・看護必要度」に係る評価を行うことと明記された
- 2008年 「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」が算定基準として導入された
- 2008年 「回復期リハビリテーション病棟」の評価基準として「日常生活機能評価票」が導入された
- 2008年 「地域連携診療計画管理料・地域連携診療計画退院時指導料」に「日常生活機能評価票」が導入された
- 2010年 一般病棟看護必要度加算(10対1)に導入された急性期看護補助体制加算(7対1、10対1の評価)に導入
- 2012年 一般病棟看護必要度(7対1)の算定要件が見直された一般病棟看護必要度(10対1)の算定要件が見直された一般病棟看護必要度加算(13対1)に導入された回復期リハビリテーション病棟の評価が見直された(1.2→1.2.3)
- 2014年 「重症度、医療・看護必要度」と改称。大幅な評価項目の見直し

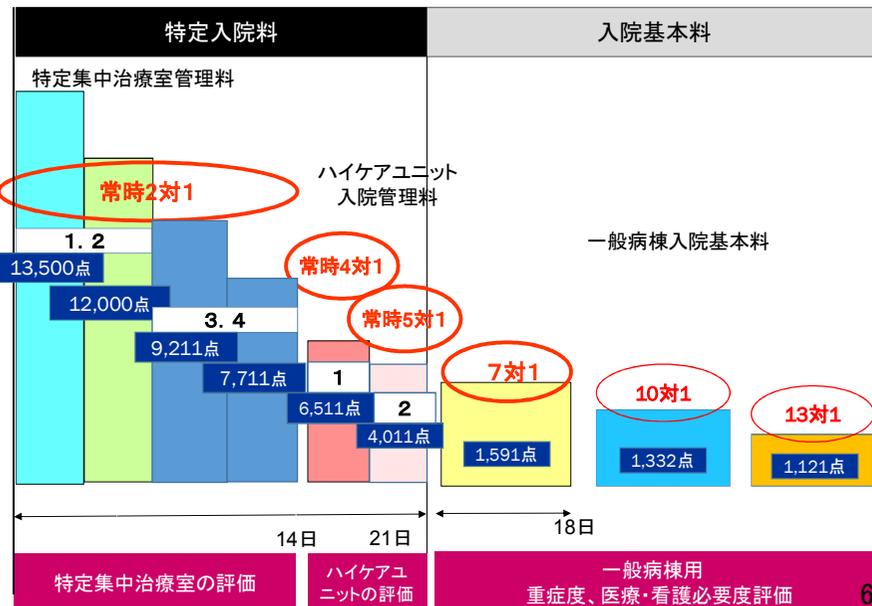
看護必要度とは

看護必要度とは、患者に必要とされる看護量を推定し、これをいくつかの段階に分類したものを



患者の病態等を把握することで看護必要度を評価ができる

急性期入院医療の評価（H26年度改定）

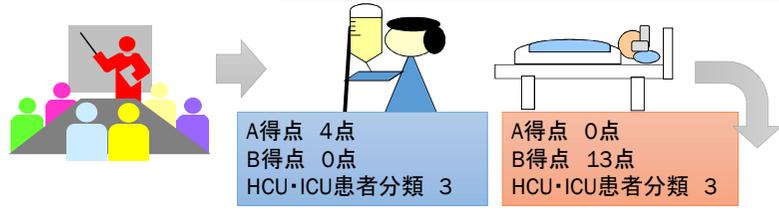


平成26(2014)年時点の看護必要度評価項目と各評価票

通し番号	項目番号	項目名	ICU用の重症度、医療・看護必要度	HCU用の重症度、医療・看護必要度	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度	日常生活機能評価票
1	A-1-1	創傷処置(①創傷の処置(褥瘡を除く))		○	○	
2	A-1-2	創傷処置(②褥瘡の処置)		○	○	
3	A-2	滅菌術の施行		○	○	
4	A-3-1	呼吸ケア(喀痰吸引の場合を除く)			○	
5	A-3-2	呼吸ケア(喀痰吸引及び人工呼吸器の装着の場合を除く)		○	○	
6	A-4	点滴ライン同時3本以上の管理		○	○	
7	A-5	心電図モニター管理	○	○	○	
8	A-6	輸液ポンプ管理	○	○	○	
9	A-7	動脈圧測定(動脈ライン)	○	○	○	
10	A-8	シリンジポンプ管理	○	○	○	
11	A-9	中心静脈圧測定(中心静脈ライン)	○	○	○	
12	A-10	人工呼吸器の装着	○	○	○	
13	A-11	輸血や血液製剤の管理	○	○	○	
14	A-12	肺動脈圧測定(スワンガンツカテーテル)	○	○	○	
15	A-13	特殊な治療法等(CHDF、IABP、POPS、補助人工心臓、ICP測定、ECMO)	○	○	○	
16	A-14-①	専門的な治療・処置 ①抗悪性腫瘍剤の内服(注射剤のみ)			○	
17	A-14-②	専門的な治療・処置 ②抗悪性腫瘍剤の内服の管理			○	
18	A-14-③	専門的な治療・処置 ③麻薬の使用(注射剤のみ)			○	
19	A-14-④	専門的な治療・処置 ④麻薬の内服・貼付、坐剤の管理			○	
20	A-14-⑤	専門的な治療・処置 ⑤放射線治療			○	
21	A-14-⑥	専門的な治療・処置 ⑥免疫抑制剤の管理			○	
22	A-14-⑦	専門的な治療・処置 ⑦昇圧剤の使用(注射剤のみ)			○	
23	A-14-⑧	専門的な治療・処置 ⑧抗不整脈剤の使用(注射剤のみ)			○	
24	A-14-⑨	専門的な治療・処置 ⑨抗血栓薬投薬の特長点滴の使用			○	
25	A-14-⑩	専門的な治療・処置 ⑩ドレーナの管理			○	
26	B-1	床上安静の指示		○	○	○
27	B-2	どちらかの手を胸元まで持ち上げられる		○	○	○
28	B-3	環返り	○	○	○	○
29	B-4	起き上がり	○	○	○	○
30	B-5	座位保持	○	○	○	○
31	B-6	移乗	○	○	○	○
32	B-7	移動方法	○	○	○	○
33	B-8	口腔清潔	○	○	○	○
34	B-9	食事摂取	○	○	○	○
35	B-10	衣服の着脱	○	○	○	○
36	B-11	患者への意思伝達	○	○	○	○
37	B-12	診療・療養上の指示が通じる	○	○	○	○
38	B-13	危険行動	○	○	○	○
39	その他-1	看護計画に基づいた専門的な指導		○	○	○
40	その他-2	看護計画に基づいた専門的な意思決定支援		○	○	○

チームケアにおけるPlatformとしての看護必要度

ケアカンファレンスの開催 患者の情報をチームで共有し、チームでケアを分担する。



Xさんは、強い薬が処方され、Yさんは自立度が低いね。

Xさんには「免疫抑制剤」が処方されてるわ。

状態像は違うが、XさんもYさんは重症度3。

栄養士

薬剤師

医師

看護師

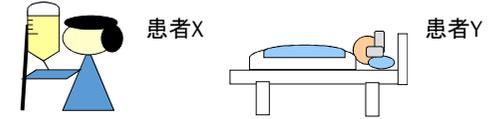
理学療法士

重症度によって、看護体制を考えなくては

B得点を向上させよう

看護必要度のA・B得点、重症度、項目それぞれの評価によって、共通認識を持てる

XさんとYさんの看護必要度評価は...



A	モニタリング及び処置等	0点	1点	2点	患者X	患者Y
1	創傷処置	なし	あり		0	0
2	瘻生術の施行	なし	あり		0	0
3	血圧測定	0~4回	5回以上		1	0
4	時間尿測定	なし	あり		0	0
5	呼吸ケア	なし	あり		0	0
6	点滴ライン同時3本以上	なし	あり		0	0
7	心電図モニター	なし	あり		0	0
8	輸液ポンプの使用	なし	あり		0	0
9	動脈圧測定	なし	あり		0	0
10	シリンジポンプの使用	なし	あり		1	0
11	中心静脈圧測定	なし	あり		0	0
12	人工呼吸器の装着	なし	あり		0	0
13	輸血や血液製剤の使用	なし	あり		0	0
14	肺動脈圧測定	なし	あり		0	0
15	特殊な治療法	なし	あり		0	0
16	専門的な治療・処置	なし		あり		2
16-①	①抗悪性腫瘍剤の使用				なし	なし
16-②	②麻薬注射薬の使用				なし	なし
16-③	③放射線治療				なし	なし
16-④	④免疫抑制剤の使用				あり	なし
16-⑤	⑤昇圧剤の使用				なし	なし
16-⑥	⑥抗不整脈剤の使用				なし	なし
16-⑦	⑦ドレナージの管理				なし	なし
1つ以上実施し、かつその記録がある場合2点						
A得点計					4	0
B	患者の状態等	0点	1点	2点	患者X	患者Y
1	床上安静の指示	なし	あり		0	0
2	どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない		0	0
3	寝返り	できる	何かにつかまればできる	できない	0	2
4	起き上がり	できる	できない		0	1
5	座位保持	できる	支えがあればできる	できない	0	2
6	移乗	できる	見守り・一部介助が必要	できない	0	2
7	移動方法	介助を要しない移動	移動	介助を要する	0	1
8	口腔清潔	できる	できない		0	1
9	食事摂取	介助なし	一部介助	全介助	0	2
10	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助	0	2
11	他者への意思伝達	できる	できないときがある	できない	0	1
12	診療・療養上の指示が通じる	はい	いいえ		0	0
13	危険行動	ない	ある		0	0
B得点計					0	13

平成27年8月21日

デイサービス改善インセンティブ事業
参加通所介護事業所 各位

岡山市医療政策推進課

総合特区デイサービス改善インセンティブ事業
日常生活機能評価の実施について（依頼）

平素より岡山市の総合特区事業にご協力頂き、誠にありがとうございます。

昨年度に引き続き、利用者の状態像の維持・改善に積極的に努める事業所を評価するデイサービス改善インセンティブ事業を実施します。

今年度は、昨年度から引き続き指標による評価を実施するとともに、指標を達成した事業所に対し日常生活機能評価表を活用したアウトカム評価を実施します。アウトカム評価の上位にはインセンティブとして情報公開及び奨励金を付与する予定です。

つきましては、アウトカム評価の指標となる日常生活機能評価調査の実施をお願い致します。

1 調査期間

平成27年9月2週目（9月6日～12日）、平成28年2月2週目の2回

2 調査実施者

平成26年10月9日、平成27年8月21日開催した日常生活機能評価研修を受けた通所介護事業所の職員及び当該研修を受けた職員による講習を受けた職員

3 調査票

別添資料4のとおり

（資料4を事業所においてコピーし、調査対象者ごとに作成してください）

4 調査票回答メ切及び回答方法

平成27年9月18日（金）までに、同封している返信用封筒にて郵送でお願いします。

5 調査対象者

調査月の1日を基準日として岡山市の被保険者かつデイサービス利用者で、第2週目の日曜日から土曜日までの利用者全員となります。

ただし、調査に対する同意がいただけない方（承諾書をご提出いただけない方）は調査の対象外となります。（承諾書は資料4裏面参照）

なお、昨年度のアウトカム調査研究事業に参加した事業所で、昨年度に承諾書をとい
っている利用者においても、今回改めて承諾書を提出する必要があります。

6 調査場所

通所介護事業所内

7 直近のスケジュール

8月21日（金） 日常生活機能評価研修会の実施

9月2週目（6日～12日） 第1回調査実施

9月18日（金） 市へ調査票提出

【提出先・問い合わせ先】

岡山市 医療政策推進課

医療福祉戦略室 橋本 守安

TEL 086-803-1638

FAX 086-803-1776

Mail iryou-s@city.okayama.jp

【事業所番号】

調査票は両面コピーでご利用ください。

【調査担当者】

【調査日】

資料4

【事業所名】

平成27年 月 日

調査票Ⅰ【基本情報】

生年月日	大正	昭和	年	月	日	性別	1. 男性	2. 女性
問1. 特定疾病について (該当する特定疾病に○をつけてください)								
1. がん【がん末期】		6. 初老期における認知症		10. 早老症		14. 閉塞性動脈硬化症		
2. 関節リウマチ		7. 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病【パーキンソン病関連疾患】		11. 多系統萎縮症		15. 慢性閉塞性肺疾患		
3. 筋萎縮性側索硬化症		8. 脊髄小脳変性症		12. 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症		16. 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症		
4. 後縦靭帯骨化症		9. 脊柱管狭窄症		13. 脳血管疾患				
5. 骨折を伴う骨粗鬆症								
問2. 疾病状況について (主な疾病3つまで○をつけてください)								
1. 高血圧		4. 糖尿病		7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気		10. 外傷(転倒・骨折等)		14. パーキンソン病
2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)		5. 高脂血症(脂質異常)		8. 腎臓・前立腺の病気		11. 血液・免疫の病気		15. 目の病気
3. 心臓病		6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)		9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)		12. うつ病		16. 耳の病気
				13. 認知症(アルツハイマー病等)				
問3. (最近2週間、私は……) 明るく、楽しい気分で過ごした			1. いつもそうだった		3. そういう時は少なかった		5. 不明	
			2. そういう時が多かった		4. 全くなかった			
問4. (最近2週間、私は……) 落ち着いたリラックスした気分で過ごした			1. いつもそうだった		3. そういう時は少なかった		5. 不明	
			2. そういう時が多かった		4. 全くなかった			
問5. (最近2週間、私は……) 意欲的で活動的に過ごした			1. いつもそうだった		3. そういう時は少なかった		5. 不明	
			2. そういう時が多かった		4. 全くなかった			
問6. (最近2週間、私は……) ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた			1. いつもそうだった		3. そういう時は少なかった		5. 不明	
			2. そういう時が多かった		4. 全くなかった			
問7. (最近2週間、私は……) 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった			1. いつもそうだった		3. そういう時は少なかった		5. 不明	
			2. そういう時が多かった		4. 全くなかった			

調査票Ⅱ【日常生活機能評価表】

※評価項目毎にその日の一番悪い状態の評価を選んで選択肢に丸印を付けてください。

※合計点数には、選択肢の配点に従って、選んだ選択肢の点数の総合計を記入してください。

No	評価項目	選択肢(配点)		
		0点	1点	2点
1	安静の判断	なし	あり	
2	どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
3	寝返り	できる	つかまる物が必要	できない
4	起き上がり	できる	できない	
5	座位保持	できる	支えが必要	できない
6	移乗	介助なし	一部介助	全介助
7	移動方法	介助なし	介助が必要	
8	口腔清潔	介助なし	介助が必要	
9	食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
10	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
11	他者への意思の伝達	できる	できない時がある	できない
12	介助の指示が通じる	はい	いいえ	
13	自傷行動	なし	あり	
合計点数				点

岡山市長 様

「デイサービス改善インセンティブ事業調査」実施に関する承諾書

当該調査等において、岡山市が介護保険や医療保険の利用状況の情報を調査分析に使用すること、また本調査で得られたデータ等は今後の介護保険施策及び研究課題に活用するために、国へ提出することに承諾します。

* デイサービス改善インセンティブ事業調査とは、日常生活機能評価及び地域包括ケアシステムにおける認知症総合アセスメント（DASC）の調査をいう。

利用する情報名

- ・ 調査票データ
- ・ 介護保険データ
- ・ 国民健康保険データ
- ・ 後期高齢者医療保険データ

●住 所：

●氏 名：

(代筆者名： 役職)

介護保険被保険者番号：

※ ●は必ず本人が記載する。（ただし、本人の記載が困難な場合は代筆で構わない。その場合代筆者名、デイサービスにおける役職を記入すること）

デイサービス調査表評価の手引き

(デイサービス版)

<評価の共通事項>

1. 記入者

予め『評価の手引き』を理解した者が評価をしなければなりません。

2. 対象時間

評価当日だけが評価の対象で、送迎開始から終了までが評価対象時間です。

3. 対象場所

送迎途中と評価対象施設内だけが評価対象場所です。自宅や他の施設での状況は、評価対象ではありません。

4. 対象行為

対象者の行為と評価対象施設の職員の億位だけが評価の対象です。家族や第三者の行為は、評価対象ではありません。

5. 装具等

義手・義足・コルセット等の装具を使用している場合には、装具を装着した後の状態に基づいて評価をしてください。

6. 状態の変化

評価の対象時間において、複数の状態があった場合は、状態が悪い方で評価してください。但し、一連の行為の中（例えば、食事中）で複数の状態があった場合は、一連の行為を総合的に評価してください。例えば、昼食で一部介助が必要であった場合、総合的に評価して、「一部介助」と評価します。しかし、夕食では「全介助」であった場合は、当日の評価としては、状態が悪い夕食の評価を採用して「全介助」と評価します。

7. 介助の評価

介助が必要であった場合（介助者の都合による介助を除く）で、何かしらの介助を行った場合は、当該介助を評価して、評価項目の選択肢に応じて「できない」、「一部介助が必要」、「介助が必要」、「全介助」と評価します。複数の対象者を同時に介助していても同様に評価してください。見守りが必要な場合も介助として評価してください。

8. 動作の確認

「どちらかの手を胸元まで持ち上げられる」から「座位保持」までの4項目に関しては、当該動作の状況が確認できず、介助も発生しなかった場合は、対象者に動作を促して、その結果を評価してください。未確認の場合は、状態が良い方で評価してください。

9. 全ての条件に適合

『評価の共通事項』に記載された条件と各項目に記載された定義等の条件は、全てに適合していなければ、状態が悪い方で評価することができません。

1：安静の判断

項目の定義	
安静（送迎を除く、全てのサービスが受けられない状態）であると判断される時間帯があるかどうかを判断する項目です。	
選択肢の判断基準	
なし	安静の判断が無かった場合
あり	安静の判断があった場合
判断に際しての留意点	
ここで言う安静とは、対象者がベッド上若しくは椅子等だけで、他に移動せずに生活しなければならない状況であり、当該施設の活動に参加できず、サービスを受けることができない状態です。声掛けやベッド上等での介助の有無は問いません。	
補足事項	
ベッド上で本を読む、テレビを見る程度は、安静に含まれます。	

2：どちらかの手を胸元まで持ち上げられる

項目の定義	
対象者自身で自分の手を胸元まで持っていくことができるかどうかを評価する項目です。ここでいう「胸元」とは、首の下くらいまでと定め、「手」とは手関節から先と定めて評価します。	
選択肢の判断基準	
できる	いずれか一方の手を介助なしに胸元まで持ち上げられる場合
できない	介助なしにはいずれか一方の手も胸元まで持ち上げられない場合、あるいは関節可動域が制限されているために介助しても持ち上げられない場合
判断に際しての留意点	
評価する際の座位、臥位等の体位は問いません。いずれかの体位でできれば「できる」と評価します。関節拘縮により、もともと胸元に手がある場合や、不随意運動等により手が偶然胸元まで上がったことが観察された場合は、それらを自ら動かさないことから「できない」と評価します。	
補足事項	
上肢の安静・抑制・ギプス固定等の制限があり、自ら動かない、動かすことができない場合は「できない」と評価します。両腕（義手を含む）が無い場合は「できない」と評価します。	

3：寝返り

項目の定義	
寝返りが自分でできるかどうか、あるいはベッド柵、ひも、バー、サイドレール等の何かにつかまればできるかどうかを評価する項目です。ここでいう『寝返り』とは、仰臥位から（左右どちらかの）側臥位になる動作です。臥位から側臥位ができたか否かの判断には、半側臥位を含むものとし、半側臥位には、30度半側臥位や45度半側臥位等が含まれるものとしします。	
選択肢の判断基準	
できる	何にもつかまらず、寝返り（片側だけでよい）が1人でできる場合
つかまる物が 必要	ベッド柵、ひも、バー、サイドレール等の何かにつかまれば1人で寝返りができる場合
できない	介助なしでは1人で寝返りができない等、寝返りに何らかの介助が必要な場合
判断に際しての留意点	
「つかまる物が必要」とは、事前に寝返りの為に用意した小道具やベッド柵等につかまることで寝返りができる場合に評価します。職員が手を貸して寝返りができる場合は、「できない」と評価してください。	
補足事項	
つかまる物が無い場合は、「できる」または「できない」で評価してください。寝返りが保持できるか否かは評価に関係しませんので、一度でもできれば「できる」と評価してください。一度できた後、疲れてできない場合であっても「できる」と評価します。複数の状態があるとは、午前中はできたが、午後はできない等の異なる時間帯での評価であって、評価した一連の行為の中で一度でもできれば「できる」と評価します。	

4：起き上がり

項目の定義	
起き上がりが自分でできるかどうか、あるいはベッド柵、ひも、バー、サイドレール等、何かにつかまればできるかどうかを評価する項目です。ここでいう『起き上がり』とは、寝た状態（仰臥位）から上半身を起こす動作で、およそ 60 度以上を目安とします。	
選択肢の判断基準	
できる	1人で起き上がることができる場合、ベッド柵、ひも、バー、サイドレール等につかまれば起き上がることが可能な場合、電動ベッドを自分で操作して起き上がれる場合
できない	介助なしでは1人で起き上がることができない等、起き上がりに何らかの介助が必要な場合
判断に際しての留意点	
自力で起き上がるための補助具の準備、環境整備等は、評価に含まれません。起き上がる動作に時間がかかっても、補助具等を使って自力で起き上がることができれば「できる」と評価します。途中まで自分でできても最後の部分に介助が必要である場合は、「できない」と評価します。	
補足事項	
60度まで自力で起き上がり、その後を介助した場合は「できる」と評価します。	

5：座位保持

項目の定義	
座位の状態を保持できるかどうかを評価する項目です。ここでいう『座位保持』とは、上半身を起こして座位の状態を保持することで、およそ 60 度以上を目安とします。「支え」とは、椅子・車椅子・ベッド等の背もたれ、自身の手による支え、あるいは他の座位保持装置等をいいます。	
選択肢の判断基準	
できる	支えなしで座位が保持できる場合
支えが必要	支えがあれば座位が保持できる場合、ベッド、車椅子等を背もたれとして座位を保持している場合
できない	支えがあつたり、ベルト等で固定しても座位が保持できない場合
判断に際しての留意点	
寝た状態（仰臥位）から座位に至るまでの介助の有無は評価しません。尖足・亀背等の身体の状態にかかわらず、「座位がとれるか」についてのみ評価します。クッションを入れるだけで座位保持ができるのであれば「支えがあればできる」と評価します。	
補足事項	
座位保持ができる対象者が、車椅子で移動した場合、「支えがあればできる」とは評価せず、座位が保持できるのであれば「できる」と評価します。座位を取れないことが確認できている対象者の場合は、車椅子で座位がとれれば「支えがあればできる」と評価できます。	

6：移乗

項目の定義	
<p>移乗が自分でできるかどうか、あるいは職員が見守りや介助を行っているかどうかを評価する項目です。ここでいう『移乗』とは、「ベッドから車椅子へ」、「車椅子からポータブルトイレへ」等、乗り移ることを言います。</p>	
選択肢の判断基準	
介助なし	介助なしで移乗できる場合（這って動いても、移乗が自分でできる場合も含む）
一部介助	直接介助をする必要はないが事故等がないように見守る場合、あるいは自分では移乗ができないため他者が手を添える、体幹を支える等の一部介助が行われている場合
全介助	自分では移乗が全くできないために、他者が抱える、運ぶ等の全面的に介助が行われている場合
判断に際しての留意点	
<p>対象者が自分では動けず、イージースライダー等の移乗用具を使用する場合は「できない」と評価します。車椅子等への移乗の際に、立つ、向きを変える、数歩動く等に対して、対象者自身も行い（力が出せており）、職員が介助を行っている場合は、「一部介助」と評価します。</p>	
補足事項	
<p>移乗が発生しなかった場合は、「介助なし」と評価します。乗り移ることが移乗の定義であり、「乗ることのできる何か」から「乗ることのできる何か」へ歩行を介さず、直接的に乗り移る場合だけが評価の対象になります。この乗り移る先が体重計であっても、直接的に乗り移るのであれば評価の対象になります。しかし、床の上へ移る場合は、床は「乗ることができる何か」ではないので評価の対象ではありません。</p>	

7：移動方法

項目の定義	
『移動方法』は、ある場所から別の場所へ移る場合の方法を評価する項目です。	
選択肢の判断基準	
介助なし	杖や歩行器等を使用せずに自力で歩行する場合、あるいは、杖、手すり、歩行器、歩行器の代わりに点滴スタンド、シルバー車、車椅子等につかまって歩行する場合
介助が必要	搬送（車椅子、ストレッチャー等）を含み、介助によって移動する場合
判断に際しての留意点	
車椅子を自力で操作して、自力で移動する場合は、「介助なし」と評価します。少しでも移動に介助が必要な場合は、「介助が必要」と評価します。	
補足事項	
この項目は、対象者の能力を評価するのではなく、移動方法を選択するものであるため、本人が疲れているからと、自力走行を拒否し、車椅子介助で移動した場合は「介助が必要」と評価します。	

8：口腔清潔

項目の定義	
口腔内を清潔にするための一連の行為が自分でできるかどうか、あるいは職員が見守りや介助を行っているかどうかを評価する項目です。一連の行為とは、歯ブラシやうがい用の水等を用意する、歯磨き粉を歯ブラシにつける等の準備、歯磨き中の見守りや指示、磨き残しの確認等も含まれます。	
選択肢の判断基準	
介助なし	口腔清潔に関する一連の行為すべてが自分でできる場合
介助が必要	口腔清潔に関する一連の行為のうち部分的、あるいはすべてに介助が行われている場合
判断に際しての留意点	
口腔内の清潔には、『歯磨き、うがい、口腔内清拭、舌のケア等の介助から義歯の手入れ、挿管中の吸引による口腔洗浄、ポピドンヨード剤等の薬剤による洗浄』も含まれます。舌や口腔内の硼砂グリセリンの塗布、口腔内吸引のみは口腔清潔に含みません。また、歯がない場合は、うがいや義歯の清潔等、口腔内の清潔に関する類似の行為が行われているかどうかに基づいて評価します。口腔清潔に際して、車椅子に移乗する、洗面所まで移動する等の行為は、口腔清潔に関する一連の行為には含まれません。後片付けも、評価の対象外です。	
補足事項	
口腔清潔の行為が行われなければ「介助なし」と評価します。歯磨きなどを伴わない、単なる口腔内の観察は、一連の行為とは評価しません。準備を行ったとしても、口腔清潔の行為自体を観察することが無い場合も、評価の対象になりません。	

9：食事摂取

項目の定義	
<p>食事介助の状況の評価する項目です。ここでいう食事摂取とは、経口栄養、経管栄養を含み、朝食、昼食、夕食、補食等、個々の食事単位で評価を行います。食事摂取の介助は、対象者が食事を摂るための介助、対象者に応じた食事環境を整える食卓上の介助を言います。</p>	
選択肢の判断基準	
介助なし	<p>介助・見守りなしに自分で食事が摂取できる場合（箸やスプーンのほかに、自助具等を使用する場合を含む）</p>
一部介助	<p>食卓で、必要に応じて、食事摂取の行為の一部を介助する場合、あるいは、食卓で食べやすいように配慮する行為（小さく切る、ほぐす、皮をむく、魚の骨をとる、蓋をはずす等）、何らかの介助が行われている場合（見守りや指示が必要な場合も含む）</p>
全介助	<p>自分では全く食べることができず全面的に介助されている場合で、食事開始から終了までにすべてに介助を要した場合</p>
判断に際しての留意点	
<p>厨房での調理、配膳、後片付け、食べこぼしの掃除、車椅子に座らせる、エプロンをかける等は、評価対象に含まれません。必要に応じたセッティング（食べやすいように配慮する行為）等、食事中に1つでも介助すれば「一部介助」と評価します。食事は、種類は問わず、一般（普通）食、プリン等の経口訓練食、水分補給食、経管栄養すべてをさし、摂取量は問いません。経管栄養の評価も、全面的に職員が行っている場合は「全介助」となり、対象者が自立して1人で行った場合は「介助なし」となります。ただし、経口栄養と経管栄養のいずれも行っている場合は、「自立度の低い方」で評価します。家族が行った行為、食欲の観察は評価対象ではありません。また、職員が行う、パンの袋切り、食事の温め、果物の皮むき、卵の殻むき等は「一部介助」と評価します。食べこぼしの掃除や後片付けは評価の対象外になります。椅子のセッティング、エプロンを着ける行為も対象外です。</p>	
補足事項	
<p>食止めや絶食となっている場合は、介助は発生しないので「介助なし」と評価します。セッティングしても食事を拒否した場合も「介助なし」と評価します。単なる水やお茶の水分補給も評価の対象ですが、服薬時の飲水介助は、水分補給が目的ではないので評価できません。食事の訓練や指導であっても、食物を摂取していれば評価の対象ですが、食物を摂取しない食事の訓練や指導は、評価の対象外です。</p>	

10：衣服の着脱

項目の定義	
衣服の着脱を職員が介助する状況を評価する項目です。衣服とは、対象者が日常生活上必要とし着用しているものをいいます。パジャマの上衣、ズボン、寝衣、パンツ、オムツ等を含みます。	
選択肢の判断基準	
介助なし	介助なしに自分で衣服を着たり脱いだりしている場合、あるいは、衣服の着脱の介助が発生しなかった場合
一部介助	衣服の着脱に一部介助が行われている場合
全介助	衣服の着脱の行為すべてに介助が行われている場合
判断に際しての留意点	
衣類の着脱に要する時間の長さは判断には関係しません。衣服の着脱が発生していれば、その目的を問わず評価の対象です。途中までは自分でやっているが、最後に職員がズボン・パンツ等を上げている場合等は、「一部介助」と評価します。職員が手を出して介助はしていないが、転倒の防止等のために、見守りや指示が行われている場合等も「一部介助」と評価します。対象者自身が、介助を容易にするために腕を上げる、足を上げる、腰を上げる等の行為を行っても、着脱行為そのものを対象者が行わず、職員がすべて介助した場合も「全介助」と評価します。衣服の着脱の評価時の行為が、紐を結ぶ・解くだけの様な衣服を整えるだけの場合は、評価の対象としません。日常の靴下や上着を脱がすのを介助する場合は、評価の対象となります。衣服の着脱の為の準備行為は、評価の対象外です。	
補足事項	
施設側で用意した衣服であっても日常着であれば評価の対象ですが、訓練の為等の日常着ではない衣服の着脱は、評価の対象外になります。装具等を装着している場合は、その状態での衣服の介助に関して評価しますが、装具を外す等の行為は、装具は衣服ではないので評価対象に含めず、衣服の着脱のみで評価します。食事摂取時のエプロンも日常着ではないので評価の対処ではありません。	

1 1 : 他者への意思の伝達

項目の定義	
対象者が他者に何らかの意思伝達ができるかどうかを評価する項目です。言葉だけではなく、筆談、ジェスチャー等での意思伝達を含みます。	
選択肢の判断基準	
できる	常時、誰にでも確実に意思の伝達ができる場合
できない時がある	相手によって意思の伝達ができる時とできない時がある場合、また、状況等によって、できない時がある場合
できない	どのような手段を用いても、意思の伝達ができない場合
判断に際しての留意点	
背景疾患や伝達できる内容は問いません。職員に通じない場合でも、家族等に通じることが確認できた場合は、「できない時がある」と評価します。重度の認知症や意識障害によって、自発的な意思の伝達ができない、あるいは、意思の伝達ができるか否かを判断できない場合も「できない」と評価します。	
補足事項	
受け手が健常者ではないことが理由で意思が伝達できない場合は、その事象で「できない」とは判断せず、健常者への意思の伝達だけで評価してください。手話が理解できない人への意思の伝達は、手話が通じなかったというだけでなく、筆談等の他の手段による伝達でもできなかったか否かで評価します。対象者が質問をしてきた場合、その質問内容が理解できれば「できる」と評価してください。	

1 2 : 介助の指示が通じる

項目の定義	
診療・療養上の指示に対して、理解でき実行できるかどうかを評価する項目です。	
選択肢の判断基準	
はい	介助の指示に対して、適切な行動が常に行われている場合
いいえ	介助の指示に対して、指示通りでない行動が1回でもみられた場合
判断に際しての留意点	
指示内容や精神科領域、意識障害等の有無等、背景疾患は問いません。但し、介助の指示だけが評価の対象で、対象者が正常な対応ができる状況での指示だけを評価対象にしてください。意識障害等により指示を理解できない場合や、自分なりの解釈を行い結果的に、指示から外れた行動をした場合は「いいえ」と評価します。	
補足事項	
少しでも反応があやふやであったり、何回も同様のことを言ってきたり、職員の指示と違う行動をするようであれば、「いいえ」と評価します。職員以外の指示は、評価の対象ではありません。	

13：自傷行動

項目の定義	
対象者の対象者自身による自傷行動の有無を評価する項目です。自傷行動とは、自分で自分を傷つける恐れのある行動やそのまま放置すれば自らを傷つける恐れがあると判断できるような行動が確認された場合を言います。また、自傷行動に対する適切な配慮を行っていたにも拘らず、発生した自傷行動だけが評価の対象です。	
選択肢の判断基準	
なし	過去1週間以内に自傷行動が無かった場合
あり	過去1週間以内に自傷行動があった場合
判断に際しての留意点	
認知症等の有無や、日常生活動作能力の低下等の自傷行動を起こす疾患・原因等の背景や、行動の持続時間等の程度は問いません。転倒やベッドからの転落は、対策が採られていれば自傷行動の1つとして評価できますが、地震による転倒等の不可抗力が働いた場合の行動は、評価の対象ではありません。また、無断で外出しただけでは、自傷行動とは評価しません。	
補足事項	
過去1週間とは、評価当日が日曜日であれば、前の月曜に当日の日曜日までを言います。	

以上

資料3

介護職員スキルアップ研修 一覧

平成 26 年度のスキルアップ研修

- ・第1回 7月18日 152事業所
講師：栗田主一氏（東京都健康長寿医療センター研究部長）
テーマ：「デイサービスに求められる認知症支援の方法」
- ・第2回 9月24日 117事業所
講師：武田明美氏（一般社団法人岡山県歯科衛生士会会長）
テーマ：「デイサービスに求められる口腔ケア」
- ・第3回 1月19日 151事業所
講師：千野根勝行氏（川崎医療福祉大学医療技術部リハビリテーション学科准教授）
テーマ：「デイサービスにおける機能訓練の方法」

平成 27 年度のスキルアップ研修

- ・第1回 8月21日 149事業所
講師：栗田主一氏（東京都健康長寿医療センター研究部長）
テーマ：「地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメントシート（DASC-21）」
- ・第2回 10月28日 147事業所（186名）
講師：檜原伸二氏（一般社団法人岡山県作業療法士会 会長）
テーマ：「活動と参加に焦点をあてたリハビリテーション」
- ・第3回 11月12日 123事業所（147名）
プレサミットにスキルアップ研修を位置づけ
- ・第4回 12月21日 173事業所（225名）
講師：堀部 徹氏（NPO法人岡山県介護支援専門員協会会長）
テーマ：「新総合支援事業導入前夜 ～選ばれるデイサービスを目指して～」
- ・第5回 1月29日 147事業所（189名）
講師：平元 美由紀氏（摂食・嚥下障害看護認定看護師）
テーマ：「摂食嚥下障害者へのトータルアプローチ」

資料4

第6回デイサービス改善イ ンセンティブ事業説明会 資料

第6回総合特区 デイサービス改善インセンティブ事業説明会 次第

於：岡山ふれあいセンター

【スケジュール】

19:00～19:05 挨拶

19:05～19:15 デイサービス改善インセンティブ事業の事業報告

- ・平成27年度の指標達成事業所の発表

19:15～19:30 表彰式

- ・平成27年度の日常生活機能評価票の評価上位の表彰

19:30～19:45 平成28年度デイサービス改善インセンティブ事業について

19:45～20:15 指標達成事業所の取組紹介、質疑応答

【配布資料】

- ・ 総合特区デイサービス改善インセンティブ事業 説明会資料
- ・ アンケート
- ・ 指標達成事業所の取組紹介資料

総合特区デイサービス改善インセンティブ事業 説明会資料

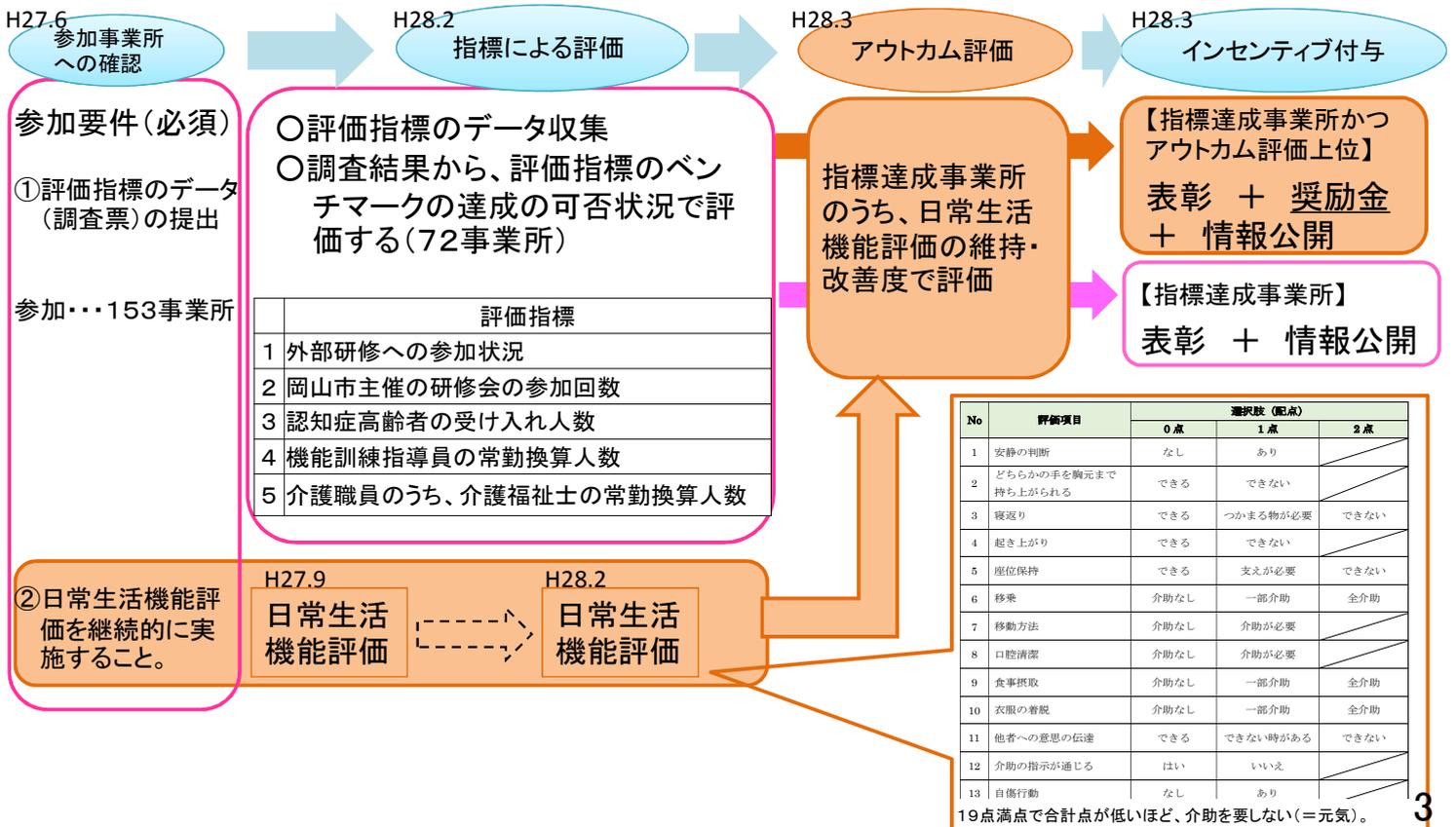
平成28年3月25日
岡山市医療政策推課

1

平成27年度
デイサービス改善インセンティブ事業の結果について

H27総合特区デイサービス改善インセンティブ事業の概要

デイサービス改善インセンティブ事業にアウトカム評価を導入。評価指標の達成、かつアウトカム評価上位事業所に奨励金を付与



指標による評価

下記の5つの指標は岡山市と市内事業所が共同して選定した「デイサービスの質を評価する指標」です。デイサービス改善インセンティブ事業では5つの評価指標のうち、3つ以上の指標のベンチマークを達成した事業所指標達成参加事業所としています。

評価指標	ベンチマーク	ベンチマーク達成事業所数
1 外部研修への参加状況 延べ人数/職員数(常勤換算人数)	評価対象事業所の平均値以上	53事業所(50)
2 岡山市主催の研修会の参加回数	5回のうち3回以上参加 (3回のうち3回とも参加)	124事業所(85)
3 認知症高齢者の受け入れ人数 実人数/利用定員 (H26はⅡa以上、H27はⅢa以上)	評価対象事業所の平均値以上	54事業所(73)
4 機能訓練指導員の常勤換算人数 常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)	評価対象事業所の平均値以上	65事業所(61)
5 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)	評価対象事業所の平均値以上	65事業所(67)

* 下段、()内の数値はH26の値

指標達成事業所数

H27は、72事業所/153事業所参加

H26は、60事業所/160事業所参加

5つ達成... 4事業所
4つ達成... 23事業所
3つ達成... 45事業所

<参考>5つの指標の補足

○外部研修の参加状況

事業所が、職員に対して介護サービスの向上に寄与する研修にどの程度研修にさせているかを評価しています。

○市主催の研修会の参加状況

岡山市が開催する介護サービスの向上に寄与する研修(機能訓練や認知症ケア、摂食嚥下等)にどの程度参加しているかを評価しています。

○認知症受け入れ人数

日常生活自立度Ⅲa以上の認知症の高齢者の受け入れている人数を評価しています。

○機能訓練指導員の常勤換算人数

理学療法士、作業療法士、柔道整復師、看護師等のリハビリ専門職である機能訓練指導員の人数が多い事業所を評価しています。

○介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

専門的知識と技術をもって認知症や寝たきりの人、障害があるために日常生活を営むことに支障がある人たちに対し、身体的、精神的自立を助けるために入浴、食事、排泄等の介護を行う介護福祉士の人数が多い事業所を評価しています。

5

日常生活機能評価を活用したアウトカム評価

○デイサービス改善インセンティブ事業参加事業所が、平成27年9月、平成28年に2度にわたってサービス利用者へ日常生活機能評価調査を実施しました(※1)

○その結果、1回目調査より2回目調査の方が日常生活機能評価得点が低い人(状態が維持・改善した人)が多い事業所のうち、利用者の状態の維持改善率が高い事業所の上位10位に岡山市から奨励金が付与されます。

○奨励金の金額・・・@80,000円×12事業所(同率10位が3事業所あるため)

日常生活機能評価票

No	評価項目	選択肢(配点)		
		0点	1点	2点
1	安静の判断	なし	あり	
2	どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
3	寝返り	できる	つかまる物が必要	できない
4	起き上がり	できる	できない	
5	座位保持	できる	支えが必要	できない
6	移乗	介助なし	一部介助	全介助
7	移動方法	介助なし	介助が必要	
8	口腔清潔	介助なし	介助が必要	
9	食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
10	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
11	他者への意思の伝達	できる	できない時がある	できない
12	介助の指示が通じる	はい	いいえ	
13	自傷行動	なし	あり	
合計点数				点

19点満点で合計点が低いほど、介助を要しない(=元気)。

※1

日常生活機能評価とは、急性期病院や慢性期病院で使われている看護必要度のうち、ADLを図る標準化された13項目から尺度。

岡山市ではこの尺度を使い、デイサービス利用者に調査をして、事業所ごとの維持・改善状況をもとにアウトカム評価を平成27年度から実施しています。

6

アウトカム評価上位事業所の選定方法

事業所による利用者の日常生活機能の維持・改善に資する取組を評価するものであり、1回目調査得点と2回目調査得点の差によって、利用者を「悪化群」、「維持群」、「改善群」に分け、それぞれ、「0点」、「1点」、「2点」とし、事業所ごとの平均値(※)を算出し、上位10位をアウトカム評価上位事業所として奨励金を付与する

※アウトカム評価基準値

= 1回目調査と2回目調査の得点の差の評点(0点、1点、2点)の事業所ごとの平均値

<基礎データ>

○1回目調査

- ・調査時期 H27.9
- ・回答事業所 136事業所
- ・延べ件数 4865件(重複除く)

○2回目調査

- ・調査時期 H28.2
- ・回答事業所 131事業所
- ・延べ件数 4616件(重複除く)

※1回目、2回目共通事業所 125事業所
(有効件数 3471件)

日常生活機能評	平均値	標準偏差	最小値	最大値	N
(1回目-2回目)	-0.06	1.40	-16.00	6.00	3471
日常生活機能評価得点の差					
(1回目-2回目)	悪化(0点)	維持(1点)	改善(2点)	合計	
-16	1	0	0	1	
-15	0	0	0	0	
-14	0	0	0	0	
-13	1	0	0	1	
-12	0	0	0	0	
-11	0	0	0	0	
-10	1	0	0	1	
-9	6	0	0	6	
-8	4	0	0	4	
-7	0	0	0	0	
-6	9	0	0	9	
-5	11	0	0	11	
-4	35	0	0	35	
-3	76	0	0	76	
-2	171	0	0	171	
-1	0	422	0	422	
0	0	2035	0	2035	
1	0	432	0	432	
2	0	0	162	162	
3	0	0	59	59	
4	0	0	25	25	
5	0	0	14	14	
6	0	0	7	7	
合計	315	2889	267	3471	

アウトカム評価上位事業所

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業のアウトカム評価上位事業所(奨励金付与対象事業所)は次のとおり。

順位	事業所名	定員	アウトカム評価基準値
1	さっちゃん家デイサービスセンター	10	1.333
2	津高寮デイサービスセンター	25	1.292
3	松風会デイサービスセンターカドタ	25	1.250
4	デイサービスプチアイル益野	13	1.200
5	デイサービスケアビレッジたけべ	18	1.184
6	デイサービスセンターアルフィック東川原	55	1.176
7	会陽の里デイサービスセンター	18	1.125
8	デイサービスあゆむ	15	1.118
9	デイサービスココファン高屋	20	1.111
10	デイサービスかりん	10	1.083
10	デイサービス 笠井の里	18	1.083
10	デイホーム縁	9	1.083

* 10位が同値のため、計12者

【アウトカム評価結果概要】

指標達成事業所

事業数・・・72事業所
最高値・・・1.333
平均値・・・0.977
最低値・・・0.625

平成28年度 デイサービス改善インセンティブ事業について

11

H28年度デイサービス改善インセンティブ事業 評価指標(案)

	評価指標	考え方	ベンチマーク
1 継続	外部研修への参加状況 (延べ人数/職員数(常勤換算人数))	外部研修の参加人数(対象研修を限定列举予定) ・キャリア段位アセッサー講習研修、 ・認知症総合アセスメント(DASC)研修、 ・認知症介護指導者研修、認知症介護実践リー ダー研修、認知症介護実践者研修 ※過去に受けた場合であっても、受けた職員が現職の場合は、 人数に含める。	「評価対象事業 所の平均値以 上」とする予定
2 継続	岡山市主催の研修会の参加回数	岡山市が主催した介護職員スキルアップ研修(全3回)に参加し た回数	
3 継続	認知症高齢者の受け入れ人数 (実人数/利用定員)	岡山市が抽出した「日常生活自立度Ⅲ以上の利用者」の人数	
4 継続	機能訓練指導員の常勤換算人数 (常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	機能訓練指導員の常勤換算人数 (従業員勤務一覧表から算出)	
5 継続	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 (常勤換算人数/職員数(常勤換算人数))	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 (従業員勤務一覧表から算出)	

平成28年度に新規に加える指標の候補

○医療機関との連携状況(デイサービスDASCモデル事業の参加の有無)

→MCIレベルの認知症の利用者がいた場合に、医療機関に受診勧奨を進めることを検討中

○地域連携拠点として多職種連携会議への参加状況

○デイサービス利用者のうち要介護認定の更新で非該当になった人数

○デイサービス利用者のうち重度者の受け入れ人数

12

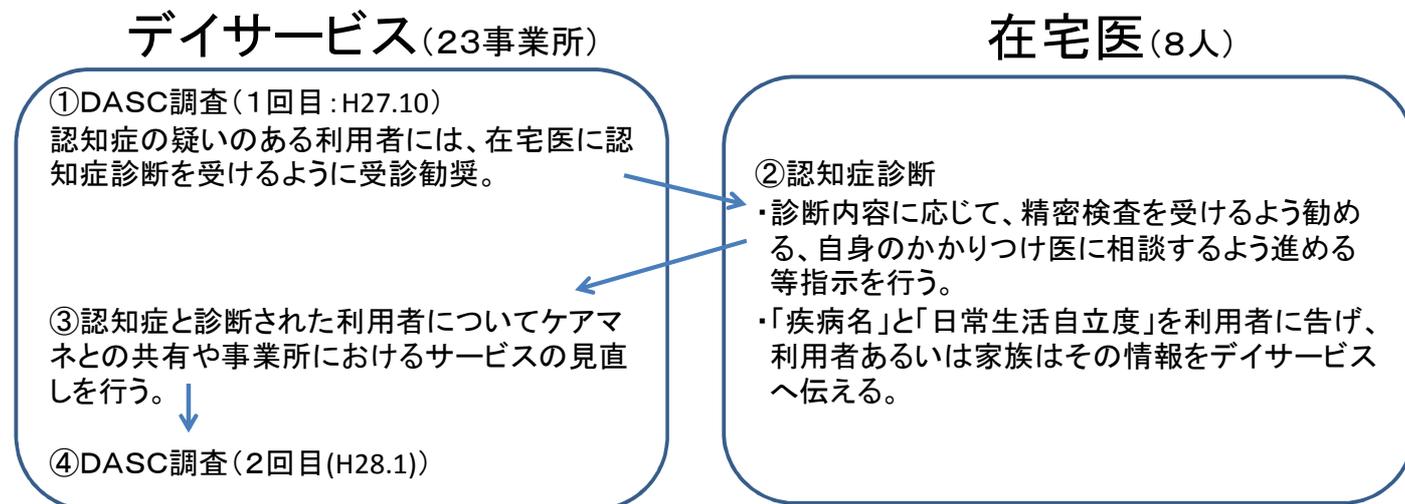
デイサービスDASCモデル事業について

～認知症総合アセスメント(DASC)を活用した指標調査研究事業(平成27年度)～

○目的

- ①要介護認定者の多くが活用しているデイサービスの場において、DASC調査を実施することで、MCILレベルの認知症がどの程度存在しているのかを把握する。
- ②MCILレベルの方を在宅医への受診につなげることが認知症の早期発見・早期治療にどの程度影響があるのかを調査する。

○事業スキーム

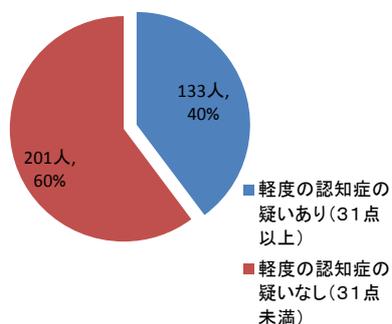


13

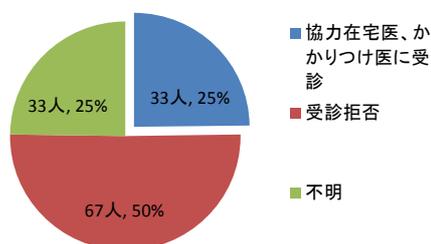
調査結果

- ①1回目のDASC調査を行った334人(=認知症の診断を受けていない利用者)のうち、133人(約40%)が軽度の認知症の疑いがあるとの調査結果が出た。
- ②軽度の認知症の疑いがあると調査結果が出た133人に受診勧奨をした結果、33人(約25%)が在宅医やかかりつけ医で診断を行った。
- ③受診勧奨したが、受診を拒否したケースが多く、67件(約50%)がかかりつけ医や協力在宅医でも診断を拒否している。そのうち、拒否理由としては、本人や家族の拒否、協力在宅医が遠い等の利用が挙げられる。
- ④1回目調査で31点以上(133人)かつ2回目調査で点数が維持改善した人数は60人であり、維持改善率は約40%(60人/133人)

①DASC調査実施者



②、③その後の対応状況



「多職種連携会議への参加状況」について

H28.1に実施したアンケート結果(有効回答136件)

- | | |
|---|---------------|
| ①多職種連携会議に参加したかどうか | 有・・・63 無・・・73 |
| ②多職種連携会議に参加するなどして、
ネットワークを作ることは重要だと思うか | 有・・・134 無・・・2 |

⇒ 多職種連携会議への参加は重要だとの意見が圧倒的に多く、参加している事業所も半数近くあることから、評価指標への導入は可能ではないか

アンケートに記載された意見(抜粋)

- ①さまざまな職種・立場からの話が聞けるので、勉強になる
- ②さまざまな意見が生まれ、問題解決に向けたより良い取組みができる
- ③時間の都合が合わず、参加したいが、なかなか難しい

15

平成28年度デイサービス改善インセンティブ事業 スケジュール

平成28年6月 第7回総合特区デイサービス改善インセンティブ事業
説明会(事業スタート)

平成28年6～7月 介護職員スキルアップ研修
(日常生活機能評価実施研修)

平成28年8月 日常生活機能評価(1回目)

平成29年2月 5つの指標の達成状況の報告

平成29年2月 日常生活機能評価(2回目)

平成29年3月 第8回総合特区デイサービス改善インセンティブ事業
説明会(インセンティブ付与)
情報公開

介護職員スキルアップ研
修の開催(全5回予定)

※上記は現時点の想定であり、変更する場合がございます。

16



介護サービス質の評価先行自治体検討協議会

○目的

状態像が維持・改善した場合に介護サービス事業者へインセンティブ付与を実施している自治体の取組を共有するとともに、平成30年度の報酬改定に向け、持続可能な介護保険制度への政策提言（インセンティブ加算の創設等）を行う。

○協議会の構成員（6自治体）

川崎市、品川区、名古屋市、福井県、滋賀県、岡山市

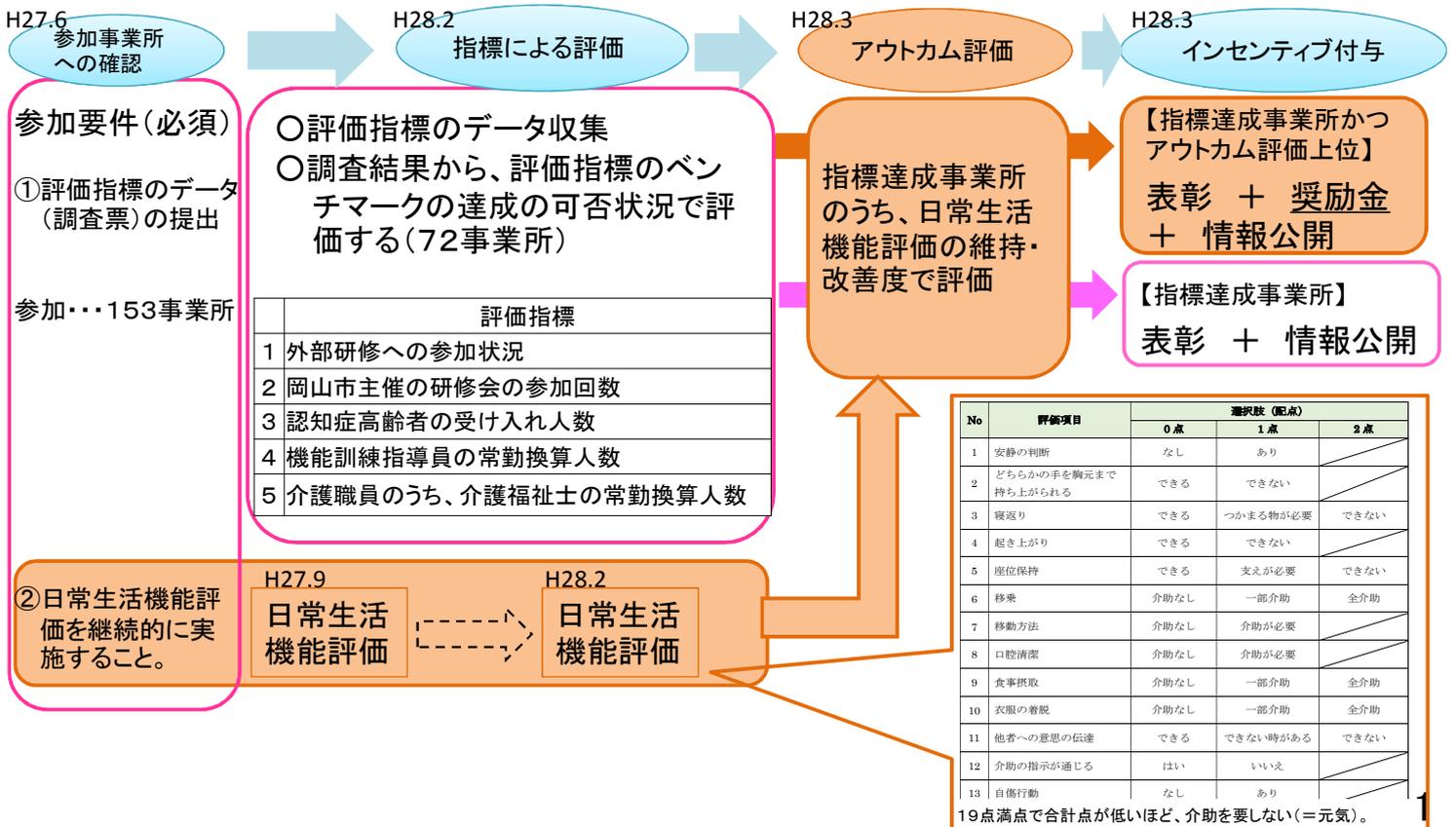
○協議内容及び時期

- ・ 第1回協議会（各々の取組の報告）
日時：平成27年11月13日（金）14:00～16:00
場所：岡山市（岡山市役所内第3会議室）
- ・ 第2回協議会（政策提言の骨子案協議）
日時：平成28年7～8月ごろ
場所：東京（品川）付近の会議室
- ・ 第3回協議会（政策提言の確定）
日時：平成28年10月21日（金）
場所：岡山市（岡山市で開催される全国介護サミット関連）
- ・ 厚生労働省へ政策提言（H28年度内）

H27総合特区デイサービス改善インセンティブ事業の概要

別紙①

デイサービス改善インセンティブ事業にアウトカム評価を導入。評価指標の達成、かつアウトカム評価上位事業所に奨励金を付与



指標達成事業所とは・・・

下記の5つの指標は岡山市と市内事業所が共同して選定した「デイサービスの質を評価する指標」です。デイサービス改善インセンティブ事業では5つの評価指標のうち、3つ以上の指標のベンチマークを達成した事業所指標達成参加事業所としています。

評価指標	ベンチマーク	ベンチマーク達成事業所数
1 外部研修への参加状況 延べ人数/職員数(常勤換算人数)	評価対象事業所の平均値以上	53事業所(50)
2 岡山市主催の研修会の参加回数	5回のうち3回以上参加 (3回のうち3回とも参加)	124事業所(85)
3 認知症高齢者の受け入れ人数 実人数/利用定員 (H26はⅡa以上、H27はⅢa以上)	評価対象事業所の平均値以上	54事業所(73)
4 機能訓練指導員の常勤換算人数 常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)	評価対象事業所の平均値以上	65事業所(61)
5 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 常勤換算人数/職員数(常勤換算人数)	評価対象事業所の平均値以上	65事業所(67)

* 下段、()内の数値はH26の値

指標達成事業所数

H27は、72事業所/153事業所参加

H26は、60事業所/160事業所参加

5つ達成・・・4事業所
4つ達成・・・23事業所
3つ達成・・・45事業所

<参考>5つの「指標による評価」の補足

○外部研修の参加状況

事業所が、職員に対して介護サービスの向上に寄与する研修にどの程度研修にさせているかを評価しています。

○市主催の研修会の参加状況

岡山市が開催する介護サービスの向上に寄与する研修(機能訓練や認知症ケア、摂食嚥下等)にどの程度参加しているかを評価しています。

○認知症受け入れ人数

日常生活自立度Ⅲa以上の認知症の高齢者の受け入れている人数を評価しています。

○機能訓練指導員の常勤換算人数

理学療法士、作業療法士、柔道整復師、看護師等のリハビリ専門職である機能訓練指導員の人数が多い事業所を評価しています。

○介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

専門的知識と技術をもって認知症や寝たきりの人、障害があるために日常生活を営むことに支障がある人たちに対し、身体的、精神的自立を助けるために入浴、食事、排泄等の介護を行う介護福祉士の人数が多い事業所を評価しています。

3

アウトカム評価上位事業所とは・・・

○デイサービス改善インセンティブ事業参加事業所が、平成27年9月、平成28年に2度にわたってサービス利用者へ日常生活機能評価調査を実施しました(※1)

○その結果、1回目調査より2回目調査の方が日常生活機能評価得点が低い人(状態が維持・改善した人)が多い事業所のうち、利用者の状態の維持改善率が高い事業所の上位10位までが「アウトカム評価上位事業所」として岡山市から奨励金が付与されます。

○奨励金の金額・・・@80,000円×12事業所(同率10位が3事業所あるため)

※1

日常生活機能評価とは、急性期病院や慢性期病院で使われている看護必要度のうち、ADLを図る標準化された13項目から尺度。

岡山市ではこの尺度を使い、デイサービス利用者に調査をして、事業所ごとの維持・改善状況をもとにアウトカム評価を平成27年度から実施しています。

日常生活機能評価票

No	評価項目	選択肢(配点)		
		0点	1点	2点
1	安静の判断	なし	あり	
2	どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
3	寝返り	できる	つかまる物が必要	できない
4	起き上がり	できる	できない	
5	座位保持	できる	支えが必要	できない
6	移乗	介助なし	一部介助	全介助
7	移動方法	介助なし	介助が必要	
8	口腔清潔	介助なし	介助が必要	
9	食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
10	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
11	他者への意思の伝達	できる	できない時がある	できない
12	介助の指示が通じる	はい	いいえ	
13	自傷行動	なし	あり	
合計点数				点

19点満点で合計点が低いほど、介助を要しない(=元気)。

4

番号	事業所名	福祉区	所在地	電話番号	参加事業所	指標達成事業所	アウトカム評価 上位事業所	5つの指標のうち、3つ以上達成 ＝指標達成事業所											
								外部研修	市主催研修	認知症	機能訓練	介護職員							
44	アイル岡山	北区中央	岡山市北区野田3-16-1	086-250-0166															
45	アイル岡山別館	北区中央	岡山市北区野田3-2-26	086-250-3923	○														
46	ザグケアリング野田	北区中央	岡山市北区野田3-19-8	086-244-5116	○														
47	ザグスタ野田	北区中央	岡山市北区野田3-19-8	086-244-5188	○														
48	デイリハセンターおひさま	北区中央	岡山市北区下中野243-6	086-238-1511															
49	ニテイクセンター岡山南	北区中央	岡山市北区下中野324-118	086-805-3301	○	○													
50	デイサービスはじめの一步	北区中央	岡山市北区下中野307-11	086-259-1722	○														○
51	井戸外科内科医院デイサービスセンター	北区中央	岡山市北区今7-23-25	086-241-0041															
52	風の風リハビリテーション機関岡山中央	北区中央	岡山市北区今7-18-29	086-242-3711	○	○													○
53	創心會リハビリ倶楽部今	北区中央	岡山市北区今3-25-22	086-242-4100	○	○													○
54	ヒューマンライフケアいま	北区中央	岡山市北区今8-16-28	086-805-1088															
55	リハブライド岡山西	北区中央	岡山市北区今8-14-13	086-805-0323	○														
56	デイサービスセンター 桃園	北区中央	岡山市北区間屋町27-104-101	086-242-2366															
57	創心會リハビリ倶楽部陵南	北区中央	岡山市北区東花尻256-1	086-903-3434	○														○
58	モリウ内科デイサービスセンター	北区中央	岡山市北区白石547-1	086-255-6211															
59	喜福園デイサービスセンター	北区中央	岡山市北区今保870-1	086-805-2532															
60	デイサービスセンターひかる	北区中央	岡山市北区今保714	086-245-0880															
61	一楽リハビリデイサービス	北区中央	岡山市北区平野1088-1	086-292-1115															
62	きのみデイサービスセンター	北区中央	岡山市北区平野716-2	086-728-5200	○														○
63	さくらんぼデイサービス	北区中央	岡山市北区平野801-12	086-292-3350															
64	さわらび苑デイサービスセンター	北区中央	岡山市北区平野1005-9	086-293-7734															
65	ほねつぎ介護デイサービス(平野店)	北区中央	岡山市北区平野622-23	086-293-3939															
66	デイサービスセンターチェリー	北区中央	岡山市北区川入1023-7	086-903-3571															
67	なつかわの郷デイサービスセンター	北区中央	岡山市北区撫川289-1	086-293-6197	○	○													○
68	デイサービスセンターエルム撫川	北区中央	岡山市北区撫川828-3	086-292-8808	○														
69	デイサービスセンターエルム撫川かりん様	北区中央	岡山市北区撫川827	086-292-0300	○	○													○
70	創心會リハビリ倶楽部吉備	北区中央	岡山市北区撫川1186	086-903-1012															
71	デイサービスセンターハッピークラブ	北区中央	岡山市北区撫川440-1	086-903-3001															
72	三戸内科デイサービスセンター	北区中央	岡山市北区牟佐168-3	086-229-3399															
73	デイサービス どんぐり	北区中央	岡山市北区玉柏2091-2	086-228-1782															
74	デイサービスメルシ	北区中央	岡山市北区玉柏2178	086-228-5777															
75	デイサービス 笠井の里	北区中央	岡山市北区畑船117	086-228-0725	○	○													○
76	さすらの社デイサービスセンター	北区中央	岡山市北区畑船448	086-228-9160															
77	デイサービスセンター 敬老園	北区中央	岡山市北区紙園866	086-275-7511															
78	デイサービス麻姑の小町伊島	北区北	岡山市北区伊島町3-8-8-2	086-259-0026	○														
79	フィットネスデイサービスステップス	北区北	岡山市北区絵図町1-50	086-214-0501	○														○
80	北ふれあいデイサービスセンター	北区北	岡山市北区谷万成2-6-33	086-251-6502	○	○													○
81	デイサービスセンター旭ヶ丘	北区北	岡山市北区万成東町2-28	086-252-5050															
82	つしまデイサービスセンター	北区北	岡山市北区津島新野1-2-23	086-254-0184	○	○													○
83	おかやまコープデイサービス津島西坂	北区北	岡山市北区津島西坂3-7-1	086-256-2700	○														○
84	デイサービス シュシュ	北区北	岡山市北区津島西坂3-9-7	086-251-5116															
85	株式会社ももたらうエルフェア ももたらうデイサービスセンター	北区北	岡山市北区津島本町18-30	086-255-9111	○														○
86	デイサービスセンター 藤ヶ嶋	北区北	岡山市北区菅野3399-1	086-294-1717	○	○													○
87	ハートフルさかの	北区北	岡山市北区吉宗677-1	086-294-5025															
88	津高祭 デイサービスセンター	北区北	岡山市北区津高436-1	086-253-2500	○	○													○
89	デイサービス わがや	北区北	岡山市北区津高708-1 マディカルプラザ津高3F	086-256-0777	○														○

番号	事業所名	福祉区	所在地	電話番号	参加事業所	指標達成事業所	アウトカム評価 上位事業所	5つの指標のうち、3つ以上達成 ＝指標達成事業所											
								外部研修	市主催研修	認知症	機能訓練	介護職員							
90	デイサービスセンター 桜日和	北区北	岡山市北区楳津373-1	086-284-6660															
91	あんデイサービスセンター	北区北	岡山市北区楳津1007-1	086-284-4555															
92	デイサービスセンター同仁	北区北	岡山市北区楳津590-3	086-239-0001															
93	デイサービスおおくに	北区北	岡山市一宮145番地2	086-284-5085															
94	デイサービスセンターアルフィック尾上	北区北	岡山市北区尾上356-1	086-286-0533	○	○						○							○
95	デイサービスセンター 桃丘	北区北	岡山市北区芳賀2421-1	086-286-0722	○							○							○
96	デイサービスセンター桃丘2号館	北区北	岡山市北区芳賀2421-3	086-284-9511	○							○	○						
97	デイサービスセンターまやしも	北区北	岡山市北区松尾209-1	086-286-4160	○							○	○						
98	デイサービス 和みのとき	北区北	岡山市北区大塚474-1	086-287-4649															
99	アクティブ デイサービスセンター	北区北	岡山市北区立田587	086-287-9888	○	○						○	○	○	○				
100	デイサービス ひなたぼっこ	北区北	岡山市北区吉備津1897	086-287-8652	○	○						○	○						○
101	渡辺医院	北区北	岡山市北区吉備津1019	086-287-7803															
102	デイサービスセンターチェリー加茂	北区北	岡山市北区加茂726-1	086-250-8480															
103	デイサービスセンターくらんどきっず	北区北	岡山市北区惣爪276-4	086-287-6556															
104	岡山シルバーデイサービスセンター	北区北	岡山市北区新庄上545-1	086-287-6161	○							○							○
105	ピアーズデイサービスセンター希望ヶ丘	北区北	岡山市北区門前384-2	086-905-0035															
106	デイサービス「ユートリア」	北区北	岡山市北区小山108-1	086-287-7044															
107	デイサービスセンター 松風園	北区北	岡山市北区高松1006	086-287-2105															
108	足守荘デイサービスセンター	北区北	岡山市北区下足守1898	086-295-2480															
109	憩いの丘デイサービスセンター	北区北	岡山市北区日近1807	086-295-1155	○	○						○	○						○
110	四季の里デイサービスセンター	北区北	岡山市北区西山内95-3	086-299-0131															
111	宇垣荘デイサービスセンター	北区北	岡山市北区御津宇垣2069-10	086-724-0707	○														
112	デイサービスセンター なごみ	北区北	岡山市北区御津宇垣1686-1	086-724-5080	○														○
113	デイサービスねこの手みつ きらめき	北区北	岡山市北区御津河内934	086-724-4232															
114	リハビリデイサービス 和合の郷	北区北	岡山市北区御津鹿瀬536	086-724-5858															
115	玉松園デイサービスセンター	北区北	岡山市北区御津金川123番地	086-724-0058	○	○						○	○						○
116	デイサービス ねこの手みつ	北区北	岡山市北区御津金川346-1	086-724-9323															
117	デイサービス御津の木かながわ	北区北	岡山市北区御津金川963	086-724-9900	○														
118	御津ふれあいデイサービスセンター	北区北	岡山市北区御津金川449	086-724-1516	○	○						○	○						○
119	リハビリデイサービス和合の郷 金川店	北区北	岡山市北区御津金川399-8	086-724-0850															
120	デイサービスセンター うかい	北区北	岡山市北区御津紙工1410	086-726-0331	○	○						○	○	○	○				
121	建部町ほのぼの荘デイサービスセンター	北区北	岡山市北区建部町福渡1008-1	086-722-4500															
122	デイサービスセンターわかば	北区北	岡山市北区建部町福渡493-2	086-722-9320															
123	いなほデイサービスセンターふらっと	北区北	岡山市北区建部町川口790-3	086-722-4116	○														○
124	いなほデイサービスセンターいこう	北区北	岡山市北区建部町川口790-1	086-722-4115	○														○
125	デイサービスケアレレッジたけべ	北区北	岡山市北区建部町建部上326-1	086-722-0023	○	○						○	○	○					○
126	デイサービス たけべ	北区北	岡山市北区建部町建部上557-2	086-722-0030															
127	岡山ふれあいデイサービスセンター	中区	岡山市中区桑野715-2	086-274-5153	○	○						○	○						
128	デイサービスセンター くわのみどりの家	中区	岡山市中区桑野715-2	086-274-5155															
129	デイサービスセンター べる	中区	岡山市中区桑野276-8	086-276-1616	○	○						○	○	○					
130	デイサービスセンター たんぼぼ	中区	岡山市中区江崎254-5	086-200-3688	○							○							
131	デイサービス青い宙	中区	岡山市中区藤崎622-1	086-277-4447	○							○	○						
132	おかもこブデイサービス中島	中区	岡山市中区中島149-5	086-275-9015															
133	ゆほの郷デイサービスセンター	中区	岡山市中区湯迫233	086-278-8801	○							○							○
134	高島デイサービスセンター	中区	岡山市中区国府市場985-1	086-275-0307	○							○							
135	デイサービスセンター皆美	中区	岡山市中区国府市場592-23	086-279-3959															

番号	事業所名	福祉区	所在地	電話番号	参加事業所	指標達成事業所	アウトカム評価 上位事業所	5つの指標のうち、3つ以上達成 =指標達成事業所											
								外部研修	市主催研修	認知症	機能訓練	介護職員							
136	あかるいデイサービス	中区	岡山市中区雄町102	086-279-3496															
137	デイサービスこはる	中区	岡山市中区今在家11-10	086-207-6811															
138	デイサービスつくも	中区	岡山市中区長岡585-1	086-279-0165															
139	デイサービスセンター柔	中区	岡山市中区長岡471-1	086-238-8870															
140	デイサービス あい愛	中区	岡山市中区米田23-1	086-208-6801															
141	デイサービスセンター 皇	中区	岡山市中区神下127-5	086-206-3671															
142	恵風荘デイサービスセンター	中区	岡山市中区今谷770-1	086-277-1977	○	○							○	○	○	○			
143	幸福園デイサービスセンター	中区	岡山市中区乙多見147-1	086-278-2323	○	○							○	○					○
144	茶話本舗デイサービスありがとうやりの	中区	岡山市中区関375番10	086-201-1910															
145	創心會リハビリ倶楽部東岡山	中区	岡山市中区関437-1	086-208-6250															
146	まごころデイサービス	中区	岡山市中区関19-1	086-208-3857	○								○						○
147	デイサービス ゆうき	中区	岡山市中区関35-7	086-239-5754	○														○
148	デイサービス ココファン高屋	中区	岡山市中区高屋126番	086-238-5620	○	○							○	○					○
149	デイサービスセンターみさおやま	中区	岡山市中区沢田355-5	086-238-5243															
150	ツクイ岡山原尾島	中区	岡山市中区原尾島4-14-8	086-270-9520															
151	原尾島クリニック デイサービスセンター	中区	岡山市中区原尾島3-8-18	086-271-3777	○								○	○					
152	原尾島クリニック第二デイサービスセンター	中区	岡山市中区原尾島3-8-17	086-271-3777															
153	サリスデイサービスセンター	中区	岡山市中区国富3-8-13	086-272-1740															
154	岡山ケアセンター両備サン・オックス	中区	岡山市中区森下町5-5	086-238-6057	○								○	○					
155	森下町デイサービス	中区	岡山市中区森下町9-25	086-273-0068															
156	デイサービス はぐはぐの家	中区	岡山市中区高島新屋敷298	086-275-8688															
157	デイサービス 八幡の里	中区	岡山市中区高島新屋敷395-1	086-207-6102	○	○							○	○	○	○	○		○
158	リハビリデイサービスてくとこ高島店	中区	岡山市中区高島新屋敷46-9	086-207-2459															
159	デイサービスいざなぎクラブ	中区	岡山市中区穂東町2-1-8	086-238-5682	○								○						○
160	ザグスタさい	中区	岡山市中区穂150-4	086-270-4133	○								○						○
161	岡山デイナーシング看護協会	中区	岡山市中区竹田155-7	086-901-1373															
162	デイサービスセンターアルフィック東川原	中区	岡山市中区東川原160-1	086-206-1550	○	○							○						○
163	アルファデイサービスセンター後楽園	中区	岡山市中区浜1-11-3	086-201-0763	○														
164	デイサービス みち	中区	岡山市中区浜3-5-1	086-270-1663															
165	リハビリデイサービスてくとこ	中区	岡山市中区西川原1-15-24	086-206-2992															
166	デイサービス 福治	中区	岡山市中区福治205-24	086-201-4133	○	○							○						○
167	両備ヘルシーケア福治	中区	岡山市中区福治262-3	086-201-0261	○								○	○					
168	デイサービスセンター倉益	中区	岡山市中区倉益170-5	086-274-7200															
169	ニチケアセンター 倉富	中区	岡山市中区倉富142-1	086-200-1681	○														
170	デイサービスセンター くらた	中区	岡山市中区倉田668-1	086-276-7081															
171	星の家きらりデイサービスセンター	中区	岡山市中区倉田576-8	086-276-660															
172	NTTグループケアポート岡山	中区	岡山市中区湊264-8	086-200-0055	○	○							○	○	○	○			○
173	デイサービス かりん	中区	岡山市中区湊420	086-277-7004	○	○							○						○
174	デイサービスセンタ ハイライフ	中区	岡山市中区山崎312-55	086-206-2359															
175	一般財団法人操風会デイサービスセンター操風	中区	岡山市中区奥市2-8	086-270-6201	○	○							○	○					
176	デイサービスセンター・カドタ	中区	岡山市中区門田屋敷4-5-13	086-273-1123	○	○							○	○	○				○
177	リハビリ岡山東	中区	岡山市中区山崎29-15	086-238-5662	○	○							○	○					○
178	デイサービス さくら	中区	岡山市中区御成町10-5	086-270-0745															
179	デイサービスセンターアルフィック平井	中区	岡山市中区平井五丁目8-46	086-238-5150	○	○							○	○					
180	デイサービスセンターおもいやり	中区	岡山市中区平井1260-1	086-274-5551	○														○
181	デイサービス葉の花	中区	岡山市中区平井5-7-47-3	086-276-1358															

番号	事業所名	福祉区	所在地	電話番号	参加事業所	指標達成事業所	アウトカム評価 上位事業所	5つの指標のうち、3つ以上達成 ＝指標達成事業所					
								外部研修	市主催研修	認知症	機能訓練	介護職員	
182	デイサービス ファミリー	中区	岡山市中区平井1-5-20	086-901-1001	○	○			○	○	○		
183	デイサービス まる	中区	岡山市中区平井7-23-44	086-200-1771									
184	デイサービスまんま	中区	岡山市中区平井7-11-2	086-238-2345									
185	友家園デイサービスセンター	中区	岡山市中区平井4-13-33	086-200-0520	○				○	○			
186	デイサービスセンター・ハレルヤ	中区	岡山市中区御幸町4-25	086-272-1337	○				○	○			
187	サンデー桑野デイサービスセンター	中区	岡山市中区桑野715-13	086-206-2266									
188	デイサービスセンター 皇 2号館	東区	岡山市東区穴甘1247-1	086-206-6571									
189	会福の里デイサービスセンター	東区	岡山市東区久保205-1	086-944-2700	○	○	○		○	○		○	
190	健生園 デイサービスセンター	東区	岡山市東区吉原231	086-944-2941	○	○			○	○		○	
191	デイサービスセンター歌愛西大寺	東区	岡山市東区西大寺東3-6-26	086-944-9791									
192	デイサービスセンターアルフィック西大寺	東区	岡山市東区西大寺東3-8-27	086-944-7051	○				○		○		
193	西大寺ふれあいデイサービスセンター	東区	岡山市東区西大寺中2-16-33	086-944-1809	○	○			○	○		○	○
194	デイサービスセンターあゆみ	東区	岡山市東区西大寺南2-10-17	086-944-0311	○				○				○
195	デイサービスセンターどんぐりハウス	東区	岡山市東区西大寺射越321	086-942-8451	○	○			○	○	○		
196	よりあいデイサービス心	東区	岡山市東区西大寺新地311	086-206-3075									
197	さくら苑デイサービスセンターつくしんぼ	東区	岡山市東区西大寺浜253	086-944-8210	○	○				○	○	○	
198	デイサービスセンターよしい川	東区	岡山市東区西大寺浜608	086-942-9521	○								○
199	タなぎデイサービスセンターもものはな	東区	岡山市東区宿毛748-5	086-946-2827	○	○			○	○	○	○	○
200	石井内科デイサービスセンター	東区	岡山市東区神崎町105-1	086-946-2101	○				○	○			
201	デイサービスセンター阿知の里	東区	岡山市東区下阿知1180	086-946-1520	○				○		○		
202	デイサービスセンターみのり岡山	東区	岡山市東区幸地崎町1525	086-946-2294	○				○				
203	デイサービス あすか	東区	岡山市東区九幡44-4	086-948-3008	○				○				
204	デイサービスセンター ゆりかご	東区	岡山市東区升田606-1	086-948-9818	○	○			○	○			○
205	デイサービスゆんた益野	東区	岡山市東区大多羅町103番地1	086-206-2671									
206	創心會リハビリ倶楽部益野	東区	岡山市東区可知3-17-53	086-944-6605	○				○		○		
207	デイサービスセンター 奏	東区	岡山市東区松新町206番地1	086-237-1165	○	○			○	○		○	
208	デイサービスセンター西大寺中央	東区	岡山市東区松新町28-1	086-942-6552	○	○			○	○		○	
209	城本クリニックデイサービスセンター	東区	岡山市東区松新町65-4	086-942-0007									
210	デイサービスセンターおかやまままかり苑	東区	岡山市東区益野町754-1	086-942-1501	○	○			○	○	○	○	○
211	プチアイル益野	東区	岡山市東区益野町396-39	086-238-2130	○	○	○		○	○	○		
212	リハスタイル	東区	岡山市東区中川町290-1	086-206-5912	○	○			○	○		○	
213	ふじわらデイサービスセンター	東区	岡山市東区西大寺松崎157-7	086-943-8745									
214	デイサービスセンター はなみずき	東区	岡山市東区富士見町1-5-3	086-238-2120									
215	デイサービスセンターひまわりの家	東区	岡山市東区中野本町1-13	086-943-5335									
216	デイサービスセンターかなおか	東区	岡山市東区金岡東町1-14-17	086-943-1300	○	○			○	○	○		○
217	スローライフ和	東区	岡山市東区金岡東町2-15-28	086-201-3700	○								
218	きっちゃん家デイサービスセンター	東区	岡山市東区金田819	086-948-9788	○	○	○		○	○	○	○	○
219	(有)宅老所 華の苑	東区	岡山市東区金田1852-1	086-948-5531									
220	ミニ介護ハウスすてっぷ	東区	岡山市東区金田1835	086-948-5612									
221	ハモニカデイサービスセンター	東区	岡山市東区浅川520-9	086-297-6637	○				○				○
222	デイサービスセンター満天	東区	岡山市東区矢井181番1	086-238-9181									
223	上道荘デイサービスセンター	東区	岡山市東区中尾1036	086-297-7011									
224	デイサービス 小鳥の森苑	東区	岡山市東区南古都734	086-297-0654									
225	デイサービスみえさんちの家	東区	岡山市東区瀬戸町江尻1179-2	086-908-0015									
226	瀬戸町デイサービスセンター	東区	岡山市東区瀬戸町下146-1	086-952-2604									
227	デイサービス とんぼの里	東区	岡山市東区瀬戸町瀬戸253	086-952-5002									

番号	事業所名	福祉区	所在地	電話番号	参加事業所	指標達成事業所	アウトカム評価 上位事業所	5つの指標のうち、3つ以上達成 ＝指標達成事業所				
								外部研修	市主催研修	認知症	機能訓練 介護職員	
228	ニチケアセンター瀬戸中央	東区	岡山市東区瀬戸町瀬戸24	086-952-9100	○				○	○		
229	デイサービス むらびと	東区	岡山市東区瀬戸町瀬戸255-1	086-952-5001								
230	デイサービスセンター宗堂さくら苑	東区	岡山市東区瀬戸町宗堂597	086-953-1610								
231	多聞荘デイサービスセンター	東区	岡山市東区瀬戸町坂根792-14	086-953-0011	○	○			○	○		
232	岡山東部脳神経外科デイサービスセンター「歩夢」	東区	岡山市東区瀬戸町光明谷217-1	086-952-5250								
233	デイサービス・カモミール	南区西	岡山市南区古新田81-7	086-239-1122	○							
234	あいの里デイサービスセンター	南区西	岡山市南区大福281-5	086-281-2277								
235	デイサービスセンターチェリー大福	南区西	岡山市南区大福1308-12	086-282-2688								
236	デイサービス朱鷺の家	南区西	岡山市南区大福419-32	086-282-5811								
237	美咲デイサービスセンター	南区西	岡山市南区大福820-1	086-250-3030	○				○	○		
238	西ふれあい デイサービスセンター	南区西	岡山市南区妹尾880-1	086-281-9615	○	○			○		○	
239	春のひだまりデイサービスセンター	南区西	岡山市南区妹尾838-1	086-282-5090	○	○			○	○		○
240	若宮園デイサービスセンター	南区西	岡山市南区箕島3566-1	086-281-0862	○				○			
241	デイサービスセンター「共生苑」	南区西	岡山市南区東睦768	086-281-6866	○				○			○
242	デイサービス ココファン妹尾	南区西	岡山市南区東睦164番1	086-239-2395								
243	医療法人ふたば会デイサービス ラウクラ	南区西	岡山市南区内尾410-10	086-282-8877								
244	デイサービスセンターひかりの里えんがわ倶楽部	南区西	岡山市南区中睦187-8	086-298-1300								
245	健康づくりの家デイサービスセンター藤田	南区西	岡山市南区藤田566-112	086-250-9370								
246	ワンダフル藤田デイサービスセンター	南区西	岡山市南区藤田430-2	086-296-7322								
247	デイサービス 暖家	南区西	岡山市南区西紅隼台2-58-552	086-296-3944								
248	デイサービスいけだ	南区西	岡山市南区彦崎2810-7	08636-2-3100	○				○			
249	瀬崎荘通所介護事業所	南区西	岡山市南区彦崎2300	086-362-5050								
250	デイサービスみらい	南区西	岡山市南区彦崎2993-2	086-362-2525	○	○			○	○		○
251	通所介護 なの花	南区南	岡山市南区豊浜町1-35	086-231-3278	○	○			○	○		○
252	デイサービス あゆむ	南区南	岡山市南区豊成1-16-3	086-261-6601	○	○			○	○		○
253	デイサービスセンター みどり夢中央町	南区南	岡山市南区新福2-9-29	086-262-7771	○							
254	デイサービス こもれび泉田	南区南	岡山市南区泉田357-3	086-243-5753	○	○			○	○		○
255	塚崎整骨院 デイサービスセンター	南区南	岡山市南区泉田343-1	086-245-2455	○	○			○	○		○
256	デイサービスセンターみさき	南区南	岡山市南区泉田4-3-53	086-224-3400	○				○			
257	山本医院 デイサービスセンター	南区南	岡山市南区泉田418-25	086-243-2011	○				○			○
258	アースサポート岡山	南区南	岡山市南区新保1612-16	086-244-4600								
259	サンキウエルビーサービスセンター新保	南区南	岡山市南区新保681-3	086-239-8004	○	○			○	○		○
260	ツクイ 岡山新保 (岡山南)	南区南	岡山市南区新保1187-2	086-236-0855								
261	デイサービスセンター 花さき山	南区南	岡山市南区新保656-14	086-805-0502								
262	茶話本舗デイサービスれもん	南区南	岡山市南区西市810-10	086-362-7702								
263	岡山市西市デイサービスセンター	南区南	岡山市南区西市123-1	086-246-6851	○					○		○
264	デイホーム 麦のほっ!シーザル	南区南	岡山市南区西市100-5	086-805-2880	○				○			
265	岡山ケアセンターそよ風	南区南	岡山市南区米倉43-13	086-805-2561	○							
266	デイサービスセンターかおる	南区南	岡山市南区万倍155-1	086-242-2802								
267	デイサービスセンター万倍の里	南区南	岡山市南区万倍54-6	086-243-6671								
268	デイサービス 洗寿	南区南	岡山市南区当新座85-1	086-201-8215								
269	デイサービス こみち	南区南	岡山市南区当新田490-346	086-245-1600								
270	デイサービス 爽寿	南区南	岡山市南区当新田85-9	086-201-8212								
271	デイサービス そら	南区南	岡山市南区当新田242-28	086-250-5757								
272	地域福祉事業所 アリスの庭	南区南	岡山市南区当新田199	086-246-3758								
273	デイサービスみゆき	南区南	岡山市南区当新田89-5	086-242-0166								

番号	事業所名	福祉区	所在地	電話番号	参加事業所	指標達成事業所	アウトカム評価 上位事業所	5つの指標のうち、3つ以上達成 =指標達成事業所					
								外部研修	市主催研修	認知症	機能訓練	介護職員	
274	デイサービスセンターアルフィック下中野	南区南	岡山市南区下中野1415-10	086-250-1600	○	○							
275	デイサービスセンターブルミエ岡山	南区南	岡山市南区北浦100	086-267-2323	○	○							
276	デイサービスセンター海の見える家	南区南	岡山市南区小串1195-5	086-269-9333									
277	デイサービスあゆむ 和の家	南区南	岡山市南区福田98-4	086-261-6670									
278	デイサービス あゆむ福田の家	南区南	岡山市南区福田95-2	086-262-3208									
279	ほねつぎ介護デイサービス(岡山福田店)	南区南	岡山市南区福田227-9	086-250-9315	○								
280	南ふれあい デイサービスセンター	南区南	岡山市南区福田690-1	086-261-7039	○						○	○	
281	リファインデイサービスセンター岡南	南区南	岡山市南区福成2-3-6	086-902-1188									
282	デイサービス どんちえ	南区南	岡山市南区浦安南町73-16	086-265-5346	○								
283	愛光苑デイサービスセンター	南区南	岡山市南区浦安本町81-2	086-265-0877	○	○					○	○	○
284	デイサービス ふる里の家	南区南	岡山市南区浦安本町115-44	086-261-7607									
285	ほっとスペース デイサービスセンター	南区南	岡山市南区浦安本町210-1	086-263-9205	○	○					○	○	○
286	アミューズ富永デイサービスえんじゅ	南区南	岡山市南区福富西3-8-36	086-259-0667									
287	リハビリデイサービス美咲	南区南	岡山市南区福富西2-19-40	086-263-3535	○						○	○	
288	コープ デイサービス福浜	南区南	岡山市南区福富中2-8-7	086-902-0221									
289	デイサービスセンターうららか	南区南	岡山市南区福富東1-7-43	086-263-7000									
290	健りハビリティデイサービス	南区南	岡山市南区福富東2-36-15	086-250-7994									
291	デイサービスセンター天教の里	南区南	岡山市南区福浜町19-17	086-250-7788	○						○	○	
292	アイル岡南	南区南	岡山市南区三浜町1-8-17	086-250-2021	○						○	○	
293	ツクイ 岡山平福	南区南	岡山市南区平福1-12-31	086-902-1272									
294	デイサービスセンター音色	南区南	岡山市南区福吉町10-5	086-250-1718									
295	デイサービス くつろぎ処	南区南	岡山市南区築港ひかり町3-14	086-266-5879									
296	あけぼのクリニック デイサービスセンター	南区南	岡山市南区築港新町1-7-28	086-902-2211	○						○	○	
297	かとう内科並木通り診療所 デイサービスセンターなみき	南区南	岡山市南区並木町2-27-5	086-264-8855									
298	創心會リハビリ倶楽部築港	南区南	岡山市南区並木町1-1-41	086-262-2557	○						○	○	
298事業所					153事業所	72事業所	12事業所	53事業所	*****	54事業所	65事業所	65事業所	

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	1
事業所名	みなみがた荘デイサービスセンター
住所	〒700-0021 岡山市北区国体町3番12号
連絡先	086-252-2840
理念	1.利用者本位・笑顔で接し利用者と「共に生きる」 2.高齢者の自立を目指した援助 3.利用者が社会の一員としての地域連携
事業所HP	http://www.okasaisei-life.jp/
事業所のPR	市街地に位置し、交通の便に恵まれ、同一敷地内にある岡山済生会総合病院との連携により、保健・福祉・医療の一貫体制が整備されています。 デイサービスでは、利用者様が在宅生活を継続できるように健康管理を行い、楽しみながら参加できる作業やレクリエーションを提供しています。また、リハビリのほうも機能訓練指導員の指導の下、リハビリ機器を使用しながら現在の身体状態を維持できるようにプログラムを組んでおります。今現在当デイサービスは認知症加算・中重度者ケア体制加算を算定しており、要介護度3以上の方、認知症の方の受け入れを積極的にしております。認知症の方に対しては認知症介護実践者研修修了者を中心に認知面からアプローチをする体制も整っております。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 岡山市主催の研修会の参加回数 認知症高齢者の受け入れ人数 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	3
事業所名	おかやまこぼ デイサービス・オルガ
住所	岡山市北区奉還町一丁目7番7号 3F
連絡先	086-252-7721
理念	全身で「自信」「意欲」を感じられるスペースの提供。
事業所HP	http://okayama.coop/fukushi/
事業所のPR	デイサービス・オルガは明るく開放的なフィットネススペースを使い、短時間で集中して運動に取り組むことでご利用者自身の動作や筋力の改善に取り組むことはもちろんですが、何よりも「自信」「意欲」を取り戻していただく支援を行っています。理学療法士や柔道整復師の専門職員が杖や歩行器の使い方、出かける荷物の準備、歩く姿勢やバランス、落ちたものを拾う動作など何気ないことに着目して取り組み、バイタルの測定値記入、飲み物等は利用者ご本人にできることはしていただくようにしています。年に1度日帰り旅行も開催し、日頃の成果を実感してもらい「自信」と次の目標への「意欲」としていただいています。また歯科衛生士による口腔機能の訓練や指導も行い、身体を動かすことをあらゆる角度からサポートしています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 岡山市主催の研修会の参加回数 認知症高齢者の受け入れ人数 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	7
事業所名	医療法人 健朋会 デイサービスセンター大安寺
住所	〒700-0064 岡山市北区大安寺南町1-7-17-2
連絡先	086-255-0707
理念	私たちは、ご利用者様の立場に立った、思いやりと誠実な介護サービスの提供に努め、これを通じて地域社会に貢献いたします。
事業所HP	http://www.kenhoukai-sasaki-clinic.com/CCP012.html
事業所のPR	デイサービスセンター大安寺では、ご利用者様の身体機能の維持・向上とともに、QOLの向上(いきいきと豊かな人生を送っていただくこと)を目標に努めています。 身体機能の維持・向上については、マシンを使ったパワーリハビリから有酸素運動を利用した緩やかな運動まで、身体の状態に合わせて看護師がプログラムを計画・実施し、理学療法士が定期的にチェック・評価を行っています。また、工夫を凝らしたレクリエーションも楽しみながら体や頭を使うことで、ADLの改善、認知症予防に役立っています。 QOLの向上については、専門講師による絵手紙、書道、硬筆、音楽療法、気圧体操などの講座があり、自発的な活動を通じて意欲を高める取り組みをしています。また、季節の行事やお楽しみ会を多数開催し、笑顔あふれる毎日のお手伝いをしています。昨年からは休日外出行事を始め、ご家族の皆様にも参加していただき親交を深めました。このようなデイの日常を綴ったブログを毎日更新しており、遠方にお住いのご家族にも日々の様子が分かって安心できると好評です。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 岡山市主催の研修会の参加回数 認知症高齢者の受け入れ人数 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	8
事業所名	医療法人社団 岡山純心会 デイサービスやさか
住所	岡山市北区矢張東町3-12
連絡先	086-256-2440
理念	信頼される医療、想いと優しさの伝わるケア、私たちはそれを目指します
事業所HP	www.okayama-junshinkai.co.jp
事業所のPR	岡山純心会の関連施設と連携を図りながら、より良いサービスの提供に努めています。民家を改修した定員が10名の小規模のデイサービスで、旧山陽道が通る閑静な地域に立地しています。 健康に在宅生活を継続していただく支援を行うことを目標にして、楽しく生き生きと過ごしていただけるようプログラムを考え活動・運動などを無理なく行っています。中庭にある畑では季節の野菜を育てたり、おやつ作りなども積極的に行っています。夏祭りやクリスマス会、春・秋の日帰りバス旅行などの行事にはご家族様のご参加もいただいています。機能訓練は理学療法士・作業療法士・言語聴覚士により行っています。 家庭的な雰囲気の中で安心して楽しく心豊かな時間を過ごしていただきたいと思います。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 岡山市主催の研修会の参加回数 認知症高齢者の受け入れ人数 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	16
事業所名	デイサービスセンターやわらぎ
住所	岡山市北区内山下1-7-17
連絡先	086-212-0661
理念	1. 報恩感謝 2. 人格の尊重 3. 信頼の構築
事業所HP	http://okazaki-k.co.jp/
事業所のPR	①生きがい作りへの支援…書道、クワイア、手芸など(定期開催) ②趣味活動や機能訓練の成果…文化祭、ミニ運動会(年1回) ③季節行事(年間行事)…初詣、花見、夏祭り、喫茶(食事)を楽しむ等 ④ボランティアによるお楽しみ会…しの笛演奏、お抹茶の会(月1回開催) ⑤癒し…鍼灸マッサージ士やエステティシャンによるマッサージ(毎週) ⑥安全な送迎…タクシー業者に委託
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



朝の「肩凝り予防」ビデオ体操風景

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	21
事業所名	株式会社 アル・ケア デイサービスセンターアルフィック十日市
住所	岡山市北区十日市西町11-6
連絡先	086-233-7533
理念	アルフィックコンセプトの実現 ・質の高いリハビリテーションと心に寄り添ったおもてなしの追求 ・笑顔と活気あふれるアルフィックづくり ・お客様に自律と喜びを提供する 「考え」「実現」する風土 ・共通の目標、方針にみんなを取り組む ・地域の貢献 ・地域のナンバーワンを目指す ・結果にこだわり「信頼」を得る
事業所HP	http://www.rcare.jp
事業所のPR	アルフィック十日市では、リハビリ特化型デイサービスとして様々な疾病、障害をふまえた上で、お一人ずつの特性にあわせたリハビリプログラムで、ご自宅での生活をより安心かつ安全に過ごせる様にお手伝いをさせて頂いています。 ADLやIADLの向上はもとより自立支援を目的とし本人様やご家族様のニーズに寄り添ったプログラムの提案・実施を行っています。その中でご家族やケアマネージャーなどアルフィックでの取り組みがわかるように写真に取得担当者会議や居宅訪問時などに見て頂くようにしています。音成ご自宅では見せられない一面が出てくるように家でこんなに笑わないですよ。「アルフィックではこんなに頑張っているんですね。」にんまりハッピーな笑顔、などの声を聞いています。また、3か月に1回は歩行スピードや、筋肉量などがどう変化したのかが目で実感できる独自プログラム「DRC」も継続して行っています。「できた」「できる」「している」に変わっていくように今後も笑顔あふれる自立支援に取り組んでいきます。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	24
事業所名	佐藤医院デイサービスセンター
住所	岡山市北区旭町15
連絡先	086-223-7746
理念	◎地域に根差し、地域に貢献する医療機関になる ◎地域住民の健康と幸せを守る ◎自宅で人生が全うできることを全力で支える ◎教育活動を通して社会に貢献する
事業所HP	http://www.satoclinic.or.jp/
事業所のPR	要介護状態等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限りその居室において、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、さらには利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持ならびにご家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護、その他の必要な援助を行います。 看護師や介護福祉士、柔道整復師などの専門スタッフが利用者一人一人の利用ニーズに丁寧に対応し、在宅生活のサポートを行っています。 機能訓練や入浴サービスでは利用者様の残存機能を最大限に活かし、自立支援に向けた取り組みを行っています。また、認知症の利用者様の受け入れも積極的に取り組んでいます。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	25
事業所名	あさひ園 通所部
住所	〒700-0865 岡山市北区旭本町6-20
連絡先	(086)225-1171
理念	あさひ園はお約束します。私たちは、皆様の自主性・自立性を出るだけ尊重し、いつでも人間らしく生きていただく為に、最大限のご支援をさせて頂いております
事業所HP	http://okayama-asahien.or.jp/
事業所のPR	あさひ園デイサービスは、街中にある、特養併設型のデイサービスです。3階がデイサービスになっている為、景観も抜群です。また、幼・小中高校も近隣にある為、お互いの交流もなっています。 ■役員日も参集しています(正月3日のみ休み) ■家庭風呂・大浴槽・機械浴完備 ■食事について、冷凍食品は一切使用していません(同一施設内での、管理栄養士による手作り) ■体操・リハビリを兼ねたクイズ・クイズ・音楽療法・絵手紙・習字・行事等行っています ■看護師勤務の為、経営栄養者や医療依存度の高い方でも、受け入れ可能 ■あん摩マッサージ指圧師による、リラクゼーション・リハビリを行っています ■特養併設の為、ショートステイや入所をお考えの方には、デイサービスで雰囲気慣れていただく、ショートステイも落ち着いて生活が出来るメリットがあります(特に認知症の方) ■平均年齢77歳 継続率年間平均12.5%を有しながらも、働きやすい職場です ■認知症介護実践者及びリダー研修修了者5名あり、認知症対応も可能。その他、社会福祉士・介護支援専門員・内部ケアアセッサー・音楽療法士・介護福祉士を持ちながら、併用して様々な資格を持った職員が対応しています ■見学及び1日体験利用可能(食事代のみ必要)
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

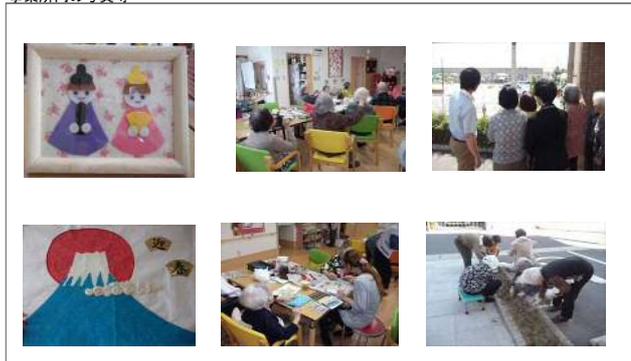
事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	28
事業所名	シティヴィラ大供デイサービスセンター
住所	岡山市北区大供本町715-1
連絡先	086-221-6520
理念	集う人の笑顔あふれる暮らしの場
事業所HP	http://www.ohkita
事業所のPR	シティヴィラ大供デイサービスセンターはサービス付き高齢者向け住宅に併設されている事業所です。明るく笑い声の多い雰囲気の中で利用者様と職員が一日楽しく過ごしています。 手芸や小物作りが好きな方が多く、創作活動に力を入れており、月に2~3個の作品を作られています。創作活動の他には生け花、お菓子作り、カラオケが人気となっており、利用者の皆さまも楽しみにされています。 身体機能の維持、向上を目的として歩行訓練や踏み台昇降運動といった一人ひとりの状態に合わせた機能訓練をおこなっています。また、全員でおこなう集団体操の他にも楽しく身体を動かす事を目的とした運動レクに取り組んでいます。運動レクではペットボトルボーリングや風船パレーが人気となっております。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 岡山市主催の研修会の参加回数 認知症高齢者の受け入れ人数 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	37
事業所名	ぬくもりの里あおえデイサービスセンター
住所	岡山市北区青江3丁目10-28
連絡先	(086) 221-8341
理念	その人の生命の生命の質・暮らしの質・人生の質を高めるため地域社会の貢献します。
事業所HP	http://www.nukumorinosato.jp/
事業所のPR	ぬくもりの里あおえデイサービスセンターは岡山市北区の特別養護老人ホームの1階に位置しています。 ・経営栄養、在宅酸素、気管切開、インシュリン等の医療的ケアの必要な利用者様を積極的に受け入れ、社会ニーズに対応しています。 ・身体機能プログラムとしては、集団体操・脳の活性化につながる頭の体操を、毎日メニューを変えて実施しています。また、常勤のPTが個別に、足こぎ車椅子を使った訓練や自宅のアセスメント・評価を行い、自宅での困り事を解決するためのメニューを作成、ご利用者様に合わせて実施しています。 ・施設内介護職ラダー研修、キャリア段位制度、認知症介護実践研修へ参加する事を通して基礎介護力を向上させ重度要介護者、認知症高齢者の支援に当たっています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 岡山市主催の研修会の参加回数 認知症高齢者の受け入れ人数 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	34
事業所名	デイサービスセンターおくだ
住所	〒700-0932 岡山市北区奥本町13-8
連絡先	☎ (086)223-5588 FAX (086)223-5560
理念	ともに歩み考える事で社会的孤立を防ぎ、地域に開かれた介護施設を目指します。
事業所HP	
事業所のPR	デイサービスセンターおくだでは、ご利用者様に「利用してよかった」「楽しかった」と思っていたり、サービス提供が出来るように努力しています。時には、歌ったり、踊ったり、皆様に笑顔で楽しんでいただけるよう、精一杯ご支援させていただきます。日々のプログラムには、機能訓練の他に、朝の体操、毎月変わる今月の体操、脳の活性化を促す頭脳プリントを実施し、ご利用者様が自主的にやりたいと思っていたり、創意工夫を心がけております。また、午後からは手芸活動に力を入れており、季節ごとの作品作りや塗り絵、縫い物の他、当事業所スタッフが行う絵画教室や習字教室、健康教室などのご利用者様を対象とした勉強会を毎月行っています。皆様の笑顔を心待ちにしています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 岡山市主催の研修会の参加回数 認知症高齢者の受け入れ人数 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	42
事業所名	デイホーム縁
住所	岡山市北区平田125-105
連絡先	TEL 086-238-1100 FAX 086-238-1300
理念	縁に感謝
事業所HP	
事業所のPR	・家庭的雰囲気の中でご利用して頂けるよう、定員10名前後。また、栄養改善にも力を入れ、調理師が施設内で、昼食・おやつ・持ち帰り弁当の調理を行っています。 ・メンタルケア心理士がデイサービスに在籍し、併設の居宅介護支援事業所(啓 生活相談所)には、社会福祉士を基礎資格とした介護支援専門員在籍、生活の不安を包括的に解消しているよう努めています。 ・認知症や生活機能維持改善に向け、水曜日には機能訓練指導員を2名配置(看護師・柔道整復師)、グループ又は個別でのプログラムを実施。趣味活動を楽しく継続して取り組めるよう、他職で包括的支援を行っています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 岡山市主催の研修会の参加回数 認知症高齢者の受け入れ人数 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	49										
事業所名	ニチケアセンター岡山南										
住所	岡山市北区下中野324-118										
連絡先	086-805-3301										
理念	私たちは誠意を以て社会参加の促進とし、社会の社会的使命を弁え、誇りを持って行動し、若々しい情熱で限りなく未来への可能性に挑戦します。そして社会の発展を通して豊かな人間生活の向上に貢献します。										
事業所HP	http://www.nichiagakkan.co.jp										
事業所のPR	ニチケアセンター岡山南は大元駅近くにあり、通所介護の他に、居宅介護支援・訪問介護・訪問入浴・訪問看護を併設しており、各サービスが連携を行いながらお客様の在宅生活を支援出来る体制を整えています。土日・祝日も含め365日利用できます。セラピー犬の「みなみ」がいますので、大好きの方には触れ合い等のプログラムも用意しています。入浴は、機械浴槽も完備しています。冬場も寒くないように床暖房、パネルヒーターを2台設置しております。看護師がおり、経営栄養、創傷処置、インシュリン投与援助など医療行為が必要な方、中～重度の介護量が必要な方でも安心してご利用して頂けます。体操ではレッドコードやセラバンドを使用し、トータル的な機能の向上を目指して行っています										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況	○	岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況	○										
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

番号	52										
事業所名	風の里 リハビリテーション畑 岡山中央										
住所	岡山市北区今7丁目18-29										
連絡先	086-242-3711										
理念	私たち風の里は、最期まで家で生きる社会の実現のため、心身機能の維持向上、活動の維持向上、社会参加の促進に努めます。										
事業所HP	http://rehabilitay.com/facility/okayama-chuo.shtml										
事業所のPR	風の里リハビリテーション畑では、一律的、画一的、一方方向的メニュー(全員が同じパワーリハビリや集団体操)を行ったり、ゲームや合唱などは一切行っていません。利用者様の目標に応じたリハビリプログラムや社会資源の提案など、目標を達成できるような理学療法士・看護師・相談員・介護士が連携しサポートしていきます。 単に歩行スピードが向上した。筋力が向上した。片足立ちの時間が延長した。といった機能の向上ではなく、どこかに行けるようになり、友人と会うことが出来た。洗い物と配膳を任せられるようになった。 などの目標の達成、失っていた役割や楽しみの再獲得を目指すためのお手伝いをさせていただきます。質の高い各専門職がデイサービスでの運動以外のホームプログラムや社会資源の提案など豊富なメニューでトータル的にアプローチして参ります。										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況	○	岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況	○										
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

事業所内の写真等



事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	53										
事業所名	創心会リハビリ倶楽部今										
住所	岡山市北区今3丁目25-22										
連絡先	086-242-4100										
理念	私たちは心に沿った本物ケアで心豊かな生活を創造します。										
事業所HP	http://www.soushinkai.com/										
事業所のPR	住み慣れた地域でその人らしく生きるために、様々なメニューを用意し、個人個人にあったメニューを提供させて頂いています。身体面では、基礎的な筋力、体力をつけるメニューが複数あり、疾患に応じて行なっております。筋力・体力の向上だけでは動作が伴わないため、歩行訓練などの日常生活で必要となる動作訓練も行なっています。また、ご自宅での転倒や交通事故の防止、認知機能の維持・向上を目的として、ビジョントレーニングや脳活性化トレーニングも提供しています。また、生活が訓練だけではなく、豊かになるよう趣味創作活動の取り組みも実施しています。家事ができていくようになった方がスタッフと一緒に調理を行ったり、フリースタイルや絵手紙などの教室も行なっています。ご利用者様が先生となって同じ趣味仲間を見つけた、新たな趣味にチャレンジする方もおられます。見学も随時承っております。お気軽にご連絡ください。										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況	○	岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況	○										
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

番号	67										
事業所名	なつかわの郷デイサービスセンター										
住所	岡山市北区中瀬川289-1										
連絡先	086-293-6197										
理念	『感謝に満ち溢れた、心あたたまるサービスを目指します』										
事業所HP	http://natsukawa.keizlab.net/										
事業所のPR	歩行や排泄動作など日常生活場面における様々な問題を解決するためのオリジナル体操(なつか体操)を、リハビリテーションの概念を基本とした日替わりの体操メニューとして提案させて頂いております。また、リハビリテーション栄養の概念に基づく筋力増強プログラム(なつかハ)を、評価実施の上、必要な方々に対し提案させて頂いております。 認知症を持たれた方や認知症予防の観点から、適切なサービスが行えるよう、各専門職が地方の勉強会(研修会)にコンスタントに参加し現場に持ち寄るなど、日々切磋琢磨しながら職員一丸となり従事しております。また、キャリア段位制度(アセッサー)に基づくノウハウを取り入れ、介護実践のみならずリハビリテーションや看護にも役立てられるよう取り組んでおります。 歴史の浅い当事業所ですが、発展途上段階と捉え、地域の皆様の支えとなれるよう、邁進してまいります。										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況	○	岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況	○										
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

事業所内の写真等



事業所内の写真等 仲間たち(上)とデイサービスセンター全景(下)



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

アウトカム評価
上位事業所

番号	69	
事業所名	デイサービスセンターエルム掘川かりん棟	
住所	岡山市北区掘川1827番地	
連絡先	086-292-0300	
理念	・私たちは、お一人おひとりに合ったサービスを、笑顔を持って提供いたします。 ・私たちは、現状に満足する事無く積極性を持って常にサービスの質の向上を探究し続けます。 ・私たちは、温もりのあるコミュニティ作りを目指し地域に貢献します。	
事業所HP	http://www.life-create.org	
事業所のPR	平成25年8月にオープンした今年で3年目の新しい施設です。南欧風プロバンス調の3階建ての1階にあり、2・3階はサービス付高齢者住宅となっています。365日年中無休で営業しており、年末年始にもご利用者様の多様なニーズにお応えする事が出来ました。看護師や作業療法士、歯科衛生等の専門スタッフも多く配置し、機能訓練や個別リハビリにも力を入れています。4種類のマシンや、ウッドデッキから続く中庭は、かりんを始め季節を感じられる木々や花々、噴水等があり、散歩や憩いの場として、ご利用者様に喜ばれています。またボランティアや職場体験なども積極的に受け入れています。看板犬としてコーギーも飼っており、施設内外の方々からも大変親しまれています。生け花や陶芸、絵手紙、書道、大正琴等の教室も充実しています。毎月1回のスタッフ総出演のお楽しみ会は、仮装(女装?)あり、歌謡ありと、大変な盛り上がりで楽しんで頂いています。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



番号	75	
事業所名	デイサービス 笠井の里	
住所	岡山市北区畑船117	
連絡先	電話/FAX 086-228-0725	
理念	介護を通じて地域社会に貢献する	
事業所HP	http://www.tougou-inyou-bc.co.jp	
事業所のPR	標高350メートルの笠井山の山頂付近で、市内が一望できる絶景の場所にあります。施設の周りには田畑、山があり、農村体験型デイサービスです。施設内には介護予防専用のトレーニングマシンも設置しております。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	80	
事業所名	北ふれあいデイサービスセンター	
住所	岡山市北区谷万成二丁目6-33	
連絡先	086-251-6502	
理念	魅力的なふれあい公社の創造	
事業所HP	http://www.okayama-fureai.or.jp/	
事業所のPR	私たちの事業所は北ふれあいセンターの中にあります。保健センター、福祉事務所や地域包括支援センターもあり、それぞれの機関との連携も取りやすい環境です。理学療法士も在籍しており、個々のご利用者に適した運動や安楽に日常生活を送るための動作練習、福祉用具活用の提案等も行っています。身体機能の改善のための運動にも力を入れていますが、講座活動にも力を入れており、ご利用者様の趣味活動や役割作り役に役立てられるよう支援しています。またレクリエーションの一つとしてカラオケも行っています。 ・講座活動 書道、絵手紙、パソコン等講師の方に指導して頂き楽しめる講座活動を行っています。 ・機能訓練 定期的に作業療法士が生活機能動作練習等を提供し、在宅生活をバックアップします。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



番号	82	
事業所名	つしまデイサービスセンター	
住所	〒700-0080 岡山市北区津島福居1-2-15	
連絡先	086-254-0184	
理念	高齢者の安心できる施設として、またご家族、近隣住民にも開放された施設を目指す。	
事業所HP	http://www.oozorakai.com/tsushima_clinic_dsc/index.html	
事業所のPR	～笑門来福～ 笑う門には福来たるの通り、笑うと免疫力も上がり、代謝もよくなります。つしまデイサービスセンターでは、一日に一度は大きな声で笑って頂くことを目標に、スタッフも楽しみながら利用者の方々と一緒に一日を過ごしています。そういった目標を基に、レクリエーション、音楽療法、手工芸活動などのプログラムを通じて、身体も心も元気になっていただく、そのような明るいデイサービスになるよう、心がけていきます。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年8月、新築移転しました。

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

アウトカム評価
上位事業所

番号	86										
事業所名	デイサービスセンター藤ヶ嶋										
住所	岡山市北区菅野3399-11										
連絡先	086-294-6688										
理念	個々の歩みを尊重し、地域に根ざし安心して信頼できるサービスの提供										
事業所HP	http://www.resparie.jp/days.html										
事業所のPR	<p>きめ細やかなサービス実現の為、少人数体制を採用しています。</p> <p>機能訓練…… 柔道整復師の指導により集団・個人の体調に合わせた訓練に力を入れています。体のバランス力維持改善の為ラジオ体操第1、第2岡山市民体操も取り入れています。</p> <p>レクリエーション……全てを機能訓練の一環と捉え、全職員で知恵を出し合い活動を支えます。特に手作業中心の壁面制作は協同制作なので完成度や満足度が高まります。敷地内の庭園散策は歩行訓練として行い、季節感の共有や気分転換にも繋がります。</p> <p>認知症対応……少人数制なので職員が穏やかに落ち着いた声で対応します。様々な脳トレーニングやゲームなどをして活性化に努めています。スキルアップの為研修への参加も心掛けます。</p> <p>以上利用者様の日常生活を全職員で心から応援しています。</p>										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況		岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況											
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

番号	88										
事業所名	津高寮デイサービスセンター										
住所	岡山市北区津高436-1										
連絡先	086-253-2500										
理念	寿恵会は個人の尊厳という立場に立って、ご利用者への介護サービス向上に努め地域に愛され信頼される法人を目指します。										
事業所HP	http://www.tsudakaryou.jp/										
事業所のPR	<p>1年を通して色々な行事を楽しんでいただけます。選べるおやつも好評です。施設外研修以外にDS単独で年間6回の施設内研修を実施しています。集団レクでは回想法、音楽療法、ゲーム等を取り入れ認知症予防に努めています。また、クロスワード、数独、パズルなどの脳トレも個々で実施しています。</p>										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況		岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況											
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

事業所内の写真等



事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	94										
事業所名	株式会社 アール・ケア デイサービスセンター アルフィック尾上										
住所	〒701-1212 岡山市北区尾上356-1										
連絡先	TEL:086-286-0533 Fax:086-286-0277										
理念	<p>■アール・ケアブランドの確立 信頼される専門家庭用 日本の介護事業の発展と創造 社会に貢献し、誇りをもてる企業づくり</p> <p>■豊かな人間関係づくり 社会人として企業人として共に育つ 心はいつもベストコンディション 夢に叶えたい関係づくり</p> <p>■大きな/あこがれへの参加 夢をもって働き 夢をもって生きる 人生を謳歌し 幸せになる</p>										
事業所HP	http://www.rcare.jp/										
事業所のPR	<p>お客様の、ご自宅で困っていることや、お身体の良くしたいところを、リハビリ、看護、介護の専門職がご相談をお受けします。お客様個別のリハビリプログラムを提案させて頂き、目標達成に向けて一緒に取組んでいきます。お客様を笑顔とおもてなしの心でお迎えし、お身体だけでなく、心からも元気になって頂きます。</p> <p>お客様お一人おひとりのサービスの必要性に応じていく為に、専門職ごとにスキルアップ研修、ミーティングを行っています。生活に必要な身体機能の測定を定期的に行い、お身体の状態維持、向上を実感して頂ける評価システムをつくっています。</p> <p>お客様の健康でいたい元気になりたいと言うお気持ちや、質の高い専門的なサービスをもって支援します。</p>										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況		岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況											
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

番号	99										
事業所名	医療法人雄風会 アクティブデイサービスセンター										
住所	岡山市北区立田587										
連絡先	TEL(086)287-9889										
理念	生きがいの探究・生きがいの創造										
事業所HP	http://www.okavama-ikiki-shiwase.net/guide/y4.html#detail3										
事業所のPR	<p>アクティブデイサービスセンターは、岡山市の高松地区に位置し、介護老人保健施設「高松アクティブホーム」併設のデイサービスです。住み慣れた地域で、利用者一人一人の人格を尊重し、自立支援を行いながら「生きがい」を持ち生活を送ることができるサービス提供を行います。身体機能プログラムとしては、強力元氣はつらつ体操、エアロなど50種類以上の多彩なプログラムを用意しています。また、それに加え、作業療法士による、一人一人の身体の状態、生活の中で困っていることに合わせた機能訓練を提供し、自宅でも出来るような体操等も資料をお渡ししアドバイスさせて頂いています。クラブ活動でもゲーム、手芸、囲碁・将棋、書道、ドッグセラピーや、地域の方がボランティアとして来てくださり、詩吟や絵手紙、編み物なども教えて下さっています。アハハ体操、ふれあいレクリエーションなど、認知症予防の取り組みも同時に行っています。</p>										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況		岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況											
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

事業所内の写真等



事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	100
事業所名	デイサービスひなたぼっこ
住所	岡山市北区吉備津1897
連絡先	086-287-8652
理念	地域に根差し、地域から信頼され、自分の両親を安心して通わせたいと思えるようなデイサービスを目指します
事業所HP	
事業所のPR	緑に囲まれ自然豊かな場所にあり、居宅介護支援事業所が併設されています。民家を改装し、家庭的な雰囲気の中で利用者・スタッフ共に笑顔・笑声が絶えない楽しい時間を過ごしています。一人ひとりの気持ちに寄り添い、居宅において自立した生活を営むことが出来る様に機能訓練(生活リハビリ・手作業・脳トレ・季節の行事・料理教室・レク)を実施しています。毎年近隣の幼稚園・保育園の方達と交流を図り楽しい時間を持っています。ボランティアさんの方々を積極的に受け入れ趣味活動の輪を広げて地域の方々との交流を大切にしています。職員は外部研修にも積極的に参加し、質の高いサービスを提供出来る様に動めています
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	115
事業所名	玉松園デイサービスセンター
住所	〒709-2133 岡山市北区御津金川123番地
連絡先	TEL 086-724-0058 Fax 086-724-0059
理念	1 日常生活に必要な世話及び機能訓練 2 社会的孤立の解消と精神的な負担の軽減 3 利用者の健康管理
事業所HP	http://www.okayamasaiseikai.or.jp/facilities/tamamatu/
事業所のPR	玉松園デイサービスセンターは、岡山市近郊の自然あふれる環境に位置しています。私たちは利用者の方のその人らしい生活を大切に、穏やかで安心感にあふれる充実した生活を送ることが出来るようサポートしています。体操、レクリエーション、ゲーム等による運動や機能訓練、健康管理を行っています。文、ちぎり絵、絵手紙、裁縫作業等の趣味活動や創作活動、週に音楽クラブ(音楽療法)、書道クラブ、手芸クラブ、絵画クラブ、フクロワレーンメントクラブの活動では、日常生活能力の向上を目指し日々取り組んでいます。喫茶会に参加して余暇活動も含め、心身ともにリフレッシュできるように多彩なメニューにより楽しみや生きがいづくりにつながる支援をしています。認知症高齢者への対応も日常生活の楽しみや喜び、感動につながるためにその人にあった個性が表現できるように題材を提供しています。職員研修では内部研修、外部研修とも機会を確保して自己研鑽し実践、評価を行い利用者様から多くの学びが得られています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	109
事業所名	憩いの丘 デイサービスセンター
住所	岡山市北区日近1807
連絡先	086-295-1155
理念	あらゆる人々に手をさしのべる濟生の心でまことの医療奉仕につとめます まごころやさしさ 利用者の意思を尊重した自立援助 地域福祉との連携
事業所HP	http://www.okayamasaiseikai.or.jp/facilities/ikoinooka/
事業所のPR	憩いの丘 デイサービスセンターは岡山市郊外の閑静で自然豊かな場所に位置し、四季折々の季節の移り変わりを楽しむことができ、高齢者憩いの場として最適な環境にあります。ご利用者様の意思を尊重し、「まごころやさしさ」をもって接し、安心と信頼のあるサービスの提供で自立援助を行うことを運営方針としています。在宅生活のために個別機能訓練や趣味活動、他者との交流に重点を置き、地域の祭りや行事にも積極的に参加して地域との交流・連携を密にするるとともに地域福祉に貢献して行きます。職員は、年間を通して多数研修に参加し、お互いに切磋琢磨しながら自己研鑽し、チームワークを大切にしています。高齢者の方へ尊敬の念を持ってサービスを提供し、選んでいただける施設となれるよう努力していきます。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	118
事業所名	御津ふれあいデイサービスセンター
住所	〒709-2133 岡山市北区御津金川449 御津保健福祉ステーション2階
連絡先	TEL 086-724-1519 FAX086-724-1852
理念	「魅力的なふれあい公社の創造」
事業所HP	http://www.okayama-fureai.or.jp/
事業所のPR	○各関係機関との連携 同建物内に岡山市立金川病院、地域包括支援センター、訪問介護、居宅介護支援事業所が併設されており、医療・介護の連携が図りやすいのが特徴です。 ○質の高いサービス提供 利用定員24名に対し、常勤7名、非常勤6名の職員を配置(看護師4名、社会福祉士2名、介護福祉士7名)と有資格者が多く質の高いサービス提供を目指しています。 ○自立への助長 講師を招き、陶芸・書道・音楽療法・絵手紙等の講座を実施、趣味活動を通じて作品を完成させる喜びから心身の活性化を図り、より自立した在宅生活が送れるよう支援します。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	120
事業所名	デイサービスセンターうかい
住所	岡山市北区御津紙工1410番地
連絡先	(086)726-0331
理念	1. 社会・地域に貢献し信頼性の高い事業所をめざします。 2. 自ら考え、共に生きる幸せの実現をめざします。
事業所HP	http://www9.tiki.ne.jp/~ukaj/
事業所のPR	岡山市北区にあるデイサービスセンターうかいです。当施設は、ご利用者が様々な活動に参加していただけるデイサービスです。 ●お花見や流しそめんなど、季節の行事を積極的に取り入れています。また全体談話（「今日は何の日」や雑学等の紹介）を毎日行い、ご利用者の知的好奇心を促したり、回想法による認知機能の改善を図っています。 ●看護師、理学療法士を中心に、個々の状態に応じたりハビリを実施しています。ペット ホトルを使った体操など、楽しんでリハビリに取り組んで頂けるような工夫を行っています。 ●職種や経験に応じた外部研修に積極的に参加しています。また介護技術、接遇技術 向上のための内部研修を行い、職員の能力向上に努めています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	125	アウトカム評価 上位事業所
事業所名	デイサービス ケアビレッジたけべ	
住所	岡山市北区建部町建部上326-1	
連絡先	086-722-0070	
理念	地域に密着した医療と介護サービスを提供し、地域の健康増進に努める。	
事業所HP		
事業所のPR	デイサービス ケアビレッジたけべは、同敷地内にクリニック・サービス付高齢者向け住宅・小規模多機能型居宅介護事業所・居宅介護支援事業所が併設されています。地域の方々の交流を基本姿勢として、さまざまなニーズに応えていける事業所となっています。職員が利用者と話しながらアロマオイルでのハンドマッサージや低周波治療器【ドマー】を利用した看護師による個別リハビリは足の疲れがとれると大好評です。タオル体操や足のリハビリ体操・岡山市民体操なども積極的に取り入れています。認知力低下の予防ともなる、季節ごとの作品作りは家族に持って帰ってあげることが目標となっている方もおられ毎月の作品を楽しみにされています。また、月に1回のカンファレンスでは利用者様への対応や事例検討を行うことで、職員間の共通認識が持つことができます。施設の事故対策委員・拘束廃止委員となっており、法人での全体会では併設クリニックの医師や薬剤師が講師となり研修を行うことで、職員のスキルアップを目指します。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○	

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	127
事業所名	岡山ふれあいデイサービスセンター
住所	岡山市中区桑野715-2
連絡先	086-274-5153
理念	魅力的なふれあい公社の創造
事業所HP	http://www.okayama-fureai.or.jp/sitetop1/kousha_top/zaikaku/tsushokajigo.html
事業所のPR	◆岡山ふれあい公社のデイサービスの1つで岡山ふれあいセンター内1階、桑野の湯がある通りに面したところにテイルームがあります。 ◆あっぱれ！桃太郎体操をベースにした集団体操・消車運動などの機能訓練・センター内の環境を生かした季節を感じながらの廊下歩行訓練により心身機能の維持&向上につなげています。 ◆職員は学習療法士1級の資格を持ち、楽習(学習)療法をはじめ、ダブルタスクを取り入れた体操、ぬり絵やパズルなど楽しく取り組んでいただける認知症予防に考慮したプログラムを行っています。 ◆(水)土)は介護予防を中心に取り組む半日デイサービスを行っています。 ◆小規模デイサービスの特徴を生かし、心のふれあいを大切に、無理なく身体を動かしながら在宅生活を継続できるよう私たちがお手伝いします。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	129
事業所名	デイサービスセンター べる
住所	岡山市中区桑野276-8
連絡先	086-276-1616
理念	快適な人間味のあふれる環境を備えた事業所、地域に根ざした事業所、職員1人1人がやりがいのあふれる事業所
事業所HP	http://harumi-kai.or.tv
事業所のPR	看護師が常駐しています。医療のことならまかせてください。市街地であり田畑が広がり、空気も綺麗で景観に優れています。野菜づくりなど、秋にはじゃがいも、さつまいもを育て楽しんでます。生活リハビリ(衣類の着脱、炊事補助、せんたくたみ、洗い物) 手作業(おきる、貼る、ぬる、切る、折る) 認知実践者、リーダー研修4名参加。 胃ろう、痰吸引資格取得1名参加。 笑顔で1日過ごせられますよう心がけています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



※下記URLに昨年度の個票がありますので、ご参考になさってください
<http://www.city.okayama.jp/contents/000217282.pdf>

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	142
事業所名	恵風荘デイサービスセンター
住所	703-8226 岡山市中区今谷770-1
連絡先	TEL(086)277-1977 Fax(086)277-1986
理念	一、明るい施設、開かれた施設 何時でも、どこでも、迅速に対応を 二、温かい心、温かい手で よりよい、看護・介護を
事業所HP	http://www.keifuukai.or.jp/
事業所のPR	恵風荘デイサービスセンターは利用者様が住みなれた地域で楽しみを持ち生き 活きと生活できる場としてサービスの提供を行っています。利用者様が先生に なつての教室を開催。教える喜びと出来た達成感でお互いに元氣になります。 認知症予防の為、回想法を取り入れた小グループのにこにこ会、健康相談を 行っています。地域の方との交流を大切にしています。 定員35名。 利用時間は半日コースから1日コースあり。 趣味活動(手工芸・囲碁・将棋・書道・生け花・クッキング・歌の会・回想法グル ープワーク・カラオケ・ゲーム・映画鑑賞等) リハビリ(各種マニキュア・ベット体操・集団体操・歩行訓練・個別・自主トレ) 入浴設備(機械浴・個浴・一般浴) 通信カラオケルーム完備!! 栄養士の献立による治療食・ソフト食・普通食メニューの選択制
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	143
事業所名	幸輝園デイサービスセンター
住所	岡山市中区乙多見147-1
連絡先	086-278-2323
理念	幸輝園は人間尊重の立場に立って、ご利用者の福祉向上に努め、地域に愛さ れ信頼される法人を目指します。
事業所HP	http://www.fukushi-koukikai.jp/
事業所のPR	幸輝園デイサービスセンターの特色は趣味活動が充実しています。習字や絵手 紙、手芸では編み物・刺し子・刺繍・生活に使える小物作り等、ご利用者のやり たい事・やってみたい気持ちを大切にサービスの提供を行っています。作品は秋 祭りのバザーへ出品出来ることでやりがいの一つになっています。他に散歩・昼 食の一品作りを取り組んでいます。散歩は生活上の段差になれるよう外を歩き、 個々のペース・距離に合わせて歩いています。一品作りは汁物等副食と一緒に手 作りしています。散歩・調理共に認知症の方も多く参加され、認知症ケア・予防に も力を入れています。又、地元ボランティアを毎週受け入れ、幼児から大人まで 幅広い年代の方が参加される地域交流会も実施し、地域のふれあいを大切に、 地域に求められるデイサービスセンターを目指し続けます。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	148	アウトカム評価 上位事業所
事業所名	デイサービスココファン高屋	
住所	岡山市中区高屋126	
連絡先	086-238-5660	
理念	私たち学研ココファングループはすべての人が心ゆたかに生きる事を願い今日 の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します。	
事業所HP		
事業所のPR	学研ココファンのデイサービスでは、基本プログラムとして「脳元気タイム」を導入 しています。「脳元気タイム」とは、学研と東北大学の共同研究を経て、統計的 にも実証された「脳活性」に効果のあるプログラムです。具体的には、 ゲーム系(ストラクチャー・サッカーチャレンジ・色輪投げ) 学習系(書写・塗り絵・そろばん・計算)を組み合わせて実施しています。 認知症の、薬物療法とは全く違う生活の中で実践していく脳健康法で、楽しみと して長く続けていくことが出来ます。宿題も提供させて頂いており、利用日以外に も脳活性を行うことが出来ます。 脳元気タイムに参加し、認知症の予防・物忘れの防止に取り組みませんか？	
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○	

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	157
事業所名	医療法人たかくふう会 デイサービス八幡の里
住所	岡山市中区高島新屋敷395-1
連絡先	(086)207-6102
理念	家庭的な暖かい雰囲気でご利用者様をお迎えし、お一人お一人に合わせた介護サービスを提供しま す。ご利用者様が楽しみを持ち、在宅生活が継続出来るように、お手伝いさせていただきます。
事業所HP	takufukai-group.or.jp/clinic.html
事業所のPR	デイサービス八幡の里は日祝も営業、夕食後までの延長サービスを行い、安心 して在宅生活を送ることが出来るようにサポートします。ご利用者様の笑顔が第 一にサービスを提供するとともに、役割を持ちご利用を生きがいにして頂けるデ イサービスを目指しています。日々のプログラムとして、身体機能維持・向上、他 者との交流を目的とした体操やレクリエーション、音楽療法、季節ごとの行事等 の集団プログラムの他、習字、切り絵、編み物、脳活ドリル、リラクゼーション、機 能訓練等の個別プログラムを実施しています。多様なプログラムをご用意し、ご 利用者様が自主的に選んで楽しむ事で認知症予防及び悪化防止に努めます。 また、お一人お一人の課題に対し迅速に対応することができるよう、毎日ミーテ ィングを実施しています。職員が互いに講師となる毎月の勉強会、外部の講師を 招いての研修にも積極的に参加し、知識を高める努力をしています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

アウトカム評価
上位事業所

番号	162
事業所名	デイサービスセンターアルフィック東川原
住所	〒703-8255 岡山県岡山市中区東川原160-1
連絡先	TEL 086-206-1550 FAX 086-206-1660
理念	■アル・ケアブランドの確立 信頼される専門集団 日本の介護事業の発展と創造 社会に貢献し 誇りをもてる企業づくり ■豊かな人間関係づくり 社会人として企業と共に育つ 心はいつもベストコンディション えては えてはされる関係づくり ■大きな「あこれ」への参加 夢をもって働き 夢をもって生きる 人生を謳歌し 幸せになる
事業所HP	http://www.rcare.jp/
事業所のPR	リハビリ特化型のデイサービスです。個々のご状態に合ったリハビリのプログラムをご提供させて頂いております。個別リハビリ・マシントレーニング・グループリハビリ・物理療法の実施をさせて頂く中で、お客様の目標達成に向けアプローチさせて頂いております。スタッフ個々の能力向上のため、積極的な研修の参加、アセッサ取得しスタッフ同士によるスキルアップが図れるよう取り組んでおります。ご利用時以外でも運動の機会が持てるよう、自宅でできる自主トレーニングの提案をさせて頂いております。定期的にお客様の状態変化の把握・維持改善ができるよう評価の実施を行い、在宅訪問・ケースカンファレンスを行うことでスタッフ全員が一人のお客様に対し、しっかりアプローチが行えるよう取り組んでおります。お客様・ご家族様より満足して頂けるサービス提供を目指しております。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	172
事業所名	NTTグループ ケアポート岡山
住所	岡山市中区湊264-8
連絡先	086-200-0055
理念	“笑えあひ共に暮る快活生活” 利用者の皆様とその家族及び介護スタッフが、同じ目標をもち、創造のこころ(精神)をもって共に心地よく、心が安らぐような快活な生活環境を作っていくこと。
事業所HP	http://www.telwel-west.co.jp/kaigo/area/okayama/index.html
事業所のPR	NTTグループケアポート岡山デイサービスセンターは、中区湊の閑静な住宅街にあるNTT西日本グループが運営する介護施設です。 安心して楽しく過ごせる我が家のような生活空間「安心・安全・信頼」をモットーに、真心と誠意を持ってサービスを提供いたします。 「元気モリクラブ」と称して、お一人お一人のニーズに合わせた運動のメニューを準備し、個別機能訓練に取り組んでいただいています。 また、いつでも美味しく食事を摂ることができるように口腔ケアにも力を入れ、歯科衛生士による口腔機能向上訓練も実施しています。 職員の育成については、年1~5回程度勤務時間内に外部研修に参加しスキルアップを図っています。特に今年度の主要な研修としては、「認知症介護実践研修」を2名修了しました。来年度以降も継続し、全職員のレベルアップを図り、ご利用者様へのサービスの向上に努めてまいります。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等
＜事業所内の風景＞



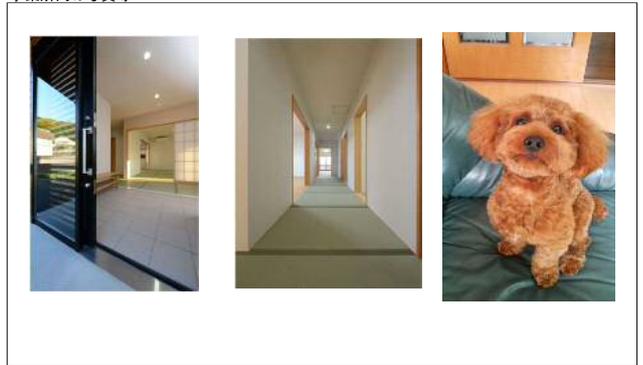
＜機能回復訓練の様子＞



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	166
事業所名	デイサービス福泊
住所	岡山市中区福泊263-1
連絡先	086-201-4133
理念	高齢者が住み慣れた地域で、楽しみをもって生活ができるように支援する
事業所HP	http://waraku-fjp/
事業所のPR	平成27年1月、岡山市中区円山にある曹源寺近郊の山裾の静かな環境に、全室畳敷で、高齢者の落ち着く、障子のある和風旅館のような佇まいのデイサービスを、新築し開設いたしました。 ・ドックセラピーとして、トイプードルのケンが、利用者様をお出迎えしたり、そばに寄り添っています。 ・生活リハビリ、回想法、音楽療法、脳トレ、アロマセラピー、季節の行事、ハンドマッサージ等、個々の利用者様に合わせた対応をしております。 ・年間計画を立てて外部講師による月1回のスタッフ教育、外部研修、資格取得にも積極的に参加しています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

アウトカム評価
上位事業所

番号	173
事業所名	デイサービス かりん
住所	岡山市中区湊420
連絡先	086-277-7004
理念	住み慣れた家、地域での生活を尊重し、ご家族ともども日常生活が快適に遅れるお手伝いをしたい。
事業所HP	
事業所のPR	デイサービスかりんは、中区湊、池の内近くにあります。 洋風の一軒家で、窓からは季節折々の木々や野鳥が見え、自然を感じながらゆっくりとした時間を過ごしています。 ご利用者とスタッフで大きなテーブルを囲み、一つの家族のように和気あいあいと過ごし、お一人お一人が主役になれるよう話題を提供しています。 機能訓練はフットマシーンやステップウェル等の運動機器の使用や、日常生活動作を主とした食器洗いや選択干しなど生活リハビリに重点を置いています。 介護度の高い方や認知症の方の受け入れもしており、少人数だからこそ、個々の能力を活かして楽しんで家庭で過ごすような時間を目標にしています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

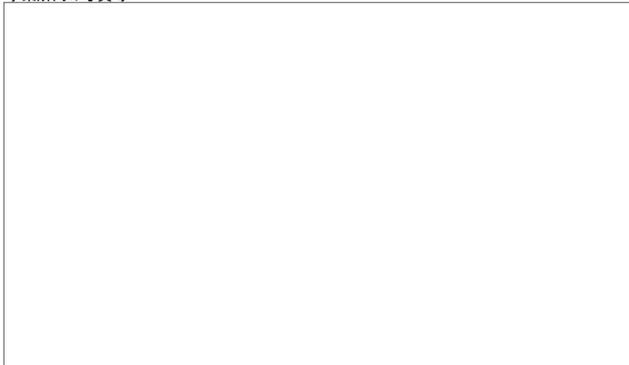
事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	175	
事業所名	一般財団法人 操風会 デイサービスセンター操風	
住所	岡山市中区奥市2-8	
連絡先	086-270-6201	
理念	安心して生命をゆだねられる施設。快適で人間味のある温かいてもなしが行える施設	
事業所HP	http://okayama-happy-life.jp	
事業所のPR	<p>デイサービスセンター操風は、市内中心部より東に位置する緑が多く、静かな環境にあり、サービス付き高齢者住宅(岡山ハッピーライフ操風)に併設しています。祝祭日のサービス提供、理学療法士・作業療法士による個々の目標にあった機能訓練の提供、介護福祉士による充実したケアの提供を行っています。レクリエーションやクラフト講座、コンサートなどのイベント開催にも力をいれています。機械浴も設置しており、要介護の高い方も安心してケアを受けることができます。食事は、利用者様の状態にあわせた細やかな設定や、嚥下食の提供も可能です。また、手作りおやつも好評いただいています。</p>	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

アウトカム評価
上位事業所

番号	176	
事業所名	社会福祉法人 松風会 デイサービスセンター・カドタ	
住所	岡山市中区門田屋敷4丁目5-13	
連絡先	(086)273-1123 FAX (086)-273-1314	
理念	心身ともに健やかに育成され、あらゆる分野の活動に参加する機会が得られるよう、環境、心身の状況に応じ、必要な福祉サービスを総合的に提供する。	
事業所HP	http://svoufuukai.jp/	
事業所のPR	<p>・高齢者の外出の機会を増やし、多彩なプログラムを用意し集団活動を行います。また個々の心身状況に応じ、コミュニケーションを図っています。 ・祝祭日も営業し、利用者ご家族の希望に添えるようにしています。(振替、追加利用も対応しています。) ・集団活動では、体操やゲーム、季節の行事、ボランティアさんとの交流など毎日手作りのレクリエーションを用意しています。空いた時間には、工作や手先を使う塗り絵、壁面作り、工作などの作業を提供し脳を活性化する取り組みをしています。 ・職員も外部研修や法人の研修会、また部署内勉強会を定期的に行い日々の介護サービスに活かせるようにしています。</p>	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	177	
事業所名	リハプライド岡山東	
住所	〒703-8267 岡山市中区山崎29-15	
連絡先	TEL 086-238-5662 FAX 086-238-5663	
理念	「人生の先輩にリハビリと誇りを」リハプライドはプライドメーカーです。	
事業所HP	http://www.rehapride.co.jp/okayamahigashi/	
事業所のPR	<p>当施設は半日型リハビリ特化型デイサービスです。酒井メディカル製の医療用マンシング台を揃え元気な掛け声とともに機能訓練(パワーリハビリテーション)を行っています。マンシング研修を修了した介護職員、生活相談員がフロアで皆様のトレーニングのサポートをさせて頂いております。マンシングの台間には多種多様な脳トレに自主的に取り組んで頂ける環境を整えております。各種研修にもスタッフが積極的に参加し、本部研修も豊富です。特に認知症と水分の関係については近年本部研修も多く、当フロアでは積極的に水分摂取を促しております。機能訓練の成果を確認出来る様、三か月ごとに体力測定を実施しております。</p>	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	179	
事業所名	デイサービスセンターアルフィック平井	
住所	岡山市中区平井5丁目8-46	
連絡先	TEL 086-238-5150 FAX 086-238-5152	
理念	<p>■アルファブランドの確立 信頼される専門機関 日本介護事業の発展と創造 社会に貢献し誇りのもてる企業づくり ■豊かな人間関係づくり 社会人として共に育つ 心はいつもベストコンディション 愛して愛される関係づくり ■大きな「あこがれ」への参加 夢をもって働き 夢をもって生きる 人生を謳歌し 幸せになる</p>	
事業所HP	http://www.rcare.jp/	
事業所のPR	<p>平成27年6月に開設したばかりの新しい事業所です。お客様のご自宅でお困りのことや在宅生活を元気に継続できるような専門的なサービスをもって支援致します。リハビリ特化型のデイサービスとして、お客様一人一人に合ったリハビリのプログラムをご提供させて頂いております。個別リハビリマシントレーニンググループ/リハビリ・物理療法等行なって頂く中で、お客様の目標達成に向けアプローチさせて頂いております。スタッフ個々の能力向上のため、積極的な研修の参加、スキルアップが図れるよう取り組んでおります。ご利用時以外でも運動の機会が持てるよう、自宅できる自主トレーニングの提案をさせて頂いております。定期的にお客様の状態変化の把握・維持改善ができるよう評価の実施を行い、在宅訪問・ケースカンファレンスを行うことでスタッフ全員が一人のお客様に対し、しっかりアプローチが行えるよう取り組んでおります。お客様・ご家族様より満足して頂けるサービス提供を目指します。</p>	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	182	
事業所名	デイサービス ファミリー	
住所	岡山県岡山市中区平井1丁目5-20	
連絡先	086-901-1001	
理念	ご利用者さまご家族さまに笑顔の絶えない快適な暮らしを過ごして頂く為、一人ひとりに寄り添ったお力添えをしていきます。	
事業所HP	http://familylifesupport.net/	
事業所のPR	職員の8割が介護福祉士取得者です。月1回その時に重要視される利用者の個別カンファレンスを開き、状況体調の把握、対応の見直し、援助方法の統一を図り、職員の問題に向き合う姿勢や対応力の強化に努めています。また早期に対応することで利用者さまお一人ずつに寄り添った援助を行っています。また認知症のご利用者さまに対しては学習訓練や脳トレ等の個別ケアは勿論のことコミュニケーションを大切にしており、他者や社会との孤立がないよう取り組んでいます。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

アウトカム評価
上位事業所

番号	189	
事業所名	会陽の里デイサービスセンター	
住所	岡山市東区久保205番地1号	
連絡先	086-944-2700	
理念	「魅力的なふれあい公社の創造」	
事業所HP	http://www.okayama-fureai.or.jp/	
事業所のPR	会陽の里デイサービスセンターは、西大寺会陽で有名な西大寺に位置し、自然に囲まれたデイサービスです。 ○祝祭日も開所しています。 ○ストレッチ体操・筋力体操、利用者様一人ひとりの身体状況に合わせた機能訓練を実施し、身体機能の低下防止や機能回復に努めています。 ○頭や身体を動かすレクリエーションや手先を使うクラフトを実施しています。いきがい作りや利用者様同士の社会交流の場を提供し、利用者様にとって居心地の良い場所となるよう職員一同心掛けています。 ○旬の食材を使った季節に応じた食事メニューや個々の嚥下状態に合わせた形態で食事を提供しています。 ○お問い合わせ・見学は、随時承っております。お気軽にご連絡ください。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	190	
事業所名	健生園デイサービスセンター	
住所	岡山市東区吉原231	
連絡先	086-944-2941	
理念	高齢者、障害者が健全で安らかな生活を保障され、かつ社会への平等で完全な参加の実現をめざします。	
事業所HP	http://www.chuo-fukushikai.jp/kensei/	
事業所のPR	健生園デイサービスセンターは、東区吉原にあります。開所以来26年間、地域のみならずと共に福祉活動に取り組んで参りました。当デイサービスでは、ゆったりとした時間を大切に、ご利用者お一人ひとりのペースに合わせた活動とチャレンジを職員が真心を込めてサポートしています。また、個々に合わせた利用回数や利用時間の変更などのご相談に柔軟に対応しています。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	193	
事業所名	西大寺ふれあいデイサービスセンター	
住所	岡山市東区西大寺中二丁目16-33	
連絡先	086-944-1809	
理念	「魅力的なふれあい公社の創造」	
事業所HP	http://www.okayama-fureai.or.jp/	
事業所のPR	西大寺ふれあいデイサービスセンターでは、利用者様の健康管理や個別機能訓練、頭や体を使ったレクリエーションを実施しています。また、季節に応じたクラフトや壁面飾りなど手先を使ったプログラムもあり、出来上がった作品は、誰もが目を引く素晴らしい作品になっています。その他入浴サービスも充実しており、パソコン・陶芸・ヨガ・絵手紙など、ニーズに合わせて、サービスを提供しております。これらのサービスにより、心身機能の向上や、社会的孤立感の解消ができ、一人ひとりが明るく元気に日常生活が送れることを目指してサポートをしています。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	195
事業所名	デイサービスセンターどんぐりハウス
住所	岡山市東区西大寺射越321番地
連絡先	086-942-8451
理念	■ご自宅での日々の暮らしの延長として過ごしていただきます。■一人ひとりの人生に寄り添い自由な思いで過ごしていただきます。■職員、ご利用者共に、仲良く、楽しく、安心して過ごしていただきます。
事業所HP	DL
事業所のPR	■10名定員の小さなデイサービスで、昔から手に馴染んだ裁縫や編み物など手芸を中心とした認知症ケアを行っています。みなさん集中して熱心に活動されており、欠席されるかたがほとんどいないのが自慢です。 ■職員は6名中、5名が常勤職員。認知症の方の日々の変化の気づきに細かく対応できていると考えています。 ■データ(28年2月):職員の有する資格(介護支援専門員3名、介護福祉士4名、准看護師1名、認知症介護リーダー研修2名、認知症介護実践者研修5名など)。平均介護度1.4、認知症高齢者日常生活自立度Ⅲa以上40%、平均利用人数5.7人/日、出席率97.6%、介護職員中の介護福祉士の割合62%。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	197
事業所名	さくら苑デイサービスセンターつくしんぼ
住所	岡山市東区西大寺浜253番地
連絡先	086-944-8210
理念	利用者の人権を尊重し、利用者本位のケアに努め、地域とともに地域に根付いた運営を進めます
事業所HP	tsukushinbo_day@yahoo.co.jp
事業所のPR	つくしんぼは日本三大奇祭「はだか祭り」で有名な西大寺にあります。食事はご利用者の状況に応じて形態を変えることが出来、選択食を取り入れています。ハイキングや鍋会など行事も多数行っています。リハビリは理学療法士を配置し、ホール内外の機器等を使用し、個別リハビリを行なっています。また、あん摩師も配置しあん摩・マッサージ・指圧を提供しています。常勤看護師が2名いますので、機能訓練にも対応するとともに、主治医との連携を図りながら、医療行為の必要な方(胃ろう・腹膜透析・在宅酸素・ストーマなど)の対応もできますのでご安心してご利用いただけます。認知症の方も落ち着いて過ごしていただけるように別室を用意したり、学習療法にも取り組んでいます。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	199
事業所名	タなぎデイサービスセンターもものはな
住所	〒704-8133 岡山市東区宿毛748-5
連絡先	TEL:086-946-2627 FAX:086-946-2625
理念	「BEST」(ベスト)→Backup(バックアップ)、自宅での生活が継続できる支援、Enjoy(エンジョイ):楽しむ場所、Smile(スマイル):笑顔が絶えない場所、Timeless(タイムレス):時間を忘れられる場所
事業所HP	http://www.yunagi.jp/
事業所のPR	・岡山市の東端、市内で一番早く!朝日を望める場所に立地しています* ・看護師2名、理学療法士(非常勤)を配置し、介護職は全員介護福祉士資格を保持しており、胃ろう、気管切開等の重度利用者様にも対応できる体制をとっており、大勢の方がご利用になっていらっしゃいます。 ・もものはな畑にて収穫した野菜を用いて、おでんパーティー、カレーパーティー、おやつ作り等のリハビリクッキングを行い、また、PT、NS、OW等が連携し、様々な視点から総合的なリハビリを提供し、在宅生活を継続できるよう支援しています。 ・個々の希望をうかがいながら、お誕生日外出や季節ごとにお花見、外食などの外出行事も企画し、日々の生活に彩りを添え、楽しんでいただいております。 また、完全ボランティアによる理髪サービスは、毎回好評を得ております。 ・楽しい事いっぱい、笑顔いっぱいのもものはなに、どうぞ皆様お越し下さい。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	204
事業所名	デイサービスセンターゆりかご
住所	岡山市東区升田606-1
連絡先	086-948-9818
理念	人とふれあい共に生きる
事業所HP	
事業所のPR	眼の前に広がる見島湾から小豆島を望み、周囲は田園の広がる風光明媚な場所に位置しています。現在は中区、東区の方に多くご利用いただいております。 ・独自サービス・ニーズがあるご利用者様に限定し、その方の健康状態に応じた持ち帰りの夕食を提供しています。 ・職員の体制やスキル・・・介護職員は介護福祉士資格取得者が多く、スキルアップのための研修や、資格取得のための支援を行っています。 ・認知症高齢者に向けた取組・・・職員は、研修等で知識を高めて、利用者各々のカンファレンスを通じて、情報を密に共有し、利用者の残存能力を生活の間で生かせる様に、サービスを提供しています。 ・利用者の状態像維持・改善に向けた取組・・・少人数事業所の利点を生かして、個々の状態に必要な機能訓練を、可能な限り個別に対応しています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	207	
事業所名	デイサービスセンター 奏	
住所	岡山市東区松新町206-1	
連絡先	086-237-1165	
理念	ご利用者様がより心地よい毎日をご過ごしていただくため、ホスピタリティを持ち一生懸命とくむ	
事業所HP	http://casa-cura.net	
事業所のPR	ご利用者様スタッフ共に笑顔が溢れる事業所です。ご利用者様の「やりたい」「楽しい」「嬉しい」を大切に、毎日の支援を心掛けています。 のどかな立地、広いフロア、明るい環境で居心地がよい事業所です。檜風呂に毎日温泉のもとを入れてついつい長湯したくなるそうです。また開設して2年目で、ご利用者様へのサービス・研修に励んでいます。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	208	
事業所名	デイサービスセンター西大寺中央	
住所	岡山市東区松新町28-1	
連絡先	086-942-6552	
理念	私たちは人に対する思いやりの心を持ち、その人らしさをモットーに日々の生活を支えます。ひとり一人の個性を大切に心を込めた支援をします。安全安心笑顔のある居場所作りに努めます。ご利用者様及びそのご家族様の自立した生活を尊重し、地域社会において安心して生活できるように援助します。	
事業所HP		
事業所のPR	私たちデイサービスセンター西大寺中央では、頭脳や手指を使い趣味活動に向けて意欲向上への取り組みや、毎月テーマを決め、季節を肌で感じる環境作りを通して、五感を刺激していく取り組みを行っています。また、職員間で情報を共有することで、サービスの偏りをなくし、利用者様のニーズに合わせたプログラムの捻出と実践へとつなげています。平成28年3月より、デイサービスの経営を医療法人誠誠会から有限会社西大寺メディコに移管しました。より良い介護サービスの提供と、職員が共に切磋琢磨し成長できる職場作りを目指していきます。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	210	
事業所名	特定非営利活動法人 デイサービスセンター おかやま ままかり苑	
住所	岡山市東区益野町754-1	
連絡先	086-942-1501	
理念	在宅で介護が必要な高齢者・障害者及びその他の支援を必要とする人々に対して、地域に根ざした助け合いに関する事業を行い、すべての人が暮らしに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的とする。	
事業所HP	無し	
事業所のPR	ご利用者様個々のニーズに合わせたサービスの提供を軸に、社会性の向上を目的としたお出かけや季節行事等の集団活動にも積極的に取り組むことで、楽しみながら心身を活性化できるよう支援しています。ご利用者様に必要な動作や身体能力の回復向上を図る為、潜在中の介助は必要最小限にとどめていきます。また、生涯現役を掲げ、幼稚でない本格的な学習・創作活動を通して知識や技能を深め、自尊心を高めることで、前向きに生きる力を引き出す。まさに「大人の学校」を目指しています。他にも、毎月地域内外から沢山のボランティアの方にお越しいただくことで、演芸等のお披露目の機会とするだけでなく、共に支えあう地域力を育む一助になればと考えています。	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	211		アウトカム評価 上位事業所
事業所名	プチアイル益野		
住所	岡山市東区益野町396-39		
連絡先	086-238-2130		
理念	"お客様の夢と共に"		
事業所HP	http://www.morenet.co.jp/illink_dayservice.html		
事業所のPR	岡山市東区に位置しますプチアイル益野です。こちらでは"お客様の夢"に日々勇気づけられ、またその夢が"職員の夢"となっています。お一人では形ににくい夢・心の奥底にある夢、その沢山の夢をご本人様はじめご家族様、他お客様、地域の方々と一緒に追いかけていけるようお手伝いできればと思っております。現在デイサービス内では、調理・裁縫・趣味活動等での生活リハビリに合わせ、マシントレーニング・障害物を置いての歩行訓練等、お一人お一人に合わせたリハビリメニューの提供をさせて頂いております。また、お客様が語られた夢(子供達に夢を・親に子供向き合える時間を)から始まった"ゆめひこうき・あやとり"をご近隣の幼・保育園へ寄付させて頂き交流させて頂いております。["生きる"をあきらめない]これがプチアイル益野のお客様と私たち職員との約束です。		
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○	
	岡山市主催の研修会の参加回数	○	
	認知症高齢者の受け入れ人数	○	
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○	

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	212										
事業所名	リハスタイル										
住所	岡山市中区中川町290-1										
連絡先	086-279-5912										
理念	リハビリを通じて、利用者様お一人お一人の笑顔をつくるスタイル										
事業所HP											
事業所のPR	リハスタイルの周りには、芥子山などの山々が見え、自然を身近に感じれる場所です。祝日も営業しており(お盆、年末年始を除く)、食事はカロリー計算し、入浴は個別です。リハビリは、マシントレーニング・ウォーターベッド・ドマー・ボディアクなどお一人お一人に合った個別機能訓練を提供させて頂いています。また月に1回体力測定をし、結果により個別機能訓練の見直しもします。少人数制なので、個別対応が出来、リハビリだけでなくアウトホームに楽しくを目標に日々、利用者様には笑顔で過ごさせて頂いております。										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況	○	岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況	○										
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	216										
事業所名	デイサービスセンターかなおか										
住所	岡山市東区金岡東町一丁目14-17										
連絡先	086-943-1300										
理念	わたくしたちは利用者が健全で安らかな生活を保障され、かつ社会への平等で完全な参加の実現をめざします。										
事業所HP	http://www.chuo-fukusikai.jp/										
事業所のPR	岡山市西大寺地区の吉井川沿いにあるサービス付高齢者住宅(シルバーライフかなおか)に併設のデイサービスです。午前中は集団活動、午後は個別活動を中心におひとりおひとりのしたいことを大切にその人の「やる気」「生きがい」「じぶんらしさ」を引き出す時間作りをしています。利用回数が3~4回の方が多く、いつ来ても同じような顔ぶれで友人宅来たような落ち着いた雰囲気です。入浴は個別と機械浴があります。おひとりごとに浴槽を洗いお湯を張り替えいつでも「一番風呂」です。トイレは車椅子専用やストマ対応があります。職員は8割が国家資格有資格者です。いつも明るく元気で「笑顔」と「元気」がうりのデイサービスです。										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況	○	岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況	○										
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

事業所内の写真等

サ高住共催敬老会にて 職員による「うらじ」



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	218	アウトカム評価 上位事業所									
事業所名	さっちゃん家デイサービスセンター										
住所	岡山市東区金田819番地										
連絡先	086-948-9788										
理念	わたくしたちは高齢者・障害者が健全で安らかな生活を保障され、かつ社会への平等で完全な参加の実現をめざします。										
事業所HP	http://www.chuo-fukusikai.jp/										
事業所のPR	さっちゃん家デイサービスセンターは岡山市東区に位置し、田んぼに囲まれたのどかな環境にあります。グループホームを併設しているため、認知症の方への支援がより充実しており、地域の方との交流・地域行事にも積極的に参加しています。また、ボランティアの協力もあり、多種多様な行事をおこなっています。希望に沿った楽しみの提供も行って、畑作業・太極拳・将棋・手作業・体操・料理・季節の外出などレクリエーションを通じて、生活をする上で心身機能の向上を目指しています。さっちゃん家ならではの環境・雰囲気です「その人がその人らしく」を大切にしています。お気軽にお立ち寄りください。										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況	○	岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況	○										
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	231										
事業所名	多聞荘デイサービスセンター										
住所	岡山市東区瀬戸町坂根792-14										
連絡先	086-953-5511										
理念	086-953-5511										
事業所HP	http://www.tensetsukai.or.jp										
事業所のPR	多聞荘デイサービスセンターでは、デイサービスの運営～運営のすべての時間・環境を機能訓練と捉えたサービスを提供しています。 ① 身体的な立つ・座る・起き上がる・歩くという基本動作や、食事・入浴・トイレなどの日常生活に必要な動作を自宅での生活行動に繋げます。 ② 認知症の利用者に対して、その人らしさを保持し、不穏状態やBPSD発症を助長しないケア、見守り、適切なコミュニケーション、残存機能の活用、得意な役割の発揮を促します。 ③ 医療的ケアに対しては、看護職員を配置して健康管理や服薬管理に力をかけています。体調の急変を事前に予測し予防措置を講じています。 ④ 社会性の維持として、デイサービス内での職員と利用者間および利用者間の円満な関係を構築することで、地域での社会性の維持に取り組んでいます。 ⑤ 機能訓練専門職を配置してアセスメントから目標・計画づくりを行い、計画の評価・見直し等を繰り返し実施しています。 今後も利用者と家族のニーズの充足を果たし、住み慣れた地域でできるだけ長く生活できるよう支援していきます。										
指標の達成状況	<table border="1"> <tr> <td>外部研修への参加状況</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>岡山市主催の研修会の参加回数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者の受け入れ人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数</td> <td>○</td> </tr> </table>	外部研修への参加状況	○	岡山市主催の研修会の参加回数	○	認知症高齢者の受け入れ人数	○	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○
外部研修への参加状況	○										
岡山市主催の研修会の参加回数	○										
認知症高齢者の受け入れ人数	○										
機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○										
介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○										

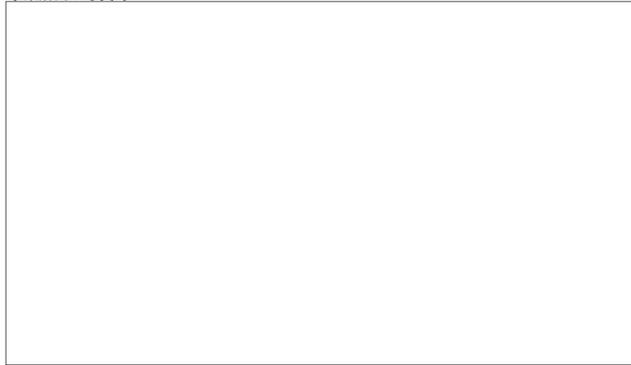
事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	238	
事業所名	公益財団法人 岡山市ふれあい公社 西ふれあいデイサービスセンター	
住所	岡山市南区妹尾880-1	
連絡先	086-281-9615	
理念	魅力的なふれあい公社の創造	
事業所HP	http://www.okayama-fureai.or.jp/	
事業所のPR	<p>○全職員が国家資格を取得している 定員30名に対し、常勤(8名)、非常勤(6名)の計14名の職員を配置しており、全員が国家資格(看護師、社会福祉士、介護福祉士)を有し、内部外部研修を受講するなど自己研鑽に励んでいます。特殊浴槽も設置しており、中重度の利用者への受け入れも可能です。</p> <p>○生きがいづくり 陶芸、絵手紙、書道、パソコン、水彩色えんぴつ、音楽療法などの講師を招き各種講座を実施することで、生きがいづくりを通じた心身の活性化や在宅生活の意欲向上につなげています。</p>	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

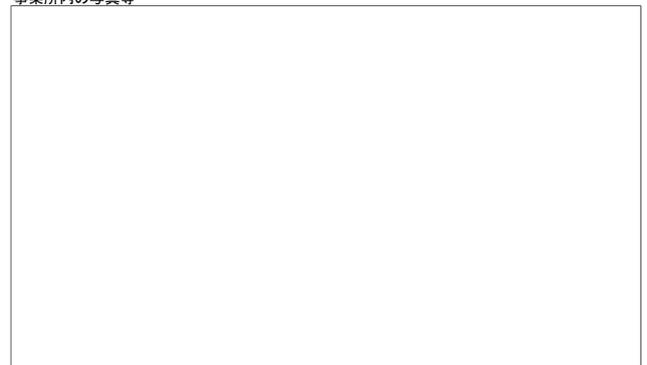
事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	239	
事業所名	春のひだまりデイサービスセンター	
住所	岡山市南区妹尾838-1	
連絡先	086-282-5090	
理念	自由、笑顔、家庭的なデイサービス	
事業所HP	http://www.maeda-shinyosho.com/dayservice.html	
事業所のPR	<p>岡山市南区妹尾のまだ診療所の敷地内にあるデイサービスです。体調不良の時は、すぐに受診でき安心です。スタッフ全員が介護福祉士かつ介護支援専門員ですので、介護経験と専門知識が豊富で、認知症介護実践者研修を修了しています。レクレーションは数独やまちがいさがし、クロスワードパズルを楽しんで脳の活性化に役立てています。明るい陽射しがあたるリビングで家庭的な雰囲気の中、会話がはずみ、心が癒され、おいしい料理を食べて元気になれる、そんなサービスを満喫できる場所、それが春のひだまりデイサービスセンターです。</p>	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	250	
事業所名	デイサービスみらい	
住所	岡山市南区彦崎2993番地2	
連絡先	086(362)2525	
理念	(法人理念)医療、保健、福祉を通じて、質の高い医療、ケアサービスを顧客に提供し、地域社会に貢献する役割を担う	
事業所HP	http://yumeno-sato.com	
事業所のPR	<p>デイサービスみらいは、サービス付き高齢者向け住宅併設型のデイサービスです。法人のモットー「住み慣れた地域に住み続ける」に従い、当事業所としても個別機能訓練に力を入れ、利用者様と一緒に目標に向かって取り組んでいます。20名定員のため顔なじみの関係が作りやすく、アットホームな雰囲気でも過ごして頂くことが出来ます。また、集団ならではのレクリエーションや季節の行事も大切に、自宅では経験できない楽しさも味わって頂きたいと考えています。 ＜主な活動内容＞手芸・クラフト制作・卓球・カラオケ・ボイストレーニング・ハンドマッサージ・大正琴、フラワーアレンジメントなど。</p>	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

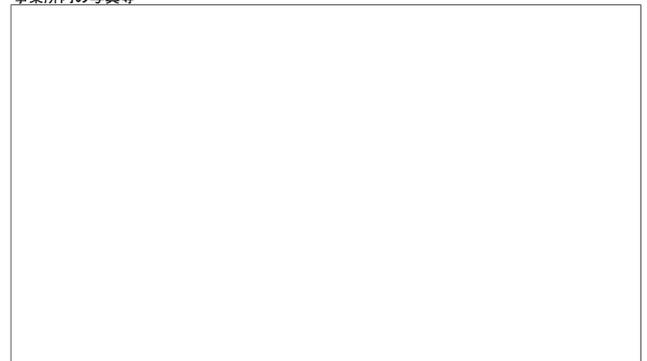
事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	251	
事業所名	通所介護 なの花	
住所	岡山市南区豊浜町1-35	
連絡先	086-239-0381	
理念	笑顔 思いやり 安心して過ごせる雰囲気の中共に生きる	
事業所HP	http://www.isshinkai.jp	
事業所のPR	<p>通所介護 なの花を運営する医療法人一進会は、診療所と小規模多機能居宅介護施設を併設し、地域の方に医療・介護一体となった安心で健やかな暮らしを支援させていただいています。外部の先生による体操教室、習字教室を定期開催し、また毎月、季節にあわせたイベントを開催しています。また、施設内の学童保育の子供達ともクリスマス会やハロウィンパーティー等を行い、一緒にゲームをするなどして交流を図っています。利用者の方にとって介護理念の「笑顔 思いやり 安心して過ごせる雰囲気の中 共に生きる」場所であり続けられるよう、今後も職員一同努めて参ります。</p>	
指標の達成状況	外部研修への参加状況	○
	岡山市主催の研修会の参加回数	○
	認知症高齢者の受け入れ人数	○
	機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数	○
	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数	○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

アウトカム評
価上位事業所

番号	252
事業所名	デイサービス あゆむ
住所	岡山市南区豊成1丁目16-3
連絡先	086-261-6601
理念	あゆむに出会えてよかったをカタチに！家庭的な雰囲気大切に、おひとりおひとりに大切に、諦めないをモットーに、関わる方すべての方が楽しく暮らせる居場所でありまよう一緒に歩んでいきます。
事業所HP	http://www.avumu-service.com
事業所のPR	のんびり、楽しく、笑顔がいっぱいのデイサービスです。家庭的な雰囲気の中で、ひとりひとりに寄り添う時間を大切に、毎日の散歩、洗濯物や盛り付け、食器拭き等生活リハビリを中心に過ごしています。昔ながらの台所で、利用者様にも手伝って頂きながら季節感を大切に食卓やおやつを作っています。庭には畑があり、利用者様と一緒に育てた野菜や果物が一品になる事もあります。又、季節にあったイベントや伝統行事に積極的に取り組んでいます。〇〇がしたい！そんな声にもしっかり耳を傾け、毎日同じプログラムではなく、できるだけその日にしかできない事を楽しんでいただいています。 職員の人数は配置基準を大きく上回っており、職員個々の定めた目標に沿った研修にも積極的に参加して、スキルアップを図っています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	254
事業所名	デイサービス こもれび泉田
住所	岡山市南区泉田357-3
連絡先	086-243-5753
理念	住み慣れた街 安心して快適な空間でいつまでも自分らしく、充実した毎日を送る
事業所HP	http://www.komorebi-izumida.jp
事業所のPR	デイサービスこもれび泉田は、1日定員30名の通常規模型デイサービスセンターです。寝たままでも座ったままでも入浴できる特殊浴槽で、介護度の高い方々でも安心して入浴が行えます。また、日替わり創作活動レクリエーションで、心身機能の維持・向上に努めています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	255
事業所名	塚崎整骨院デイサービスセンター
住所	岡山市南区泉田5-3-21
連絡先	086-245-2455
理念	ご利用者ひとりひとりの自己実現に向けてのサービスを安全に提供する
事業所HP	http://www.okayama-jusei.or.jp/AcademyDetail.php?academy_id=15
事業所のPR	当事業所では利用者様ひとりひとりの目標とする「なりたい自分像」の実現に向けて、機能訓練に特化したサービスの提供をしております。定員は10名のアットホームな雰囲気、利用者様同士も機能訓練中に声を掛け合い、お互いが刺激し合いながら楽しく時に厳しく、機能訓練やレクリエーションに取り組まれています。職員は柔道整復師・ケアマネージャー・認知症サポーター養成研修(キャパンメイト)・アスレチックトレーナーの資格保有者を配置しており、心身共に利用者様の支えになれる事業所を目指しています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	259
事業所名	サンキウエルビィ デイサービスセンター新保
住所	岡山市南区新保681-3
連絡先	086-239-8004
理念	福祉事業を通じて地域社会に貢献する
事業所HP	http://www.sanki-welbe.com
事業所のPR	利用される皆様からは「ALK CAFE」と呼んで頂いています。当事業所は『「A(Active)」「活動的な」「L(Life)」「生活を」「K(Keeping)維持する』という理念を基に始めました。フィットネス&カフェをコンセプトに午前・午後の部と2部制にて従来の「お預かり型デイサービス」ではなく、短時間ならではの目的を絞ったサービスを提供しています。 フィットネススペースでは理学療法士等による専門的な運動指導を行います。カフェスペースではアルカフェ自慢のこだわりコーヒーや手作りおやつを食べながらお洒落なカフェタイムをお楽しみ頂きます。 他にセラピスト資格を持った職員によるリラクゼーション整体や、プロ講師による紙粘土、押し花、絵手紙教室、徹底的に体を動かしたい方の為にフィットネスインストラクターによる教室も行っています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	274
事業所名	株式会社 アール・ケア デイサービスセンター アルフィック下中野
住所	岡山市南区下中野1415-10
連絡先	086-250-1600
理念	アルフィックコンセプトの実現 ・質の高いリハビリテーションと心に寄り添ったおもてなしの追及 ・笑顔と活気あふれるアルフィックづくり ・お客様に自律と喜びを提供する 「考え」実現する風土 ・共通の目標、方針にみんなでも取り組むチームワークづくり ・話し、考え、学び、実行する 地域への貢献 ・地域のナンバーワンを目指す ・結果にこだわり「信頼」を得る
事業所HP	http://www.rcare.jp/
事業所のPR	・お客様が生活の中で「したい」と思うことを一つでも多くの「できた」につながる様に個別リハビリ、マシン、物理療法、グループなど様々なプログラムをお客様ごとの特性に合わせてチームで共有して実施させて頂いています。 ・地域包括ケアに向けて、本当の意味で自立支援に取り組まなくてはなりません。アルフィック下中野ではお客様の主体性、自主性が向上するように自主メニューを強化しています。これによりお客様の意欲も上がり、より自発的な運動、活動の獲得にも繋がっています。 ・お客様の一日のスタートは最高であって欲しい。。。そんな思いで、スタッフの挨拶強化に取り組んでいます。挨拶なんて当たり前ではなく、「最高の笑顔で、元気のよい挨拶とハンドエグをお客様全員に、スタッフ全員で。」これがアルフィック下中野のスタッフの「最低限の約束事」と掲げ継続して行っています。このようなお客様と関わるうえで原点的部分である「約束事」を数点、作成しました。これをスタッフに繰り返し伝え、実行。介護をするうえで最も大切な根っこを忘れずにお客様と関わっていき、人間力が高いスタッフがいる事業所づくりを行っています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	275
事業所名	デイサービスセンター ブルメエ岡山
住所	岡山市南区北浦100番地
連絡先	086-267-2323
理念	1温かみのある施設 2優しい態度 やさしい声掛け 3 1日を大切に、楽しい日々を重ねていただく
事業所HP	kenju-kai.or.jp/
事業所のPR	デイサービスセンター ブルメエ岡山は、くつろいだ時間を皆様に過ごしていただけるよう準備してお待ちしています。 ●入浴は機械浴と一般浴があり、どのような状態の方にも安心してご利用いただけます ●食事は施設の厨房で作られた出来立ての美味しい食事を召しあがってください ●並行棒やマッサージチェア・高電位治療器等のリハビリ器機を揃えています。ご自由に使用してリハビリできます。 ●おやつ作りや季節の行事、体操や唱歌の時間等様々なメニューを用意しています。 ●営業時間は9:30～16:00 日・火定休日 祝日も営業いたします
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	283
事業所名	愛光苑デイサービスセンター
住所	岡山市南区浦安本町81-2
連絡先	086-265-0877
理念	私たちは『満足』を創造する 支援する 力を合わせる 正直な元氣な 成長する 開かれた 共感する 施設です
事業所HP	http://aikouen.info/
事業所のPR	愛光苑デイサービスセンターでは、音楽療法を中心に、ミュージックタイム、ミュージック喫茶、リズムダンス、カラオケ、大正琴、ウクレレ等の行事・教室が充実しています。又、音楽だけでなく、花見、夏祭り、遠足、忘年会や初詣などの季節に応じた行事、ヨガ体操・ピリヤードや平行棒を使用した機能訓練にも力を入れ、皆様の心と身体の健康をサポートさせていただきます。 地域のボランティアの方々力を借り、詩吟、絵手紙、押し花などの教室や、苑の前にひろがる公園で自然の移ろいを感じながらの野外歩行訓練も皆様に楽しんで頂いております。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業
指標達成事業所の個票

番号	285
事業所名	ほっとスペース デイサービスセンター
住所	岡山市南区浦安本町210-1
連絡先	086-263-9205
理念	温もりある地域社会の創造～安心・笑顔・希望のある人生の応援～
事業所HP	
事業所のPR	運営方針として「利用者の心身の特性を踏まえた日常生活上のお世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び利用者の心身機能の維持を図る」として、精神障害をお持ちの方、単身生活の方が多いという特性に沿って、おひとりお一人に応じたサービスの提供とゆったりとした雰囲気の中で、日常生活の精神的負担を軽減できるよう心がけています。
指標の達成状況	外部研修への参加状況 ○ 岡山市主催の研修会の参加回数 ○ 認知症高齢者の受け入れ人数 ○ 機能訓練指導員が有している国家資格者の常勤換算人数 ○ 介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 ○

事業所内の写真等



資料5

第1回

介護サービス質の評価先行 自治体検討協議会 資料



介護サービス質の評価先行自治体 検討協議会

次第

○日時:平成27年11月13日(金)14:00～16:00

○場所:岡山市役所 3階 第3会議室

○本日のスケジュール

- 14:00 開会挨拶
- 14:05～14:15 協議会概要、スケジュール説明
- 14:15～15:15 各自治体取組発表(10分×6自治体)
- 15:15～15:20 休憩
- 15:20～16:00 次回以降の進め方等について議論
- 16:00 閉会挨拶

○配布資料

- 資料1 配席表
- 資料2 介護サービス質の評価先行自治体検討協議会について
- 資料3 今後のスケジュールについて
- 資料4 各自治体の取組み一覧
- 資料5 各自治体の取組資料
 - 5-1 品川区
 - 5-2 川崎市
 - 5-3 名古屋市
 - 5-4 福井県
 - 5-5 滋賀県
 - 5-6 岡山市

出席者名簿

○介護サービス質の評価先行自治体検討協議会構成員

自治体名	所属	役職	名前
品川区	福祉部 高齢者福祉課	課長	永尾 文子
	(随行者)	係長	岩田 正明
川崎市	健康福祉局 長寿社会部 高齢者事業推進課	事業者調整担当課長	武田 克巳
名古屋市	健康福祉局 高齢福祉部 介護保険課	課長	小杉 政巳
福井県	健康福祉部 長寿福祉課	課長	熊谷 庄司
	(随行者)	総括主任	田淵 隆士
滋賀県	健康医療福祉部 医療福祉推進課	課長	河瀬 隆雄
	(随行者)	室長補佐	中淵 昌弘
岡山市	保健福祉局 医療政策推進課	課長	福井 貴弘

○オブザーバー

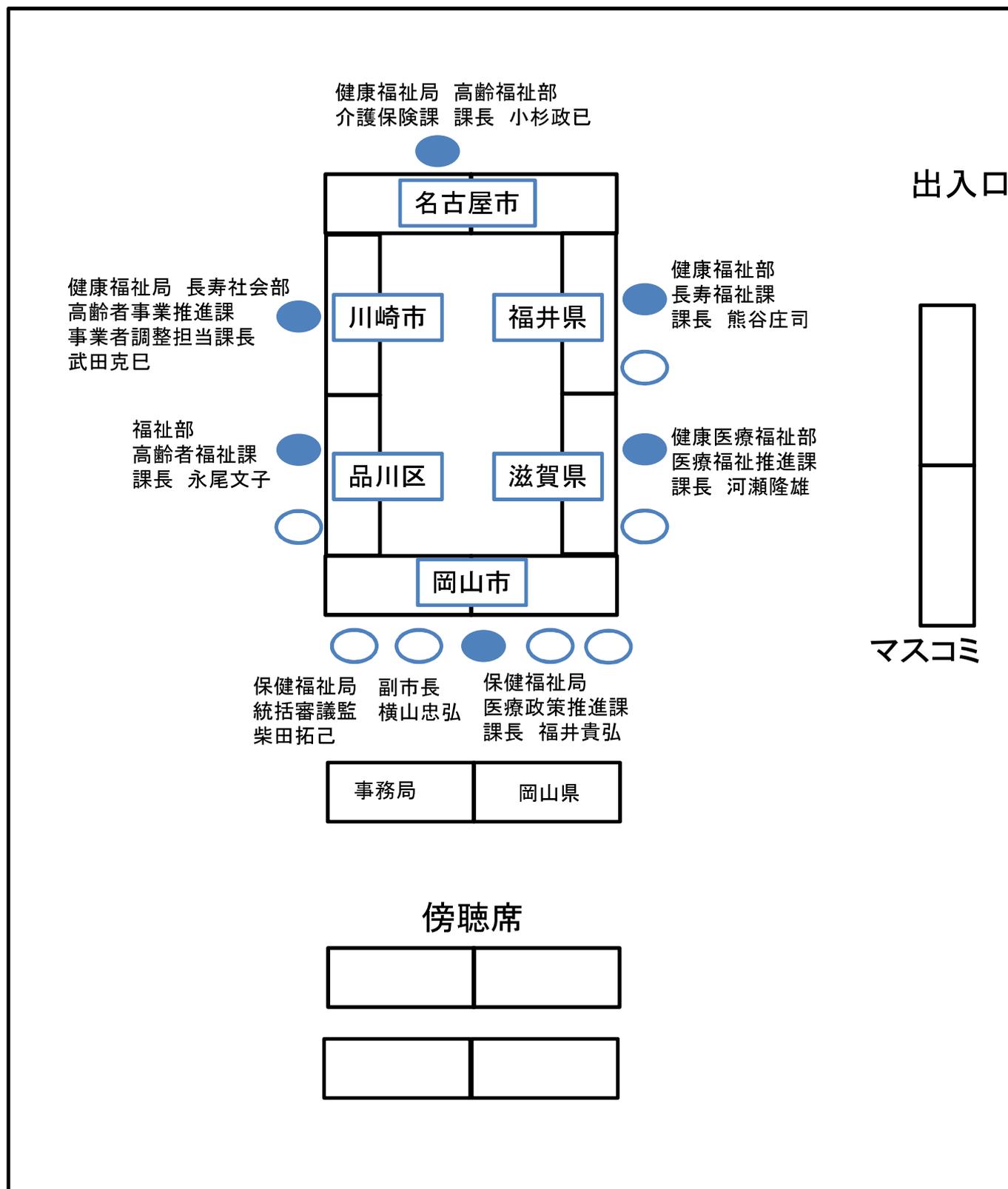
岡山県	長寿社会課	統括参事	小原 誠司
-----	-------	------	-------

○事務局

事務局 (岡山市)	副市長		横山 忠弘
	保健福祉局	統括審議監	柴田 拓己
	保健福祉局 介護保険課	課長	小藤 亜希子
	保健福祉局 医療政策推進課	課長代理	黒瀬 英昭
	保健福祉局 医療政策推進課 医療福祉戦略室	副主査	橋本 淳
	保健福祉局 医療政策推進課 医療福祉戦略室	主任	守安 正和

配席表

● … 介護サービス質の評価先行
自治体検討協議会構成員





介護サービス質の評価先行自治体検討協議会について

○現状と課題

現行の介護保険制度においては要介護度に応じて介護報酬が決まっているため、要介護度が重くなればなるほど介護報酬が高くなる制度となっている。この制度下では、利用者の要介護度が改善すると事業所への介護報酬が減ることになるため、事業所にとって必ずしも利用者の状態を改善させようとするモチベーションが働きにくいという課題がある。

○協議会の目的

こうした課題を踏まえ、利用者の状態の改善に積極的に取り組んでいる介護サービス事業所を評価する仕組みづくりを行い、平成30年度の報酬改定に向け、持続可能な介護保険制度への政策提言（インセンティブ加算の創設等）を行う。

○協議会の構成員

介護サービスの質の評価に先行的に取り組んでいる次の6自治体

品川区、川崎市、名古屋市、福井県、滋賀県、岡山市

（並びは自治体コード順）

※事務局は岡山市とする

参考：「日本再興戦略」改訂2015（平成27年6月30日開催 閣議決定）

（抜粋）

＜介護サービスの質の評価に向けた仕組み作り＞

平成27年度介護報酬改定において創設した介護サービスの質の評価に関連するアウトカム評価としての加算の効果検証に着手するとともに、昨年度に実施した「介護保険サービスの質の評価に関する調査研究事業」等の結果を踏まえ、介護サービスの質の向上に資するデータの収集及び分析を行いつつ、介護サービスの質の評価に向けた仕組み作りについて、着実に検討を進める。



介護サービス質の評価先行自治体検討協議会 今後のスケジュールについて

○協議内容及び時期

- ・ 第1回協議会(各々の取組の報告)

日時:平成27年11月13日(金)14:00～16:00

場所:岡山市(岡山市役所内第3会議室)

- ・ 第2回協議会

日時:平成28年7～8月ごろ

場所:品川区の会議室

内容:政策提言の骨子案協議

H27年度の実績報告及びH28年度の取組の発表 等

- ・ 第3回協議会

日時:平成28年10月21日(金)10:00～(予定)

場所:岡山シンフォニーホール(岡山市で開催される全国介護サミット会場)

内容:政策提言の確定

H28年度の取組の進捗報告 等

- ・ 厚生労働省へ政策提言 (H28年度内)

※各協議会の間に、必要に応じてメール等で政策提言の内容の調整を行っていく

	品川区	滋賀県	福井県	川崎市	岡山市	名古屋	
構成員	福祉部 高齢者福祉課 課長 永尾 文子	健康医療福祉部 医療福祉推進課 課長 河瀬 隆雄	健康福祉部 長寿福祉課 課長 熊谷 庄司	健康福祉局 高齢者事業推進課 担当課長 武田 克巳	保健福祉局 医療政策推進課 課長 福井 貴弘	健康福祉局 高齢福祉部 介護保険課 課長 小杉 政巳	
事業名称	品川区要介護度改善ケア推進事業	民間主導要介護度改善交付事業	滋賀県要介護度改善推進モデル事業	「かわさき健康福祉プロジェクト」モデル事業	デイサービス改善インセンティブ事業	介護予防・日常生活支援総合事業	
理念・目的	入所・入居施設における良質な介護サービスの提供により、入所・入居者の要介護度が軽減された場合に、その軽減に要するサービスの質を評価し、要介護度を支給することにより、当該施設職員に意欲向上を図るとともにさらに質の高いサービスを提供が継続的に行われることを推進する。	高齢者の要介護度を改善し住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、県内に存在する介護サービス事業所が高齢者の要介護度の改善に取り組む、一定の成果を上げた場合に交付金を支給する。	高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、要介護度の維持・改善に向けた取り組みを図るため、モデルとなる事業所を評価し、要介護度の改善・維持に効果的な取組を、広く普及させる。	利用者の要介護度の維持・改善や自立支援に成果を上げた事業所のサービスの質や職員の取組等を評価することにより、県内事業所における要介護度改善等の取組を促進する。	介護サービス事業所による要介護度、ADL、IADL又はGOLの維持・改善の取組結果に応じた報告、表彰、公表等の仕組みを構築し、もって、事業所の評価を高め、介護サービスの質が評価される新たな仕組みの導入を目指す。	介護サービスの質の評価を実施し、積極的に利用者の状態像の維持改善に努める事業所にインセンティブを付与すること、質の高い事業所を増やし、市内事業所のポトムアップを図る。	平成27年4月の介護保険法改正により介護予防訪問介護・介護予防通所介護(従来のサービス)が市町村ごとの事業である介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の第1号訪問事業・第1号通所事業に移行する。平成28年6月から新しい総合事業を開始することを予定しており、同時に基準緩和サービスを開始する予定。
対象サービス	品川区施設サービス向上研究会(H26・13施設)に参加する社会福祉法人等が運営する高齢者施設が対象(特養・老健・特定施設)	デイ、デイケア、認知症デイ	居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、居宅介護支援サービスのうち、平均利用実人数が10人以上の事業所	特養 老健、認知症GH、グループデイケア、認知症デイ、小規模多機能、看護小規模多機能	デイのみ	基準緩和型サービス(ミニデイ型サービス)	
スキーム	・奨励金の交付期間は最大12か月 ・要介護度が1改善 → 1月につき2万円 ・要介護度が2改善 → 1月につき4万円 ・要介護度が3改善 → 1月につき6万円 ・要介護度が4改善 → 1月につき8万円	・届出のあった事業所のうち、要介護度の改善率が高い20事業所に交付する。交付額は定員1名当たり1万円/月 ・改善率の計算は事業所評価加算と同様。	・要介護度の維持・改善に向上して取り組まれる実証的な事業(要介護度改善推進事業)を募集 ・事業内容、事業の確実性、継続性、発展性等を総合評価し、選定。 ③)だが、要介護度の改善度が前年を上回った場合は上限60万円(3/3) ・補助経費は講師謝金、旅費、データー分析委託料、会場使用料等	モデル事業を実施し、協力事業所のサービスを使っている利用者を対象に、要介護度、ADL等の調査を行い、改善又は相当な期間にわたり継続された場合に、下記のインセンティブの付与に向けて検討中。 ・主催イベントにおける表彰 ・認証シール等の付与 ・市のサイトへの掲載 ・奨励金の付与	・事業所とともに選定した事業の評価指標の達成した事業所を対象に、日常生活機能評価を活用しアウトカム評価を実施、上位者にはインセンティブ(奨励金+情報公開)を付与する。	基準緩和型サービス(ミニデイ型サービス)に下記加算を創設 ・改善加算 6ヶ月以内に利用者の機能が改善し、ミニデイ型通所サービスの利用を終了した場合は終了月に利用月×50単位程度を加算。週1回1350単位、週2回2700単位	
指標	要介護度	要介護度	計画書を総合評価(内容、確実性、継続性・発展性、経済性)十要介護度	要介護度、ADL、IADL又はGOL	質の評価指標(5つ)十日常生活機能評価	サービス利用者の様態等	
開始時期	平成25年度～	平成24～26年度の3年間	H27年度～	H26年度～	H26年度～	平成28年度6月～	
予算	H25 6,800千円(対象者41名) H26 12,460千円(対象者86名)	H24 46,480千円 H25 36,360千円 H26 32,300千円	H27 交付金額 12万円/人 ×要介護度の改善者数 ※交付事業所は上限23事業所(手上げし、選定する)	H26 743千円 H27 9,000千円	H27 10,000千円 うち、奨励金1,000千円を想定 (配分方法は未定)		
備考	財源は一般財源	財源は滋賀県介護予防基礎強化基金を活用	財源は医療介護確保基金を活用	H26の財源は一般財源、H27は地方創生交付金(先行型・10/10)を活用	財源は老人保健健康増進等補助金(10/10)を活用 奨励金は一般財源	対象サービス、スキーム、指標については、全て現在検討中の案。	